

官報 號外

大正八年三月十二日 水曜日

印刷局

第四十二回 衆議院議事速記錄第二十二號

大正八年三月十一日(火曜日)午後一時十二分開議

議事日程 第二十一號 大正八年三月十一日
午後一時開議

- 一 社會主義取締ニ關スル質問(鈴木富士爾君提出)
- 二 甘蔗作ニ關スル質問(我如古樂一郎君提出)
- 三 鹽ノ專賣生産及配給ニ關スル質問(小西和君提出)
- 四 移民政策ニ關スル質問(土井權大君提出)
- 五 東京市青山墓地移轉問題ノ件並墓地及埋葬取締規則第二條ニ關スル質問(齋藤紀一君提出)
- 六 小學校教員ニ給スル臨時手當ニ關スル再質問(富田松平君提出)
- 第一 軌道條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三 仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第五 農工銀行補助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第七 家畜市場法中改正法律案(齋藤珪次君外十三名提出) 第一讀會
- 第八 煙草專賣法中改正法律案(小林源藏君外十六名提出) 第一讀會
- 第九 織物消費稅法中改正法律案(小林源藏君外十六名提出) 第一讀會
- 第十 朝鮮神社ニ素盞男尊奉祀ニ關スル建議案(高木益太郎君外一名提出)
- 第十一 山口縣徳山港ヲ特別輸出入港ト爲スノ建議案(渡邊祐策君提出)
- 第十二 圓山川改修ニ關スル建議案(齋藤珪次君外一名提出)

- 第十三 沖繩縣ニ於ケル「マリア」豫防撲滅ニ關スル建議案(我如古樂一郎君外四名提出)
- 第十四 外客ノ招致及待遇ニ關スル建議案(小西和君提出)
- 第十五 名勝舊跡其ノ他著シキ事歴アル樹石並特殊ノ植物保存及利用ニ關スル建議案(小西和君提出)
- 第十六 帝國博物館完成ニ關スル建議案(柏原文太郎君外一名提出)
- 第十七 北鮮ノ寒日本聯絡航路延長ニ關スル建議案(上村安太郎君外九名提出)
- 第十八 國立榮養研究所設立ニ關スル建議案(河野徹志君外十四名提出)
- 第十九 日露語學校設置ニ關スル建議案(松本誠之君提出)
- 第二十 新見ノ庄原間輕便鐵道建設ニ關スル建議案(湯淺凡平君外二名提出)
- 第二十一 鶴岡ノ大泉間國有輕便鐵道建設ニ關スル建議案(熊谷直太郎君外五名提出)
- 第二十二 財政整理ニ關スル臨時調查機關設置ノ建議案(犬養毅君外三名提出)
- 第二十三 (特別報告第六十四號)郵便局管轄區域變更ノ請願 (委員長報告)
- 第二十四 (特別報告第六十五號)上河内字宿ニ郵便局新設ノ請願 (委員長報告)
- 第二十五 (特別報告第六十六號)紀伊押手郵便局ニ電信電話架設ノ請願 (委員長報告)
- 第二十六 (特別報告第六十七號)高千帆郵便局ニ集配事務開始ノ請願 (委員長報告)
- 第二十七 (特別報告第六十八號)鎮西村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第二十八 (特別報告第六十九號)崎山村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第二十九 (特別報告第七十號)豐田下村大字手洗字下飯塚二三等郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

- 第三十 (特別報告第七十一號)三刀屋村郵便局ニ電信事務開始ノ請願 (委員長報告)
 - 第三十一 (特別報告第七十二號)渡良郵便局ニ電信事務開始ノ請願 (委員長報告)
 - 第三十二 (特別報告第七十三號)比樂島村ニ郵便局新設ノ請願 (委員長報告)
 - 第三十三 (特別報告第七十四號)大町村福母ニ無集配三等郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
 - 第三十四 (特別報告第七十五號)國分郵便局ニ電信架設並集配事務開始ノ請願 (委員長報告)
 - 第三十五 (特別報告第七十六號)大森區裁判所管內登記事務管轄區域變更並溫泉津町ニ登記所設置ノ請願 (委員長報告)
 - 第三十六 (特別報告第七十七號)元三國區裁判所復舊ノ請願 (委員長報告)
 - 第三十七 (特別報告第七十八號)西條町二區裁判所設置ノ請願 (委員長報告)
 - 第三十八 (特別報告第七十九號)私立學校令第五條改正ノ請願 (委員長報告)
 - 第三十九 (特別報告第八十號)市町村立小學校教員俸給國庫負擔法支出額增率ノ請願 (委員長報告)
 - 第四十 (特別報告第八十五號)福山今市間輕便鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)
 - 第四十一 (特別報告第八十六號)山陰本線暗渠改造ノ請願 (委員長報告)
 - 第四十二 (特別報告第八十七號)日光足尾間鐵道速成ノ請願 (委員長報告)
 - 第四十三 (特別報告第八十八號)熊坂信號所ヲ停車場ト變更ノ請願 (委員長報告)
- 議長(大岡有造君) 諸般ノ報告ガアリマス
〔原田書記官朗讀〕
一去八日政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
軌道條例中改正法律案
仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案

農工銀行補助法中改正法律案

一去八日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
會計法中改正法律案
提出者 澤 來太郎君 泰 豊助君
松浦五兵衛君

國立博物館建設ニ關スル建議案

提出者 井原 百介君 加藤 定吉君
粕谷 義三君 鶴澤 總明君
横井藤四郎君 萩 亮君
山根 正次君

法隆寺防火設備ニ關スル建議案

提出者 小泉策太郎君 中村啓次郎君
田中 善立君 今村 勤三君

一昨十日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

八丈島漁港修築ニ關スル建議案
提出者 高木 正年君 鶴澤 宇八君
小泉又次郎君 鈴木富士彌君

一去八日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

陸海軍兵卒ノ給與ニ關スル質問主意書
提出者 高田 耘平君
復權ニ關スル質問主意書
提出者 高田 耘平君

朝鮮統治ニ關スル質問主意書
提出者 山道 襄一君

一昨十日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ

可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ
大正六年法律第六號中改正法律案(政府提出)
一昨十日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員小橋藻三衛君提出食糧政策ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員押川方義君提出外交問題ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員高島兵吉君提出吉野川改修工事ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員荒川五郎君提出市町村吏員優遇ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中萬逸君提出青年指導ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中善立君提出國民思想ノ善導ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

衆議院議員白河次郎君提出高等教育機關増設ニ關シテ教育振興ニ關スル質問ニ對スル答辯書

大正八年三月十日

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員小橋藻三衛君提出食糧政策ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員小橋藻三衛君提出食糧政策ニ關スル質問ニ對スル答辯書

政府ハ食糧問題ニ對シテハ常ニ深甚ノ注意ヲ拂ヒ銳意對策ノ實行ニ努メツツアリ即チ應急策トシテハ或ハ米ノ關稅ヲ撤廢スルト共ニ極力外米ノ輸入ニ努メ或ハ重要食糧品及肥料ノ輸出ヲ制限シ或ハ食糧農産物ノ増殖獎勵ヲ爲シ或ハ代用食物ノ利用ヲ獎勵シ最近ニ於テハ更ニ麥及麥粉關稅ノ減免ヲ期スル等極力食糧ノ供給增加ニ努メツツアリ恆久策トシテハ耕地ノ擴張ヲ圖ルハ勿論現耕地ノ改良食糧農作物ノ品種及栽培法ノ改良肥料ノ供給增加病害蟲驅除豫防ノ勵行農業倉庫ノ普及農村金融ノ改善優良技術員ノ養成及運輸ノ改善等適切ト認ムル施設ノ實行ヲ圖リツツアルト共ニ朝鮮臺灣ニ於テモ極力食糧品ノ増殖ヲ期スルノ方策ヲ講シツツアルヲ以テ今後益是等ノ施設ヲ徹底シ以テ食糧ノ供給ヲ潤澤ナラシメントス

右及答辯候也
大正八年三月十日

内務大臣床次竹二郎
農商務大臣山本 達雄
大藏大臣野村高橋 是清

大正八年三月十日

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員押川方義君提出外交問題ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員押川方義君提出外交問題ニ關スル質問ニ對スル答辯書

帝國政府ハ講和ニ關スル聯合與國總會議ニ於テ未タ何等講和事項ヲ提案シタルコトナシト同時ニ巴里ニ於テ開催中ナル最高軍事會議五大國協議會及各部委員會ニ於テハ帝國委員ハ夫々機宜ノ措置ヲ執リツ、アルモ前顯聯合與國總會以外ノ諸會議ニ付テハ其ノ內容及經過ハ會議書記局公表ノモノヲ除クノ外之ヲ發表セサルノ約アリ從テ右諸會議ニ提出セラレタル帝國委員ノ意見又ハ主張ヲ公示スルハ妥當ナラスト認ム他ノ聯

合與國中亦前記諸會議ニ提案シタル事項ヲ公表セルモノアルヲ聞カス
右及答辯候也
大正八年三月十日

外務大臣子爵内田康哉

大正八年三月十日

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員高島兵吉君提出吉野川改修工事ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員高島兵吉君提出吉野川改修工事ニ關スル質問ニ對スル答辯書

吉野川改修工事ハ適當ナル工法ニ依リ施行中ニシテ築堤工事粗略ニ失スルコトナシト認ム又昨年夏季ノ出水ニ際シ流材ノ爲メ築堤竣功箇所ニ僅少ノ損傷ヲ受ケタル部分アルモ決潰ノ虞アル如キ危險ノ状態ヲ認メス尤モ堤腹ノ保護ニ關シテハ目下最善ノ方法ヲ攻究シツ、アリ尚流材ニ關シテハ今後一層其ノ取締ヲ勵行スヘキ見込ナリトス

右及答辯候也
大正八年三月十日

内務大臣床次竹二郎

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員荒川五郎君提出市町村吏員優遇ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員荒川五郎君提出市町村吏員優遇ニ關スル質問ニ對スル答辯書

市町村吏員ニ對シテハ最近九十六箇町村長ニ對シ敍勳ノ恩典アリ加之其ノ功勞ノ顯著ナル者ニ對シテハ褒章條例ノ定ムル所ニ依リ之カ表彰ヲ爲スノ途アリ政府ハ適當ナリト認ムル所ノモノニ對シテハ今後尙之カ優遇獎勵ニ勉ムル所アルヘシト雖モ吏員優遇ノ途ハ單ニ政府ノ施設ニノミ候ツヘキニアラス一般社會モ亦市町村吏員ノ任務ノ輕カラサル所以ヲ解シ其ノ社會上ノ地位ヲ尊重スルコト最モ緊要ナリト思料ス

右及答辯候也
大正八年三月十日

内務大臣床次竹二郎

大正八年三月十日

衆議院議長大岡育造殿
内閣總理大臣原敬

衆議院議員田中萬逸君提出青年指導ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員田中萬逸君提出青年指導ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

一 政府ハ曩ニ答辯シタル趣旨ニ依リ青年ノ指導ニ勉メツ、アリテ何等其方針ヲ變更シタルコトナシ

一 田中陸軍大臣ハ大臣トシテ何等青年指導ノ方針ニ關シ説明シタルコトナシ

大正八年三月十日

内務大臣床次竹二郎
文部大臣中橋徳五郎

大正八年三月十日

衆議院議長大岡育造殿
内閣總理大臣原敬

衆議院議員田中善立君提出國民思想ノ善導ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員田中善立君提出國民思想ノ善導ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

曩ニ國民思想善導ニ關スル答辯書中ニ各般ノ施設トアルハ健全ナル思想ヲ普及徹底セシムル各種ノ施設及思想ヲ健全ナラシムル原因トナルヘキ社會狀態ノ改善ヲ目的トスル各般ノ社會的施設ノ謂ナリ

大正八年三月十日

内務大臣床次竹二郎
文部大臣中橋徳五郎

大正八年三月十日

衆議院議長大岡育造殿
内閣總理大臣原敬

衆議院議員白河次郎君提出高等教育機關設置ニ關シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員白河次郎君提出高等教育機關設置ニ關シ別紙答辯書

一 義務教育年限ノ延長ハ希望スル所ナルモ諸般ノ事情ニ依リ之カ實施ハ尙未タ其ノ時期ニアラスト信ス而シ

テ特殊ノ地方ヲ撰ヒテ部分的ニ之ヲ實施スルカ如キモ亦慎重ノ考慮ヲ要ス

二 公立中等學校教員ニ對スル年功加俸ノ制ニ關シテハ目下調査中ニ屬スルヲ以テ私立學校教員一般ニ對シ國費ヲ以テ年功加俸ヲ支給シ又ハ官立學校若ハ公立學校ノ教員ニ對スル恩給又ハ退職料ノ制ヲ直ニ適用スルカ如キハ今日之ヲ豫定スルコトヲ得ス

三 國政一切ノ事項ニ互リ之カ處理スルカ如キハ文部大臣ノ權限ニアラス而シテ臨時教育會議ノ如キ機關ハ之ヲ常置スルノ意思ナシ

四 社會教育ノ振興ニ關シテハ目下調査中ニ屬ス

五 海軍兵學校及陸軍士官學校ニ於テ教育學ヲ必修セシムルコトニ關シテハ目下考究中ナリ

六 國立感化院、商船學校及水産講習所ハ別ニ之ヲ文部省ニ移管スルノ意思ナシ而シテ此ノ種ノ機關ニ關シテハ必要ニ應ジ適當ナル擴張改善ヲ圖リツ、アリ

七 綜合大學又ハ單科大學ニ其ノ組織ノ如何ヲ問ハス文學部若ハ文科の講座ヲ必置スルノ要ヲ認メス

八 京都市立ノ學校ヲ國立トシ音樂學校ヲ増設シ又神宮皇學館ヲ國立大學トスルハ慎重ノ考慮ヲ要ス

九 佛教各派ニ於ケル教育機關ハ之ヲ自然ノ發達ニ俟ツヲ可トス

十 質問第十四項ノ如キハ慎重ノ考慮ヲ要ス

右及答辯候世

大正八年三月十日

海軍大臣加藤友三郎
陸軍大臣田中 義一
農商務大臣山本 達雄
内務大臣床次竹二郎
文部大臣中橋徳五郎
逓信大臣野田卯太郎

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

一 去八日延松鐵道速成ニ關スル建議案委員行徳健男君辭任ニ付其ノ補闕トシテ山田珠一君ヲ議長ニ於テ選定セリ

一 昨十日私立學校用地免租ニ關スル法律案委員林毅陸君辭任ニ付其ノ補闕トシテ氣賀勳重君ヲ、都市計畫法案外一件委員山田珠一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ森秀次君ヲ、大正六年度豫備金支出ノ件外六件(承諾ヲ求ムル件)委員加藤政之助君、鈴木富士彌君辭任ニ付其ノ補闕トシテ本田恆之君、山田珠一君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

一 今十一日私立學校用地免租ニ關スル法律案委員森本一郎君、小田切磐太郎君辭任ニ付其補闕トシテ飯田精一君、岡田豐吉君ヲ議長ニ於テ選定セリ

一 去八日辭任シタル常任委員左ノ如シ

第六部選出豫算委員 井島 義雄君

一 今十一日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

第六部豫算委員 毛里保太郎君(井島義雄君補闕)

一 昨十日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

都市計畫法案外一件委員

委員長 小山 温君 理事 前田 米藏君
高木益太郎君
横山勝太郎君
小川郷太郎君
河野 徹志君

煙草專賣法中改正法律案外一件委員

委員長 武藤 金吉君 理事 隅田 豐吉君
森本一郎君
松井文太郎君

一 今十一日私立學校用地免租ニ關スル法律案委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

私立學校用地免租ニ關スル法律案委員 委員長 氣賀 勳重君(委員長林毅陸君補闕)

外交問題ニ關スル質問主意書 右成規ニ據リ提出候也

大正八年二月十日 提出者押川 方義 贊成者金杉英五郎 外三十一人

外交問題ニ關スル質問主意書 今回ノ講和會議ニ於テ帝國政府カ提出シタル重要事項ヲ國民ニ對シ公表セサル眞意如何 右及質問候也

青年指導ニ關スル再質問主意書 右成規ニ據リ提出候也

大正八年二月二十五日 提出者田中 萬逸 贊成者武富 時敏 外三十人

青年指導ニ關スル再質問主意書 一本員ノ提出ニ係ル青年指導ニ關スル質問ニ對スル答辯書ニ依リハ政府ハ青年ヲシテ健全ナル國民善良ナル公民タルノ素質ヲ得セシムルヲ以テ方針トシ之カ實施ノ方法ハ地方ノ情況ニ應ジテ宜シキヲ制セムコトヲ期シツ、アリト云ヘルカ果シテ然ラハ從來ノ統一の指導ノ方針ヲ一變シタルカ

一 田中陸軍大臣ハ常ニ青年團ノ指導ニ對シ統一の方針ニ遵ルヲ熱心ニ力説セラレツ、アルカ前記床次内務大臣、中橋文部大臣ノ指導方針ト扞格スル所ナキカ右及再質問候也

國民思想ノ善導ニ關スル再質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正八年二月二十五日

提出者 田中 善立 贊成者 武富 時敏

外三十三人

國民思想ノ善導ニ關スル再質問主意書

國民思想ノ善導ニ關スル再質問主意書
提出シタル國民思想ノ善導ニ關スル質問ニ對スル政府ノ答辯中各般ノ施設ヲ整備シトアルハ如何ナル施設ノ謂ナリヤ
右及再質問候也

高等教育機關増設ニ關聯シ教育振興ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正八年二月十五日

提出者 白河 次郎 贊成者 鈴木梅四郎

外三十二人

高等教育機關増設ニ關聯シ教育振興ニ關スル質問主意書

一 高等教育機關増設ノ必要ハ固ヨリ之ヲ認ムト雖義務教育ノ向上充實モ其ノ機運方ニ迫レリト信ス列強戰後ノ文政ニ於テ此ノ趨勢極メテ顯著ナルノミナラス中等教育モ亦之ヲ義務教育トナスヘシトノ議論スラ生シテ、アリ我カ國ニ在リテハ現時ノ義務教育年限カ既ニ列強ニ比シテ短少ナルノミナラス我カ國ニ特有ナル國字國語ノ教授ニ時間ヲ要スルコトノ多大ナルハ一層教育ノ能率ヲ低下セシムルモノアリ國民全般知能ノ水準ヲ高メ國本ヲ培養シ國力ヲ増進スルカ爲ニ義務教育年限ノ延長ハ速ニ之ヲ實施セサルヘカラス政府ハ悠々トシテ國費ノ餘裕若ハ地方財政ノ豐滿ヲ待タムトスルカ最近ニ於テ之ヲ斷行スルノ意思ナキカ

二 若最近ニ之ヲ斷行スルノ意思ナシトセハ必シモ他日ヲ待チテ劃一ニ全國一時ニ之ヲ實行スルノ必要ナシト信ス財政ニ於テ之カ負擔ニ堪フル地方又ハ義務教育ヲ卒リテ他ノ中等程度ノ學校ニ進マサル兒童ノ高等小學ニ入ルモノ、歩合最多キ地方又ハ補習教育ノ稍完備セル地方ヲ擇ヒ先ツ義務教育年限延長ヲ強制スルノ制ヲ定メテハ如何

三 中等學校以上ノ教員ニ對シテ年功加俸ノ制ヲ設ケラル、ハ早晚實行サルヘキモノナリト信スルモ之ヲ私立學校教員ニモ均霑セシメ國費ヲ以テ支給セムコトニ對シテ考慮セラレツ、アリヤ
四 官公立學校教員退職恩給ノ制ハ之ヲ私立學校教員ニモ均霑セシメ同シク國費ヲ以テ支給スルヲ要ス當局ノ意向ハ如何
五 臨時教育會議ヨリ建議シタル教育ノ本旨貫徹ニ關スル決議ノ條項中第二項ノ法制改廢第五項ノ社會政策ノ如キハ最贊同スヘシトス是レ所謂社會組織ノ教育化トモ稱スヘキ一部面ニシテ此ノ類尚尠少ナリトセス文部省ハ單ニ學校行政ノ首腦タルニ止ラス最廣キ意義ニ於ケル帝國文教ノ振興ノ爲ニ博大ナル政策ヲ定メ教育ノ見地ヨリシテ國政ノ一切ニ涉リテ非教育ノナルモノ又ハ教育ノ效果ヲ薄弱ナラシムルモノヲ指摘シ善導スルノ雄志ナキカ而シテ之カ爲ニハ内閣總理大臣ニ直屬スル今ノ臨時教育會議ノ如キモノヲ常設機關トナスモ亦可ナリト信ス如何
六 前條ノ調査及處理ヲ包括シ更ニ最廣キ意義ニ於ケル社會教育ノ振興ヲ圖ルカ爲ニ文部省ニ社會教育局ノ新設ヲ要セサルカ
七 海陸軍ニ於ケル壯丁ノ訓練ハ之ヲ國民教育ノ補習又ハ完成ト見ラレサルニ非ス將校ハ此ノ意味ニ於テ重要ナル普通教育者ナリ故ニ海軍兵學校及陸軍士官學校ノ學科ニ直接兵事ニ關スルモノ以外ヲ増設シ特ニ教育學必修ノ要アリト信ス文政當局ハ速ニ軍政當局ト之ヲ協定スルヲ要ス而シテ是レ他日現役又ハ豫後備將校ヲ各種學校ノ教官ト爲スノ準備トシテモ須要ナリトス文部大臣ノ意見如何
八 教育行政ノ統一ヲ計ルカ爲ニ內務省ノ國立感化院遞信省ノ商船學校農商務省ノ水産講習所等ヲ文部省所轄ニ移サムコトヲ欲セサルカ
九 前條ノ統一ヲ斷行シ而シテ更ニ國立感化院及商船學校ヲ増設スルノ必要ナキカ水産教育ニ至リテハ帝國ノ地理的資源ニ顧ミ最擴張ヲ要ス政府ハ現在ニ於ケル水産講習所一校及帝國大學農學部ノ水産學科ノミヲ以テ足レリトスルカ
十 物質文明愈重ノ弊害ハ這次ノ高等教育機關増設ノ計劃ニ就テモ亦歷々タルモノアリ精神文明向上ノ爲ニ各綜合大學ニ必文學部ヲ設ケシメ單科大學ニ在リテモ必須ナル文科的講座ヲ置カシムルノ要ナキカ

十一 美術學校及音樂學校カ現在僅ニ一校ノミニ止ルハ藝術教育ニ於テ餘リニ貧弱ナリト信ス又同種ノモノニ校以上存立スルハ研鑽ノ競争的向上ヲ計ル所以ナリ京都工藝學校ヲ國立專門學校ト爲シ其ノ美術教育ヲ向上振興セシメ又別ニ關西方面ニ音樂學校ヲ創設シテハ如何
十二 大學文學部ニ於ケル皇學國學ノ研究ニ關スル施設ノ外更ニ神宮皇學館ヲ國立大學ト爲シ別ニ現在程度ノ專門部ヲ併設シ我カ皇學國學研究ノ最高淵源トナシ以テ所謂國體觀念ヲ明徴ニシテ之ヲ中外ニ顯彰スルノ中心學府ヲラシムルハ文化政策ノ最須急ナルモノト思惟セサルカ
十三 佛敎各派ニ於ケル特殊ノ教育機關ノ外佛敎各宗ノ融合ヲ以テ一ノ財團ヲ組織セシメ宗派ニ超越セル通佛敎ノ最高研究機關タル大學新設ノ必要アリト信ス文部大臣ハ之カ勸獎斡旋ノ勞ヲ執ルニ意ナキカ
十四 高等文官及判檢事カ現時ノ如ク單ニ專門ニ偏セル學術技能ニ依リテノミ登擧セラレ、ハ時トシテ行政又ハ司法ノ運用ニ於テ其ノ眞髓ヲ發揮スルノ途ヲ謬リ及社會ノ儀表トナリ民心ヲ卒ヒ得ル所以ニ非ス故ニ之カ任用試驗ニハ國民道德學社會學教育學及心理學等ノ文科的學科ヲ適宜參酌シテ增課セサルヘカラスト信ス文部大臣ハ文教ノ當局トシテ之ヲ提議スルノ必要ヲ認メサルカ
右及質問候也
以上述フル所ニヨリ質問ノ趣旨明瞭ナリト信スルカ故ニ特ニ議場ニ於ケル辯明ヲ省略スヘク且高等機關増設ニ關スル豫算案及法律案ノ審議ト關聯スルモノアルニ依リ文部大臣ハ成ルヘク速ニ書面ヲ以テ文政當局トシテノ意見ヲ忌憚ナク詳細明晰ニ答辯セラレムコトヲ望ム

○議長(大岡育造君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リ申ス事ガアリマス、議員奧村三樹之助君ヨリ辭職ノ願出ガアリマス、今般病氣ニ罹リ醫師ノ勸告ニ基キ靜養ノ必要有之到底職務ニ難堪候間茲ニ辭任仕候也右許可スルニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ許可致シマス、向ホ左ノ議員ヨリ請假ノ申出ガアリマス、病氣ニ付昨十日ヨリ向フ一週間恆松隆慶君、病氣ニ付今十一日ヨリ向フ十日間互理胤正君、右許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 御異議ナシレバ許可致シマス、更ニ第三部選出決算委員川村悌君、第八部選出決算委員互理胤正君、右常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 異議ナシレバ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ヒ、御届出アラシコトヲ希望シマス

○齋藤珪次君 是ヨリ木津川治水ニ關スル建議案ノ委員會ヲ開キマスカラ、許可ヲ願ヒマス
○議長(大岡育造君) 許可致シマス

〔齋藤珪次君「ドウカ委員諸君ハ委員室ニ御出デテ願ヒマス」ト呼フ〕
○法學博士鶴澤總明君 大正六年度豫備金支出ノ件外六件ノ委員會ヲ開キマスカラ、許可ヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 許可致シマス
〔法學博士鶴澤總明君「委員諸君ハ委員室ニ御集リテ願ヒマス」ト呼フ〕

○中倉万次郎君 是カラ耕地整理法中改正法律案ノ委員會ヲ開キマスカラ、許可ヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 許可致シマス
〔中倉万次郎君「委員諸君ハ委員室ニ御集リテ願ヒマス」ト呼フ〕

○議長(大岡育造君) 是ヨリ質問ニ移リマス、社會主義取締ニ關スル質問——鈴木富士彌君

○赤間嘉之吉君 決算委員第五分科會ヲ開キタイト思ヒマスカラ、御許可ヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 赤間君——許可致シマス
〔赤間嘉之吉君「ドウソウ委員室ニ御集リテ願ヒマス」ト呼フ〕

社會主義取締ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正八年二月十九日
提出者 鈴木富士彌 賛成者 樋口 秀雄 外三十三人

社會主義取締ニ關スル質問主意書
近年社會主義ニ對スル當局ノ取締方針苛酷ニ過キ却テ溫和ナル社會主義者ヲ驅テ過激ニ赴カシムルノ危險アリ一概ニ社會主義ト謂フモ其ノ分派數十其ノ總テカ國家存立ノ基礎ヲ危クスルモノニ非ス加フルニ歐米諸國近代ノ政治的施設ハ悉ク其ノ基礎ヲ社會主義ノ觀念ニ置ク然レニ帝國官憲獨リ此ノ世界の潮流ニ反抗シ

官報號外 大正八年三月十二日 衆議院議事速記録第二十二號

一 社會主義ニ關シテハ一般ニ言論出版ノ自由ヲ奪ヒニ特ニ社會主義者ニ對シテハ之ヲ遇スル恰モ罪囚ノ如ク
其ノ迫害ノ辛辣冷酷ナル世界多ク其ノ比ヲ見ス是レ實ニ帝國ノ一大汚辱ナルノミナラス却テ國家ノ存立ヲ危險ニ導クノ虞アリサレハ當局ハ速ニ其ノ方針ヲ改メ世ノ所謂社會主義及社會主義者ナルモノニ對シテハ先ツ所說ノ黑白ヲ甄別シ其ノ穩當ナルモノニ付テハ斷乎取締ヲ解放シ自由討究並自由宣傳ノ餘地ヲ與フルヲ以テ刻下ノ急務ナリト思料ス内務大臣ノ所見如何
右及質問候也

一 社會主義取締ニ關スル質問(鈴木富士彌君提出)

〔鈴木富士彌君登壇〕
〔拍手起ル〕

○鈴木富士彌君 社會主義ノ取締ニ關シマシテ、政府ニ質問ヲ致シタイト思ヒマス、質問ノ要領ハ質問趣意書ニ掲ゲテアリマス、今其趣意ヲ一層明確ニスル爲メニ、事實ヲ三段ニ分チマシテ、卑見ノ存スル所ヲ申述ベテ見タイト思ヒマス、第一段、政府ハ社會主義ヲ危險思想ナリト思料スルヤ、第二從來ノ社會主義取締方針ハ苛酷ニ失スルト認メザルヤ、第三政府ハ社會主義取締方針ヲ改ムルノ意思ナキヤ、以上三點ニ分チマシテ申述ベテ見タイト思ヒマス、本論ニ入りマス、前二、一應私ノ立場ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、私ハ社會主義者デアリマセヌ、曾テ社會主義ニ關スル論文ヲ書イタコトモナケレバ演説ヲ致シタゴトモアリマセヌ、今回此質問演説ガ、社會主義ニ關スル言論ノ皮切りデアリマス、將來ノ事ハ神ナラヌ身ノ知ル由モアリマセヌ、少クモ現在ニ於テ、又過去ニ於テ、私ハ決シテ社會主義者デアリマセヌ、又私ノ友人中ニハ、一人モ此社會主義者ト云フモノガアリマセヌ、此質問趣意書ヲ議會ニ提出致シマシテカラ後ニ、社會主義者ノ訪問ヲ三回許リ受ケタコトガアリマスガ、何レモ初對面ノ人デアリマス、即チ私ハ社會主義者ニ非ズ、又社會主義者ノ友人デモナイデアリマスガ、今回此質問演説ヲ爲ス所以ノモノハ何デアルカ、政府二十年來ノ傳統的ノ社會主義取締方針ガ、餘リニ不條理デアリ、餘リニ非常識デアル爲メニ、外ニ對シテハ帝國ノ面目ヲ傷ケ、内ニ於テハ帝國ヲ却テ危殆ニ導クノ虞アルガ故ニ、見ルニ見兼ネテ此質問ヲ致ス次第デアリマス……

〔議長大岡育造君退席副議長濱田國松君議長席ニ著ク〕

○鈴木富士彌君 豫メ誤解ノナイヤウニ、政府ニ於テモ御認下サランコトヲ願ヒマス、第一段ノ質問ハ、政府ハ社會

主義ヲ危險思想ナリト思料スルヤ、從來政府ノ執リ來レル社會主義取締方針ガ、頗ル苛酷デアッタコト云フコトハ、世既ニ定評ガアリマス、獨リ日本人自ラガ一般ニ斯ク感シテ居ルノミナラス、外國人モ亦其實事ヲ認メテ、陰ニ陽ニ日本ノ政府ヲ非難致シテ居ルデアリマス、數年前ニ或ル外國ノ雜誌ニ「日本ノ文化ノ程度ノ低イコトハ社會主義者ニ對スル取締ノ頗ル苛酷デアル一事ニ徴シテモ略、想像スルコトガ出來ル」ト云フ皮肉ナ批評ヲ掲ゲテ居タコトヲ記憶致シテ居リマス、其苛酷デアルト云フ實例ハ、私ガ手許ニ澤山持テ居リマス、是ハ後段ニ申述ベマスガ、確ニ事實デアリマス、元來日本ノ官憲ハ、ドウシテ斯ク社會主義者ニ對シテ苛酷デアルト考ヘ居ルカラデアラウト思ヒマス、勿論内務省ノ高等官ノ連中ハ、何レモ最新ノ教育ヲ受ケタ方デアリマス、社會主義ニ對シテ、相當ナル了解ヲ有シテ居ル人デアリマス、ケレドモ、奈何セン直接取締ニ從事スル警視廳、並ニ各警察署ノ官憲ハ深キ了解ガ無イ、何レモ社會主義ヲ危險ナル思想ナルガ如クニ認メテ居ル形跡デアルデアリマス、社會主義ト一概ニ申シマシテモ幾多ノ分派ガアリマス、溫和ナルモノモアレバ、隨分過激ナルモノモアリマス、之ヲ一率一體ニ取扱フト云フ事ハ、頗ル亂暴デアルト思フ、一視同仁ト云フ事ガアリマスガ、官憲ノ造方ハ、丁度一視同惡トモ謂フベキモノデアアル、其間何等ノ區別ヲ致サナイデアアル、是ハ畢竟社會主義ノ何物タルカラ居ラヌカラ、左様ナ事ニナルデアラウト思ヒマス、マサカ知テ居レバ、斯様ナ不條理ヲ取締ラスル理由ガ無イ、世ノ中ニ知ラズシテ事ヲ爲ス位危險ナコトハアルマイト思ヒマス、丁度盲人ガ杖無シニ道ヲ歩クヤウナモノデ、傍ノ迷惑ハ假リニ宜イトシテモ、終ニハ自身ヲ亡サヤウナ事ニナリハシナイカト思フデアリマス、社會主義ガ果シテ危險ナリヤ否ヤニ就テ、今私ノ存ジ寄リノ事ヲ申上ゲテ、其筋ノ了解ヲ得テ置キタイト思フデアリマス、第一ニ當局ノ御留意ヲ願ヒタイト思フデアリマス、經濟上ノ主義デアッテ、政治上ノ主義デアリト云フ事デアリマス、唯、其主義ヲ實行スルガ爲メニハ、政治上ノ力モ藉ラナケレバナラヌケレドモ是ハ其手段デアッテ、目的デアリト云フデアリマス、政治上ノ變革ヲ目的ノ中ニ強ク包含セシムル主義、例ヘバ無政府主義ノ如キハ、正確ナル意味ニ於ケル社會主義ト云フコトハ出來ヌデアリマス、近頃廣イ意味ニ於キマシテ「無政府主義」ニ「サンヂカリズム」ノ如キモノモ、一概ニ社會主義ト申シテ居リマスケレドモ、是ハ恰モヒスマークノ社會主義者ト申スヤウナモノデ、唯、廣イ意味ニ於ケル一ツノ形容詞ニ過ギナイ正確ナル意味ニ於テ政治

上ノ變革ヲ目的トスル主義ハ、社會主義デアナイデアリ

マス、社會主義者ハ、時ニ「革命」ナル文字ヲ用ルコトガアリマス。政治上ノ革命ヲ意味スルモノデハアリマセズ、社會主義者ハ、決シテ國體ノ變革ヲ希望スルモノデハナイノデアリマス、唯今ノ社會組織ガ惡イ爲メニ、資本家ノミガ利益ヲ壟斷致シマシテ、労働者ト云フモノハ、憫ムベキ状態ニ在リマスカラ、之ヲ矯正シヤウト云フノガ社會主義デアリマス、此主義其ノモノニ於テ、何等不穩ナル分子ハ認メラレズノデアリマス、決シテ國家存立ノ基礎ヲ呪フト云フガ如キコトガアルベキ道理ハ無い、唯、官憲ガ其本質ヲ知ラズシテ無暗ニ壓迫スルノ結果、餘憤ノ逆ル所、時ニ暴力ニ訴ヘルコトガナイトモ限ラナイ、是ハ恰モ大河ノ流レヲ阻ムト、水ガ汎濫シテ堤防ヲ缺潰シ、沃野千里ヲ水中ニ埋没スルノト同ジ事デアリマス、是ハ畢竟官憲ガ其處置ヲ誤ルノ結果デアリマシテ、社會主義ナルモノハ、本來斯ノ如キ革命的思想ヲ有テ居ルモノデハナイ「サンヂカリズム」無政府主義ハ此限リニ在ラズデアリマスケレドモ、一般ニ社會主義ト稱セラレルモノハ、經濟上ノ主張タルニ過ギヌノデアリマス、此點ヲ先ツ第一ニ御諒解ヲ得テ置カテレバナラヌト思フノデアリマス、第二ニ於キマシテ、社會主義ハ社會ニ對スル不平ノ聲デハナクシテ、其不平ヲ救済スル爲メニ起テ所ノ社會改善ノ叫聲デアルト云フコトデゴザイマス、社會ニ不平ガアルカラ、社會主義ナルモノ、起ル必要ガ生ジテ來タノデアリ、社會ニ不平ガ無ケレバ、社會主義ノ起ル必要ハ無い、其不平ヲ根絶スル爲メニ歐羅巴ノ思想家ガ腦漿ヲ榨テ考出シタモノガ、即チ茲ニ社會主義トナッテ現レタノデアリマス、然ラバ現代ノ社會ニハ如何ナル不平ガアルカト申シマス、(一)産業上ノ利益ハ資本家ガ獨リノ壟斷シテ、労働者ハ其分配ニ與カルコトガ出來ナイ、是ガ一ツ、(二)資本家ガ益富シテ少數トナリ、労働者ハ益乏ニナッテ其數ヲ増スト云フ事、是ガ其一ツ、此二ツノ不平ノ聲ト云フモノハ、現代ノ社會ノ二大病弊デアリマス、此不平、此病弊ノ由テ起ル根源ハ何デアルカト申シマス、是ハ現在ノ經濟組織、即チ私有財産制度ト産業ノ自由競争制度デアリマス、私有財産制度、産業ノ自由競争制度申シマスモ、ハ、第十八世紀ノ工業革新ノ起ル以前マデハ、格別弊害ガナク、當時ノ社會組織トシテハ、最モ其當ヲ得タモノデアルトシテ何人モ異論ノ無カッタモノデアリマス、然ルニ其後ニ至リ弊害ガ段々生ジテ來タノデアリマス、第十八世紀ノ後半期千七百六十九年ニ、英國ニ於テ「ワット」ノ蒸氣機關ガ發明セラレテ以來、續イテ各種ノ紡績機械、各種ノ工業機械ガ發明サレテ、茲ニ自家製造ニ屬シタル工業ト云フモノガ、一轉シテ工場製造ノ時代トナッタノデアリマス、而シテ勞

働者ト云フ新シイ階級ガ生ジタノデアリマス、昔年工業ヲ以テ生計ヲ營ンデ居タ職人、並ニ副業トシテ工業ヲ營ンデ居タ農民ト云フモノハ、此大任掛ナル工業經營者ニ壓倒セラレ、彼等ハ職ヲ失テ、遂ニ其工場ノ労働者トナルヤウニナッタノデアリマス、斯様ナ憫レナ境遇ニ陥ッタノデアリマス、是ニ於テ始メテ資本家ト労働者トノ階級ガ分レテ來マシタ、労働者ハ如何ナル地位ニ居ルカト見マセバ、憫レナル状態ニ在ルノデアリマス、労働ノ時間及方法ノ如キハ、資本家ノ勝手ニ定メテ規定ニ服從シナケレバナラヌ、終日工場ニ在ッテ黒イ煙ニ塗レテ、機械ト共ニ棲息シテ、家族團樂ノ樂ヲモ享クルコトガ出來ヌト云フヤウナ有様ニナリ、又衛生設備ノ不完全ナル爲メ、著シク健康ヲ損ジ、又機械ノ設備ガ危険ナル爲メ、或ハ不具者、或ハ痲疾ニナルト云フ者モ多イノデアリマス、又一朝恐慌ガ起テ不景氣ニナレバ、忽チ其職ヲ失ハナケレバナラヌ、然モ其得ル所ノ賃銀ハ、僅ニ自分自身ト家族ヲ、辛ジテ扶持スルト云フ有様ニ過ギヌノデアリマス、然ルニ資本家ノ地位ハ著シク懸隔ガアリマシテ、工場カラ生ジタ所ノ利益ノ大部分ハ之ヲ手中ニ收メテ、資産ハ日ニ増大シテ、坐ナガラ勞セズシテ富ミ、酒池肉林、飽食暖衣、思フ事成ラザルハナク、爲ス事成就セザルハナシト云フ有様デアリ、其地位ハ斯ノ如キ雲泥ノ相違ガアルノデアリマス、是ニ於テ資本家ト労働者トノ衝突ノ起リマスノハ自然ノ勢デアリマス、労働者ハ團結シテ同盟罷業ヲナシ、勞銀ノ増加、労働時間ノ短縮ヲ資本家ニ迫リマシタ、是ニ於テ労働問題ガ生ジタノデアリマス、斯クテ英吉利ハ第十八世紀ノ末葉ヨリ、佛蘭西ハ第十九世紀ノ初葉ヨリ、獨逸ハ第十九世紀ノ中葉ヨリ、而シテ日本ハ第十九世紀ノ末葉ヨリ、此労働者問題ガ起テ、私有財産制度、生産ノ自由競争制度ノ缺陷ヲ遺憾ナク暴露スルコトニナッタノデアリマス、労働問題ハ、畢竟社會組織ニ對スル不平ノ聲デアリマス、此不平ノ聲ヲ鎮壓スベク良案トシテ考出サレタノガ、此社會主義デアリマス、即チ社會主義ノ理想トスル所ハ、現在ノ經濟組織デハ、到底労働者ノ窮狀ヲ救済スルコトガ出來ヌ、故ニ之ヲ根柢カラ破壊シテ、茲ニ新社會ヲ建設シテ、生産機關ナルモノハ總テ之ヲ國有ト致シテ、依テ資本家ナル社會階級ヲ絶滅セシメ、而シテ生産業ヲ悉ク之ヲ官業トシテ、天下ノ人民悉クヲ官吏、又ハ官業ノ使用人タラシムベシト云フニ在ルノデゴザイマス、社會主義ノ流派ハ色々違ヒマスケレドモ、是ガ今日社會主義ニ共通ナル觀念デアリマス、故ニ社會主義ハ不平ノ聲ニ非ズシテ、救済ノ聲デアリマス、隨テ其思想ハ元來危險ノ伴フト云フコトガ無いモノデアリマス、ソレカラ第三ニ當局ニ御留意ヲ乞ヒタイト思フ事ハ、日本社會主義者ノ大部分ハ、マ

ルクス」派ノ純正社會主義、並ニ「フェナンド、ラッサル」派國家社會主義者デアルト云フコトデアリマス、無政府主義又ハ「サンヂカリズム」ヲ奉ジテ居ル者ハ、極メテ少數デアリマス、私ハ此質問趣意書ヲ提出致シマシタ後ニ、封書ヲ以テ東京在住ノ著名ナル社會主義者二十名ヲ擇ンデ、其抱懷スル所ノ社會主義ノ要旨如何ト云フ質問ヲ致シマシタ所ガ、返答ヲシテ來タ者ガ十五名、其内「マルクス」派ノ社會主義ヲ奉ズル者ハ七人、國家社會主義ヲ奉ズル者ガ五人、共產主義者ガ一人、基督教社會主義者ガ一人、無政府主義者ガ一人、斯様ナル内譯ニナッタノデアリマス、詰マリ此「マルクス」派ノ社會主義者ガ一番多數デアリマシタ、然ラバ「マルクス」派ノ社會主義ハ、如何ナル事ヲ主張スル所ノ「ソシアルリズム」デアルカト申シマス「マルクス」ハ御承知ノ如ク近世社會主義ノ鼻祖ト稱セラル、程ノ人デアリマス、其著書共產黨宣言「經濟學評論」「資本論」「剩餘價值學說論」此四種ノ著書ニ依テ、略ボ其ノ思想ヲ窺フコトガ出來ルノデアリマス、其中「資本論」即チ「ダス、カピタル」ト稱スル大著述、是ハ頗ル難解ノモノデアリマシタ、社會主義者ノ「バイブル」聖書ト稱セラル、モノデ、是ハ衆議院ノ圖書館ニモ三冊揃ッテ居リマス、「マルクス」派ノ社會主義ノ要旨ハ、土地及資本ノ公有デアリマス、一切ノ生産機關ハ之ヲ公營ト爲シ、各生産シタル物ハ労働ノ功程ニ應ジテ、之ヲ労働者ニ分配シ、消費ニ付テ財産ノ私有ヲ許シ、家事經濟ハ今日ト同ジク私經濟主義ヲ維持スルト云フ學說デアリマス、故ニ此社會主義ハ半共產主義トモ申シマス、又一名集産主義トモ申スノデアリマス、而シテ「マルクス」派ノ社會主義ノ根柢ハ何カト申シマス、其一ハ彼ノ歴史論デアリマシテ、歴史ヲ科學的ニ研究シテ得タル結論、即チ唯物史觀ガ一ツ、次ニ其二ハ彼ノ經濟論デアリマシテ、特ニ剩餘價值論ノ其神髓トナッテ居リマス、此唯物史觀、並ニ剩餘價值論ノ二ツ大黒柱トナッテ、茲ニ彼ノ社會主義ハ組立テラレテ居ルノデアリマス、詳細ナル事ハ時間ガアリマセヌカラ申上ゲマセヌガ、斯ノ如クニシテ彼ハ斯様ナ結論ヲ與ヘテ居リマス、「總テノ歴史ハ階級戦争ノ歴史デアッテ現在ノ歴史ハ有産階級即チ「ブルジョア」ト無産階級即チ「プロレタリアート」トノ戦争ニ外ナラヌ、即チ階級ノ成立ハ一定ナル經濟的生產及分配ノ關係カラ起テ來ル、權力支配ノ關係モ是カラ發芽スルモノデアリ、而シテ現在ノ時代ニ於テハ有産階級ガ經濟組織ヲ代表シテ居ルガ、來ルベキ時代ニ於テハ無産階級ガ其代表者トナルニ相違ナイ、即チ當今ニ於ケル無産階級社會運動ハ、其兵備ヲ整ヘテ有産者階級ノ城塞ヲ奪ハンガ爲メノデアッテ、私生産組織ニ代フルニ共產主義ヲ以テセントスルニ外ナラヌ」斯ウ

生産、共同消費ノ主義ヲ離レナカトデアリマス、是等ノ共產主義ハ何レモ皆ナ感情的デアラテ、學理上ノ根據ハ何モ無イ、詰マリ架空談デアラテ實際ニ適セナイ、ソレ故ニ何レモ勢力ヲ得ルニ至ラズシテ、遂ニ世ノ中ニ忘レラレテシマタノデアリマス、然ルニ佛蘭西ニ「ルイブラン」ト云フ人ガ現レマシテ、一種ノ共產主義ヲ主張シマシタ、生産組合設立ヲ唱道シマシタ、此說ハ政府ノ採ル所トナテ、佛蘭西革命政府ハ千八百四十八年ニ、彼レノ說ニ從テ國立工場ヲ造ッタガ、是ハ遂ニ良結果ヲ奏スルニ至ラズシテ、失敗ニ終ッタデアリマス、斯ノ如キ譯デアリマシテ、共產主義ト云フモノハ、畢竟空想デアラテ、實際ニ適シナイト云フノガ事實デアリマス、今日日本ニ一人斯ウ云フ主義ヲ唱ヘテ居ル者ガアリマスガ、是ハ餘リ有力デアリマセヌ、併ナガラ是トテモ別ニ危險ト云フ程ノ者デナイト云フコトハ、其性質ニ見テ自ラ明白デアリマス、ソレカラ日本ニハ極メテ少數ノ無政府主義者ガアリマス、無政府主義ハ實ニ危險デアリマス、是ハ私共モ其危險ナルコトヲ認ムルノデアリマス、是ハ千八百四十年頃ニ佛蘭西ノ「ブルドント」ト云フ人ガ初メテ唱ヘテ、一切ノ政府ヲ否認スルト云フ極端ナル自由ヲ主張スルノデアリマス、露西亞ノ盧無主義モ、畢竟此無政府主義ノ一別名ト稱シテ差支ナイノデアリマス、ソレハ無政府主義ト社會主義ト何所ガ異ナルカト云フト、社會主義ハ國家方能主義デアアルノニ對シテ、無政府主義ハ國家ヲ否認スルノデアアル、此點ニ於テ兩者ガ雪ト炭ノ相違ガアルノデアリマス、又社會主義ハ富ノ分配ヲ公平ニ行フト云フノデアリマスガ無政府主義ハ權力ノ分配ニ重キヲ置キマス、前者ハ經濟上ノ革命主義ナルニ反シテ、後者ハ政治上ノ革命主義ヲモ含シテ居リマス、又社會主義ハ或ル部分專制主義ト申シテモ宜シイノデアリマスガ、無政府主義ハ極端ナル自由主義デアリマス、ソレ故ニ無政府主義ノ危險ナルコトハ、天下何人モ認メナイ者ハ無イ、彼等無政府主義者自身ヲ除イテハ、何人モ危險視シテ居ルノデアアル、國家ノ存立ト相容レザルモノデアリマスカラ、若シ日本ニ此無政府主義者ガアツタナラ之ヲ嚴重ニ取締ルノハ、當然ノ事テ、何人モ異論ハ無イノデアリマス、私共モ決シテ是等ノ人ヲモ寬大ニ取締レト云フノデアリマス、尤モ無政府主義者ハ極メテ少數デアリマス、是等ハ今少シク嚴重ニ取締リテモ宜シイ位ノ考ヲ持ツテ居リマス、此無政府主義ト社會主義ヲ混同スルカラ色々不徹底ナ事ヲスルヤウニナル、此點ハ當局ニ於テモ篤ト御了解ノコト、信ジマスケレドモ、直接取締ニ從事スル官憲ハ動モスト混同スルノデアリマス、能ク御留意ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマス、日本ニアリマス社會主義ハ、此外ニ尙ホ基督教社會主義トモ申スベキモノガアリマス、是ハ基督ノ教

義ヲ以テ社會主義ヲ行フト云フノデアリマシテ、是モ或ル方面カラ言ヘバ一ノ社會改良主義デアリマス之ヲ「ソシアリズム」ト稱スルノハ、聊カ不適當ナ名前デハナイカト思フ、其詳細ハ時間ガアリマセヌカラ略シテ置クコトニ致シマス、尙ホ此外ニ佛蘭西ノ「サンヂカリズム」ノ流ヲ汲ム者ガアリマスケレドモ、是ハ其主義ヲ奉ズル上ト云フヨリモ、寧ロ研究致シテ居ルニ過ギナイ、此サンヂカリズムハ、一ノ革命的勞動組合主義デアリマス、其手段ガ極メテ過激デ、直接行動ニ依テ主義ヲ實現シヤウト云フノデ、議會政策、政黨政策、議會政黨ノ力ヲ藉リテ「サンヂカリズム」ヲ主張スルノデナク、其様ナ手續イコトハ一切止メテ、直接行動、同盟罷工カ或ハ其他ノ過激運動ニ依テ、其主義ヲ實現セントスルモノデアリマスカラ、是亦危險ナル主義デアルト申スコトガ出來マス、併ナガラ是ハ社會主義ト云フヨリハ、寧ロ無政府主義ニ近イ一種ノ過激思想デアルト申シテ方ガ宜カラウト思フノデアリマス、其他ニ「ポリシエビズム」露西亞過激派ノ主義ガアリマスケレドモ是モ別ニ日本ニアル譯デアリマセヌカラ申ス必要ハアリマセヌ、其他ニ共同連帶社會主義法之ヲ奉ズル者ガアリマセヌ、斯様ナ次第デアリマシテ、社會主義ハ本來ノ性質ニ於テ經濟上ノ主義デアラテ、政治上ノ主義デアリマセヌ、又労働問題ガ發生スル以上ハ、社會主義ト云フモノハ當然起ルベキモノデアアル、資本主義ニ對シテ社會主義ト云フモノガ、反對ニ毒トモナリ、藥トモナルノデアリマス、而シテ日本ノ社會主義ナルモノハ、皆ナ穩和ナル所ノ「マルクス」社會主義者カ、然ラザレバ國家社會主義者デアアル無政府主義「サンヂカリズム」ノ如キハ極メテ少數デアリマス然ルニ政府ハ此社會主義者ヲ一列一體ニ嚴重ナル取締ヲ加フルト云フコトハ、實ニ當ヲ得タモノデアナイト信ズルノデアリマス、第二段ノ質問、從來ノ社會主義取締方針ハ苛酷ニ失スト認メザルカ政府ノ取締ガ是等ノ穩和ナル社會主義者ニ對シテモ、如何ニ苛酷ニヤテ居ルカト云フ實例ハ私此處ニ澤山持テ居ルノデアリマス、今二三ノ例ヲ申シマスレバ、言論出版ノ取締ノ如キ、非常ニ今尙嚴重デアリマアリマスケレドモ、併ナガラ二十八年來傳統的ノ政策ト云フモノガ矢張其形ヲ存シテ居リマシテ、直接取締ニ從事スル官憲ハ、中々マダ六ヶ敷キコトヲ申シテ居リマス、現ニ最近ニ於キマシテ堺利彦君ノ「唯物史觀解説」ト稱スル、翻譯書ヲ本年一月ニ發賣禁止シマシタ、其内容ハ既ニ久シク「新社會」ト云フ雜誌ニ續物トシテ掲載サレテ居ッタデアリマス、ソレヲ纏メテ單行本トスト直チニ發賣禁止ニナツテシマタソレカラ言論ノ如キハ最近二十年間ニ於キマシテ、社會

主義演說會若クハ社會主義講演會ト名ノ付イタ集會デ、無事ニ最後マデ演了シタモノハ殆ド一ツモ無イト云テ差支ナカラウト思ヒマス、開ケバ直チニ解散ヲ命ズル、ソレ故ニ自然社會主義者モ根ガ盡キテ演說會ヲ開カウトシナイ「開イテモ無益デアアルカラ開カナイト云フ有様デアリマス又最近大正六年ニ堺君ガ社會黨ノ候補者トシテ衆議院議員選舉場裡ニ現レタ際ニ、東京市中デ五回演說會ヲ開キマシタケレドモ、十分乃至二十分ニテ悉ク禁止サレテシマッタ、而シテ其後ニハ會場ヲ持テ三政府カラ交涉致シマシテ、貸サヌコトニナツテシマッタト云フコトデアリマス、又社會黨宣言政見發表ノ印刷物ト如キ、或ハ演說會ノ「チラシ」ノ如キモノハ、殆ド印刷所ニマデ踏込シマシテ之ヲ押收シ、或ハ組版マデモ破壊セシメタト云フヤウナ状態デアリマシテ、誠ニ取締ガ峻嚴ヲ極メタノデアリマス、出版物ノ中デ發賣禁止ニナツテ居ルモノハ、其數ガ少ナクナイノデアリマス、今一々此處デ其名ヲ列舉スルコトハ致シマセヌ又結社ノ如キハ殆ド絕對ニ禁止サレテ居リマス、又交通ニ對スル妨害モ中々峻嚴ナモノデアリマス、即チ一人デ道ヲ歩クコトガ出來ナイ、外ニ出レバ必ズ尾行巡查ガ尾ク、是ハ第二次桂内閣時代ガ一番酷カタサウデアリマスガ、最近ニ於テモ矢張尾行巡查ガ廢サレテアリマセヌ、殊ニ最近堺利彦君ノ如キハ尾行巡查ノ側カラ尾行ヲ一人附ケテ居ルト云フコトデアアル、而シテ住居ノ如キモノモ下宿ヲ致シテ居リマス、刑事巡查ガヤテ來テ、下宿ノ主人ニ交渉シテ逐出サユウナコトヲスル、ソレ故ニ下宿ヲ輾轉シテ、殆ド居ルニ處ガ無イト云フヤウナ間ナ有様デアリマス、又家主ヲ説イテ其家ヲ逐出サセルト云フヤウナコトヲ申シテ逐出サセル、其實例ハ極メテ多イ、商賣ヲシテ居リマスモアリマシタ、又職業ニ就キマシテモ、其雇主ニ對シテ干渉ヲシテ逐出サセル、其例ハ極メテ多イ、商賣ヲシテ居リマスト店ノ前ニ刑事巡查ガ監視シテ居ル、或ハ得意先ニ行ツテ、何故ア、云フ所デ品物ヲ買フカト云フヤウナコトヲ言ツテ干渉致シマス爲メニ店モ閉デテシマハナケレバナラヌト云フヤウナコトニナツタ實例モ少ナクアリマセヌ、總シテ就職口ニ對スル壓迫ト云フモノモ中々酷カタデアリマス、詰アリ糊口ノ途ヲ塞イデシマフト云フコトヲヤル、世ニ是レ位殘酷ノ事ハナカラウト思フ、又實際ヲ壓迫スルト云フ實例モアリマス、何故ア、云フ者ト交ルカ、ア、云フ者ト手紙ノ遺取リヲシテハイケンイト云フヤウナコトヲ言ツテ、友人或ハ親戚杯トモ殆ド文通ヲ杜絶サレテシマウ、又何カト云ヘバ直チニ檢束シテ、身體ノ自由ヲ奪フト云フ實例ハ更ニ多イノデアリマス、而シテ僅カノ罪ヲ犯シマス、嚴罰ヲ以テ之ニ臨ム、其實例モ多數アリマス、併ナガラ是等ノ事ハ、マダ社會主義者自身ノ受クル所ノ迫害デアアルカラ、假リニ宜イトシテ我慢ヲシテモ、我

慢ノ出来ナイノハ、社會主義者ノ妻子眷族及友人ニ對シテ爲ス所ノ壓迫デアリマス、妻ニ對シテ追害ヲシタト云フ事實モ澤山アリマス、ソレガ爲メニ或社會主義者ハ、協議ノ上妻ヲ離婚シ、其妻ハ教師タルコトガ出来ズシテ産婆ニナリ、サウ云フ實例モアリマス、又結婚セント致シマシタ所ガ、監視廳カラ色々惡イ事ヲ報告サレタノデ、破談ニナリタト云フ實例モアリマス、其中私ガ非常ニ神經ヲ刺戟スルト思ヒマシタノハ、山口孤創ト云フ人ノ妹ノ某ガ、小倉ノ第十四聯隊ノ陸軍中尉ノ村上某ノ細君ニナリタ所ガ、聯隊長ガ其中尉ヲ呼出シマシテ、彼ノ妻ヲ離別シナケレバ職ヲ罷メルント云フテ壓迫ヲ致シマシタノデ、遂ニ彼ハ離別スルニ忍ビズシテ、休職トナリタト云フコトデアリマス、是等ハ實ニ殘酷極ル遺方デアルト思フデアリマス、又社會主義者ヲ友人ニ持テ居ル關係ヲ失フテ實例ハ、博文館ニ一人アリマス、又中央新聞ノ校正係ニモ一人アリマスガ、名前ハ留保シテ置キマス、斯様ナ次第デアリマシテ、隨分政府ノ一政府ト云フヨリハ官憲ノ社會主義ニ對スル壓迫ハ、實ニ峻烈ヲ極メテ居リマス、前述ノ如ク本人ニ對スル事ハ假リニ宜イト致シマシテモ、親戚故舊ニ對シテ斯ノ如キ壓迫ヲ加フルニ至リマシテハ、實ニ何トモ申シヤウモナイ殘忍ナル追害デアルト思フデアリマス、此結果ハドウ云フ事ニナルカ、斯ノ如ク殘酷峻険ナル取締ヲ加ヘル結果ハドウナルカト云フト、極メテ明白デアリマス、即チ羊ヲ驅テ狼タラシムルモデアリマス、人ハ感情ノ動物デアリマス、迫害サルレバ復讐ヲ思ヒ、壓迫サルレバ反抗ヲ思ヒマス、是ハ人情デアリマス、特ニ日本人ハ向フ意氣ノ強イ感情ノ緊張シタ國民デアリマシテ、是ハ佛蘭西人ニ稍、似タ所ガアリマスガ、癡ニ獨ルト隨分酷イ事ヲヤリ兼ネヌデアリマス、然ルニ穩和ナル社會主義ヲ唱へ、或ハ皇室中心ノ社會主義ヲ唱へテ、社會ノ缺陷ニ對シテ救濟ノ聲ヲ揚ゲントシテ居ルノニ、無暗ニ政府ガ峻険ナル追害ヲ加へ、親戚故舊マデモ虐メル、其結果ハドウナルカ、其結果ヲ考ヘタナラバ、吾々ハ實ニ悚然トシテ肌ニ粟ヲ生ズルデアリマス、私ハ茲ニ一ツノ實例ヲ持テ居リマス、大正五年ノ夏桑港ニ於テ、日本人ノ或社會主義者ガ領事ノ壓迫ヲ受ケタ時分ニ、片山潜ト云フ人ガ遙ニ一書ヲ桑港カラ内地ニ寄越シテ居リマス、ソレニドウ云フ事ガ書イテアルカト云フニ、此一事ニ依テモ日本官憲ノ社會主義者ニ對スル所ノ壓迫振テ想像スルコトガ出来ルト思ヒマス其結果トシテ邦人中ノ社會主義者ノ多數ハ漸次無政府主義者トナリテ居リマス、彼等ガ少シク社會的活動ヲスレバ日本官憲ハ直チニ注意人物名簿ニ記入シテ郷里ノ父兄ニ壓迫ヲ加ヘルノデ自然父兄トモ音信ヲ斷チ日本政府ヲ憎ムト同時ニ日本ヲ厭フヤウニナリ孤立ノ生活ニ在リテ唯、絶望ノ無政府主義的思想ガ纒ニ彼等ノ慰安トナリテ居ルノデアアル」彼等ハ無政府主義ニ於テ一ノ慰安ヲ求メテ居ル、斯ウ云フコトヲ書イテ來テ居リマス、是ガ當時ノ「新社會」ト云フ雜誌ニ載テ居ルノデアリマス、決シテ私ハ架空ノ事ヲ申上ゲルノデアリマセヌ、即チ斯ノ如ク過激手段ガ彼等ノ絶望の煩悶ヲ救フ唯一ノ方法デアルト云フコトニナリタナラバ、其結果ハ如何ニ恐ルベキモノデアルト云フコトハ、想像スルニ餘アルノデアリマス、此政府ノ二十年來傳統的ノ社會主義ノ取締方針ト云フモノハ、丁度徳川幕府ガ關ヶ原合戦後ニ浪人共ニ加ヘタ取締法ト髣髴タルモノガアリマス、矢張同様ノ道行ニナリテ居リマス、關ヶ原合戦後多數ノ浪人ガ生ジテ、其浪人ガ衣食ノ道ヲ求ムル爲メニ江戸ニ集リ、ソレヲ取締ルノニ極メテ峻嚴ノ態度ヲ臨ンダ、江戸ニ親戚故舊ノ在ル者デナケレバ、直チニ引拂フベシト云フ嚴命ヲ下シ、之ガ爲メ左ナキタノデアリマス、其時分ニ當リテ、是等浪人ノ身元引受人ニナリタ者ガ、即チ由井正雪デアリマス、由井正雪ハ丸橋忠彌ト共ニ徳川幕府ノ顛覆ヲ企テマシタ、其動機ニ就テハ色々ナコトヲ歴史家ガ申シテ居リマスケレドモ、其真相ト云フモノハ、即チ是等浪人ノ徳川幕府カラ壓迫ヲ加ヘラレタ所ノ浪人共ガ、由井正雪ヲ擔イデ幕府ニ引リ寄イテ、一ツ幕府ヲ引線返シテヤラウト云フ企テマシタト云フノガ、真相デアナイカト思ヒマス、殊ニ此丸橋忠彌ノ配下ニ屬シテ居リタ所ノ老人隊ト云フモノハ、何レモ六十歳七十歳、年老イタル浪人共ガ幕府ノ追害ヲ受ケテ、モウ此世ニ望ガ無イカラ、此世ノ思出ニ彼等老中共テ斬テ斬テ斬テ、自ら斬死ヲシヤウト云フ決心ヲ致シテ、茲ニ決死隊ヲ組織致シタノデアリマス、實ニ悲慘極マルコトデアリマス、政府ガ無暗ニ壓迫ヲ加ヘテ、彼等糊口ノ途ヲ斷チマス、斯ウ云フ史的事實ハ、古今東西其例ガ乏シクナイ、明治四十三年ニ起リマシタ所ノ幸徳秋水一派ノ大逆事件ト云フモノハ、矢張慶安四年ニ起リタ所ノ、由井正雪ノ變ト同ジヤウナ形ヲ取、テ居ルノデアリマス、明治四十一年六月ニ赤旗事件ト云フモノガ、神田ノ錦輝館ニ起リマシタ、是ハ洵ニ詰ラヌ事件デ、白晝警官ト赤旗ノ爭奪ヲシタト云フ輕微ナ事案デアリマス、然ルニ此亦旗事件ニ連坐シタ所ノ社會主義者ハ、何レモ皆ナ重刑ニ處セラレタノデアリマス、官吏抗拒罪トカ、或ハ治安警察法違反トカ云フ輕微ナ犯罪アルニ拘ラズ、皆ナ懲役一年乃至二年ト云フヤウナ、重イ刑ヲ宣告セラレタノデアリマス、而シテ其後社會主義者ハ一體ニ非常ニ酷烈ナル所ノ監視ノ下ニ、身動キモナラヌト云フヤウナ酷イ壓迫ヲ受ケタノデアリマス、殊ニ幸徳秋水ノ如キハ、自分ノ家ノ前ノ廣場

ニ警官ガ天幕ヲ張ッテ、二十人三十人晝夜詰掛ケテ之ヲ監視シテ、湯ニ行クニモ尾行巡查ガ尾ク、友人ヲ訪問スルニモ尾行巡查ガ尾クト云フヤウナ譯デ、非常ニ壓迫ヲ加ヘタノデアリマスカラ、彼等ハ絶望の煩悶ニ陥ラザルヲ得ナカッタノデアリマス、且又此赤旗事件ノ刑罰ガ餘リ酷烈ナリシヲ恨ムノ餘リ、是等餘憤ノ逆ル所、遂ニ過激ノ事ヲ企ツルニ至リタノデアリマス、大逆事件ト云フモノハ、斯ノ如クニシテ起タノデアリマス、是ハ決シテ秘密デモ何デモナイ、大逆事件ノ判決ト云フモノガ雜誌ニ載テ居リマス、其雜誌ハ別ニ發賣禁止ニモ何ニモナリテ居リマセヌカラ、志アル御方ハ一讀ニナレバ直チニ明白ニナルコトデアリマス、赤旗事件ニ起因スル所ノ絶望の憤激ニ依ッテ、此大逆事件ヲ生ジタノデアアル、恰モ徳川幕府ノ壓迫ニ對シテ、由井正雪ノ變ガ起リタ同ジ形式ヲ取テ居ル、洵ニ危險極マル事デアルト私ハ思フノデアリマス、向ホ方面ヲ變ヘテ觀察致シマスルノニ、今日社會主義ガ非常ニ職ニナ國ハ何處々デアルト申シマス、不思議ニモ社會主義ニ對シテ壓迫ヲ加ヘタ國ニ限リテ居リマス、比較的自由ニ國ニハ、社會主義ハ餘リ職ニデアリマセヌ、其證據ニハ北米合衆國ハドウデアアルカ、自由ノ國デアリマス、社會主義ノ唱道ニ對シテ、何等壓迫ヲ加ヘルト云フコトハ、殆ド發展シテ居ナイ、社會黨ト云フモノハ、殆ド勢力ガ無イト云フテモ差支ナイ、英吉利ニ於テ勞働黨ト云フモノハ、可ナリ勢力ヲ得テ居リマスケレドモ、勞働黨ハ全部社會主義者デナイ、而モ其勞働黨タルヤ、其數ト云フモノハ極メテ少イデアアル、尤モ昨年暮ノ總選舉ニ於キマシテ幾ラカ數ガ殖エマシタケレドモ、他ノ黨派ニ比スレバ殆ド論ズルニ足ラナイ、斯様ニ自由ノ國ニ於テハ、社會主義ト云フモノハ決シテ職ニナラヌ、翻テ專制國ト稱セラレテ居タ所ノ露西亞ハドウデアアルカ、カイセルノ下ニ壓迫ヲ蒙テ居タ所ノ露西亞デアアル、即チ社會主義ヲ常ニ壓迫シテ來タ所ノ國ハ、此ノ通り社會主義ガ職ニナリテ居ル、遂ニ社會主義者ノ爲メニ政府ハ顛覆サレテ居ルデアナイカ、露西亞ト獨逸ノ革命ハ何人ガ遂行シタノデアアルカ、露國、獨逸ノ政府ハ、彼等ガ力ヲ舉ゲテ壓迫シタル者ノ爲メニ其身ヲ亡ボスニ至リタノデアリマス、是故ニ無暗ニ社會主義ヲ壓迫スルコトノ如何ニ危險デアアルカト云フコトハ、此實例デモ知ルコトガ出来ルノデアリマス、獨逸ニ於キマシテ「ピスマーク」ガ社會主義ノ鎮壓法ト云フ法律ヲ作ッタコトガアリマス、サウシテ社會主義者ニ非常ニ壓迫ヲ加ヘマシタケレドモ、此結果ハドウデアアルカト申シマスルニ、社會主義鎮壓法ガ制定サレタ時分ニ、社

府主義的思想ガ纒ニ彼等ノ慰安トナリテ居ルノデアアル」彼等ハ無政府主義ニ於テ一ノ慰安ヲ求メテ居ル、斯ウ云フコトヲ書イテ來テ居リマス、是ガ當時ノ「新社會」ト云フ雜誌ニ載テ居ルノデアリマス、決シテ私ハ架空ノ事ヲ申上ゲルノデアリマセヌ、即チ斯ノ如ク過激手段ガ彼等ノ絶望の煩悶ヲ救フ唯一ノ方法デアルト云フコトニナリタナラバ、其結果ハ如何ニ恐ルベキモノデアルト云フコトハ、想像スルニ餘アルノデアリマス、此政府ノ二十年來傳統的ノ社會主義ノ取締方針ト云フモノハ、丁度徳川幕府ガ關ヶ原合戦後ニ浪人共ニ加ヘタ取締法ト髣髴タルモノガアリマス、矢張同様ノ道行ニナリテ居リマス、關ヶ原合戦後多數ノ浪人ガ生ジテ、其浪人ガ衣食ノ道ヲ求ムル爲メニ江戸ニ集リ、ソレヲ取締ルノニ極メテ峻嚴ノ態度ヲ臨ンダ、江戸ニ親戚故舊ノ在ル者デナケレバ、直チニ引拂フベシト云フ嚴命ヲ下シ、之ガ爲メ左ナキタノデアリマス、其時分ニ當リテ、是等浪人ノ身元引受人ニナリタ者ガ、即チ由井正雪デアリマス、由井正雪ハ丸橋忠彌ト共ニ徳川幕府ノ顛覆ヲ企テマシタ、其動機ニ就テハ色々ナコトヲ歴史家ガ申シテ居リマスケレドモ、其真相ト云フモノハ、即チ是等浪人ノ徳川幕府カラ壓迫ヲ加ヘラレタ所ノ浪人共ガ、由井正雪ヲ擔イデ幕府ニ引リ寄イテ、一ツ幕府ヲ引線返シテヤラウト云フ企テマシタト云フノガ、真相デアナイカト思ヒマス、殊ニ此丸橋忠彌ノ配下ニ屬シテ居リタ所ノ老人隊ト云フモノハ、何レモ六十歳七十歳、年老イタル浪人共ガ幕府ノ追害ヲ受ケテ、モウ此世ニ望ガ無イカラ、此世ノ思出ニ彼等老中共テ斬テ斬テ斬テ、自ら斬死ヲシヤウト云フ決心ヲ致シテ、茲ニ決死隊ヲ組織致シタノデアリマス、實ニ悲慘極マルコトデアリマス、政府ガ無暗ニ壓迫ヲ加ヘテ、彼等糊口ノ途ヲ斷チマス、斯ウ云フ史的事實ハ、古今東西其例ガ乏シクナイ、明治四十三年ニ起リマシタ所ノ幸徳秋水一派ノ大逆事件ト云フモノハ、矢張慶安四年ニ起リタ所ノ、由井正雪ノ變ト同ジヤウナ形ヲ取、テ居ルノデアリマス、明治四十一年六月ニ赤旗事件ト云フモノガ、神田ノ錦輝館ニ起リマシタ、是ハ洵ニ詰ラヌ事件デ、白晝警官ト赤旗ノ爭奪ヲシタト云フ輕微ナ事案デアリマス、然ルニ此亦旗事件ニ連坐シタ所ノ社會主義者ハ、何レモ皆ナ重刑ニ處セラレタノデアリマス、官吏抗拒罪トカ、或ハ治安警察法違反トカ云フ輕微ナ犯罪アルニ拘ラズ、皆ナ懲役一年乃至二年ト云フヤウナ、重イ刑ヲ宣告セラレタノデアリマス、而シテ其後社會主義者ハ一體ニ非常ニ酷烈ナル所ノ監視ノ下ニ、身動キモナラヌト云フヤウナ酷イ壓迫ヲ受ケタノデアリマス、殊ニ幸徳秋水ノ如キハ、自分ノ家ノ前ノ廣場

會主義者ニ對スル選舉投票數ト云フモノハ、僅ニ四十三万
 デアツタモノガ、其法律ノ廢止ヲシタ時分ニハ、社會主義
 ノ投票ト云フモノガ、百四十三万、即チ百万ノ數ヲ増
 加シマシク、鎮壓法ヲ出シタ時分ニ勞働組合ノ數ハ僅ニ
 五万シカ無カクモ、之ヲ廢止スル時ニ至テ二十万
 ニ殖エタ、社會主義鎮壓法ト云フモノハ、何等ノ效力ヲ
 爲シテ居ナイデアリマスカラ、フルデナンド、ラツサルノ如キ
 ハ、社會主義鎮壓法ハ社會主義ヲ鎮壓スルコトガ出來
 ナクシテ、却テ「ピスマーク」ヲ鎮壓シタノデアリト云フ皮肉
 ナル批評ヲ致シテ居ルデアリマス、斯様ナ次第デアリ
 マシテ、嚴峻苛酷ナル取締方針ハ、獨リ何等ノ效果無キ
 ノミナラズ、穩和ナル社會主義者ヲ驅テ過激ニ赴カシメル
 モノデアリマスカラ、政府ハ此傳統的ノ苛酷ナル取締方針
 ト云フモノニ付テハ、大ニ考慮スル所ガ無クレバナラスト思
 フノデアリマス、ソコデ私ハ第三ノ質問ト致シマシテ、茲ニ政
 府ハ社會主義取締方針ヲ改ムル意思ナキヤト云フコトヲ
 問ハナケレバナラヌノデアリマス、先ヅ第一ニ申上ゲテ置キタ
 イノハ、危險人物名簿ノ整理ヲスルト云フコトデアリマス、
 承ハリマスレバ、警視廳ニハ要視察人名簿、即チ注意人物、
 危險人物ノ名簿ガアリマシテ、ソレニハ甲乙丙丁ト分ケテ、
 社會主義者ノ中ニ一番激烈ナル者ヲ甲トシ、稍穩ガナル者
 ヲ乙トシ、丙丁ト云フヤウニ四種類ニ分ケテアルサウデアリ
 マスガ、此帳面ニ一度名ヲ書カレタ者ハ容易ニ抹殺サレル
 コトガナイ、假令改メテ穩和ナル主義ニナリマシテモ、矢
 張危險人物名簿カラ削除サレルコトガ出來ナイ、恰モ南亞米
 利加ニ在ル底無地ニ嶽ツヤウナモノデ、一度落チレバ再ビ
 上ルコトガ出來ナイ、是ガ警視廳ノ危險人物ニ對スル取締
 ノ方針デアリ、併ナガラ今日此名簿ニ名ガ載テ居ル人デ、
 初メカラ極ク嚴和ナル社會主義者ガアリマスシ、又青年
 ノ時ニハ随分過激ナ事ヲ主張シタケレドモ、段々年ヲ取リ、社
 會ノ經驗ヲ積ムニ從テ、是デハイカヌト云フノデ、穩和ナル主
 義ニ改メタ人モ少クナイノデアリマス、其等ガ矢張其儘危
 險人物トシテ名簿ニ載テ居ル、コンナ固定ノ危險人物名
 簿ハ整理シテ載キタイ、何等危險ノ無イ穩和ナル主義者
 ハ、全部削除スルコトニシテ貫ヒタイト思フノデアリマス、勿
 論無政府主義者、或ハ「サンヂカリズム」ヲ奉ズル人、激烈
 ナル主義ヲ奉ズル者ハ此限ニ在ラズ、寧ロモウ少シ嚴重ニ
 取締シテ差支ナイト思ヒマス、ソレト同時ニ私ガ茲ニ申上ゲ
 テ置キタイノハ、無政府主義「サンヂカリズム」杯ノ危險ノ人
 物モアリマスガ、立憲政體ノ下ニ於テ立憲政治ヲ呪フヤウ
 ナ言動ヲ爲ス者ハ、矢張一ノ危險人物ト思フ、嘗テ或人ハ
 憲法中止論ヲ唱ヘタコトガアル、其人ハ今日果シテ憲法中
 止論ヲ持テ居ルカドウカ知りマセヌガ、其後矢張官僚一味

ノ間ニ、動モスレバ此立憲政治ヲ呪フヤウナ穩カナラヌ言動
 ヲスル者ガアル、是等ハ矢張危險人物デアアル、無政府主
 義者「サンヂカリズム」主義者ト共ニ、危險人物名簿ノ中ニ
 載セテ置ク方ガ宜イト思フ位デアアル、ソレカラ第三ハ尾行巡
 査ノ廢止ヲ勸告シタイノデアリマス、尾行巡查ト云フモノ
 ハ、獨リ本人ノ業務ヲ妨害シ信用ヲ毀損スルト云フヤウナ
 弊害ガアルノミデナイ、誠ニ無益ナモノデアアル、ト申スノハ社
 會主義者モ段々尾行ニ馴レテ來マス、巡查ヲ出抜クコト
 ハ極メテ上手ニナル、之ヲ捲クコトハ極メテ容易デアアル、ト
 云フノハ尾行巡查ガ尾イテ來テモ、途中デ自動車ニ飛乗レ
 バ、直グニハグレテシマウ、又満員ノ電車ニ飛乗ラズレバ捲
 クコトガ出來ル、或ハ表カラ入テ裏口カラ逃出セバ捲クコ
 トガ出來ル、故ニ彼等ガ眞ニ不穩當ノ企ヲシヤウトスレバ、
 容易ニ捲イテシマウコトガ出來ルデアアル、何ノ役ニモ立タ
 ス、殊ニ最近尾行巡查ト社會主義者ト妥協シテ、一緒ニ
 遊廓ニ女郎買ニ行タト云フヤウナ實例杯モアル、或ハ妥協
 シテ一日自分ガ外出シナイ代リニ、尾行巡查ハ妻子ヲ伴レ
 テ淺草公園デ遊ンデ、歸リニ牛肉ガ餅杯ヲ土産ニ持テ歸
 タト云フ實例モアル、誠ニ無益ナ事デアアル、斯ル事ニ國費ヲ
 濫費スルノハ、誠ニ不都合デアルト思フ、尾行巡查ハ、社會
 主義者ガ旅行ヲスル時儲カレノデアアル、社會主義者ガ大阪
 へ行クト、本署カラ旅費ヲ貰ヒテ尾イテ行ク、儉約シテ歸レ
 バ一度ノ旅行ニ三十圓位ハ殘ル、サウスルト社會主義者ノ
 尾行ニ依テ此尾行巡查ハ儲ケルコトニナリ、甚ダ怪シカラヌ
 譯デアアル、斯様ナ次第デアリマスカラ、一面社會主義者ヲ
 養成スルヤウナ氣味ニモナリ、社會主義者ガ全く無クナルト
 役得ガ無クナルカラ、全部社會主義者ノ無クナラヌヤウニ、
 保護スルト云フヤウナ形モ將來現レテ來ル、ト申スノハ會テ
 佛蘭西ノ北部ニ非常ニ狼ガ現レタコトガアル、ソコデ狼ヲ退
 治スル爲メ、即チ狩狼局ガ出來テ、年ヲ經テ既ニ狼ハ狩盡
 サレタ筈デアアルノニ、依然トシテ狼ガ出ル、之ヲ調査致シマ
 シタ所ガ、焉ノ知ラン内々狼ヲ養ヒテ居タト云フコトデアアル、
 即チ取締レベキ目的物ガ無クナレバ職ヲ失フノ虞ガアルノ
 デ、之ヲ養成スルト云フヤウナ不都合ナル結果ニモ相成ルノ
 デアリマス、斯様ナ事ハ常ニ在ル譯デアアリマス、マイケレド
 モ、何トナク無意識ニサウ云フ形ニナルト云フコトハ、否認
 スベカラザル事實デアリマス、第三ニハ言論出版ヲ今少シク
 開放シテ貰ヒタイ、社會主義ト名ノ付ク書物ハ殆ド出スコ
 トガ出來ナイ、其辯經濟學者ノ書キマシタ書物ノ中ニハ、社
 會主義ノ事ガ澤山書イテアル、唯、名前ガ社會主義トナッテ
 居ラヌカラ、政府ハ之ヲ許シテ居ルヤウデアリマスガ、名前ハ
 ドウデモ内容ノ方ガ大切デアアルノデアリマスカラ、斯様ナ不
 條理ナル取締ハ、寧ロ廢止シタ方ガ宜カウラト思フ、又演說

會ノ如キモ、主催者ノ顔觸ヤ、或ハ演說會ノ名稱ヲ見テ、之
 ヲ禁止スルトカ云フヤウナコトハ無意味デアリマス、是杯モ
 餘程手加減ヲシテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソ
 レカラ第四ニハ罪ヲ三族ニ及ボスノ主義ヲ改メテ貰ヒタイ、
 本人ガ如何ニ危險人物ナレバトテ、妻子ニ咎ノアル譯ハナ
 イ、友人ニ何ノ責任ガアルカ、本人ガ危險デアルト親族故
 舊マデ迫害スルト云フコトハ、昔ノ專政時代ニ在ッタコトデ
 アリマスケレドモ、今日明治大正ノ御代ニ斯ル蠻風ノ行
 レルト云フコトハ、實ニ悲シムベキ事デアアルト思ヒマス、官憲
 ハ傳統的ニ無意識ニ斯ウ云フ蠻風ヲ脱スルコトガ出來ズ
 ニ、動モスレバ親族故舊ニ迫害ヲ及ボスノデアアルカラ、此點
 ハドウカ改メテ貰ヒタイト思フノデアリマス、今ヤ世界ハ露
 西亞ノ革命、獨逸ノ革命ノ影響ヲ受ケテ、「ソシヤル」デモク
 ラシイノ思潮ハ靡然トシテ世界ヲ包ンデ居ルデアアル、資
 本侵略主義ニ對シテ、社會主義ノ段々盛ニナッテ行クト
 云フコトハ寧ロ當然ノ勢力デアアル、世界ノ列強中、何レノ
 國カ内閣ニ社會主義者ノ閣員ヲ一人モ持タヌ國ガアリマ
 セウ、又世界列強中、何レノ國ガ社會主義者ノ代議士ヲ一
 人モ持タナイ國ガアリマセウ、其是レアルハ唯、日本ノミデ
 アル、日本ハ此世界ノ大潮流ノ中流ニ船ヲ停メテ置クコト
 ガ出來ルデアリマセウカ、速ニ流ニ從テ下ルノデナケレバ、却
 テ船ヲ覆ス虞ガアル、日本政府二十年來ノ傳統的社會主
 義取締方針ト云フモノハ、誠ニ危險極マルモノデアリマスカ
 ラ、ドウカ此點ハ政府ニ於カレマシテモ、篤ト御考慮ヲ願ヒタ
 イ、殊ニ原内閣ニ於カレマシテハ、斯ル事ニ了解ノ多イ人ガ
 閣員ニ澤山アルノデアリマスカラ、此點ハ能ク調査ヲ致シマ
 シテ、若シ私ノ唯今申上ゲタ三段ノ質問ニ多少採ルベキ所
 ガアツタナラバ、速ニ方針ヲ改メ、國家及皇室ヲシテ直ニ泰山
 ノ安キニ置クヤウニ盡力セラレンコトヲ、切ニ希望シテ已マ
 ナイモノデアリマス、敢テ誠意アル内務大臣ノ御答辯ヲ囑
 スル次第デアリマス、甚ダ長ク申上ゲテ相濟マセヌ
 ○副議長(濱田國松君) 質問第二、甘蔗ニ關スル質問我
 如古樂一郎君
 甘蔗作ニ關スル質問主意書
 右成規ニ據リ提出候也
 大正八年二月二十日
 提出者我如古樂一郎 賛成者金杉英五郎
 甘蔗作ニ關スル質問主意書
 一 砂糖ノ需給關係ニ對スル政府ノ所見如何
 一 從來甘蔗作ヲ爲シタル四國、中國、九州地方ニ於テ
 米不足ノ爲メ米作ニ轉業スル傾向ナキヤ或ハ該地方ニ
 於テハ甘蔗作ニ比シ米作ノ經濟的ナリトスルモ之カ
 爲甘蔗作ニ對スル政府ノ所見如何

一 政府ハ米不足ノ爲關稅廢止及開墾助成法ニ依リ米ノ輸入若ハ移入増加又ハ生産増加ヲ實行シ米ノ調節ヲ圖リツツアリ隨テ之カ爲臺灣ニ於ケル甘蔗作及米作ニ影響ヲ及ボサルヤ政府ノ所見如何
一 日本内地産額ノ六割ヲ占ムル沖繩縣ノ糖業改良獎勵ニ就キ政府ノ所見如何
右及質問候也

二 甘蔗作ニ關スル質問(我如古樂一郎君提出)

○小川寅六君 唯今ヨリ會計士法案ノ委員會ヲ開キタ
イト思ヒマス
○副議長(濱田國松君) 許可致シマス
○小川寅六君 會計士法案ノ委員諸君ハ、第六委員室ニ御參集ヲ願ヒマス

(我如古樂一郎君登壇)

○我如古樂一郎君 私ノ質問ハ、甘蔗作ニ付テ申上ゲヤウト思ヒマス、歐洲戰亂ノ結果、歐米ニ於キマシテハ甘蔗糖ノ減産額ガ半額以上ニナリテ居リマス、其爲メニ亞細亞洲ニ於ケル甘蔗糖ノ價值段ガ高クナリテ參トノ、吾々國民トシテモ、戰前分蜜糖百斤十五六圓ノ相場デアッタノ、今日デハ既ニ百斤二十二三圓ノ相場ヲ消費シ、アルノデアリマス、斯様ニ相場ガ高クナリテ居ルノデアリマスカラ、我國內ニ於テモ此甘蔗作ニ付テ、補給作ニ付テ質問致サウト思フノデアリマス、我國內ニ於ケル一箇年砂糖ノ消費量ハ五六億万斤デゴザイマス、即チ人口一人當リガ十斤餘ニ當ル、之ヲ歐米ノ五六十斤ニ比較シ見マシマス、餘程少量デゴザイマス、ソレカラ大正三年ヨリ大正七年ニ至ル五箇年間に輸出超過ガアリマシマス、大正六年ニ於テ九千万斤程ノ輸出超過ガアリマシマス、此年ハ日本内地及臺灣ノ甘蔗ノ豐作ノ爲メト、ソレカラ歐洲戰亂ノ爲メ輸入ガ減少シタノ、斯様ナ事ニナリテ居リマスガ、其他ノ年ニ於キマシテハ總テ輸入超過デ、大正七年ノ如キ、既ニ一億七千万斤餘ノ輸入超過ニナリテ居ルノデアリマス、而シテ本邦八年々人口モ殖エ、並ニ生活程度ノ向上ニ伴ヒ、益々砂糖ノ消費ガ増スノデアリマシテ、今後輸入超過ニナルト云フコトガ思ハレルノデアリマシテ、此砂糖ノ需給關係ニ付テ政府ニ御質問ヲ致ス次第デアリマス、ソレカラ國內ニ於テ甘蔗作ヲ爲シテ來マシタ所ノ四國、九州、中國邊リニ於キマシテハ、近年米不足ノ爲メ、米ノ調節ヲ致サレヤウトシテ居ル爲メ、國內ニ甘蔗作ガ減リ、又間接ニ臺灣ニ於テ甘蔗作ガ減リ、益々國內ニ於ケル砂糖ノ産額ガ減ラダウト思フノデアリマスガ、果シテ左様ナ傾向デアレバ、益々此砂糖ノ需給關係ニ付テハ、餘程ノ注意ヲ拂ハナケレバナラウト思ヒマ

スノ、政府ニ其點ヲ質問致シマス次第デアリマス、ソレカラ次ニ其質問ノ要點ハ、甘蔗作ノ適當ナル所ノ沖繩縣ニ於ケル糖業ノ問題ニ付テ、一通リノ質問ヲ致サウト思フノデアリマス、一ツハ黑糖ノ工業、一ツハ分蜜糖ノ工業ニ付テ御質問ヲ致ス次第デアリマス、此分蜜糖ノ工業ニ付キマシテハ、政府ガ既ニ明治四十二年ニ沖繩縣ニ百噸ノ能力アル分蜜糖ノ機械ヲ据付ケマシテ、分蜜糖業ノ有望ナルコトヲ示サレタノデアリマス、爾後臺南製糖會社ノ工場ガ數箇處ニ出來、又今將ニ東洋製糖會社ガ、宮古八重山兩島ニ設立サレヤウトスル機運ニナリテ居リマス、斯様ニ沖繩ハ甘蔗作ニ餘程有望ナ土地デアリマシテ、糖業改良事務局ガ設置サレタ場合ニ於テハ、僅ニ産額ガ五六千万斤デアリマシタガ、大正五年ニハ一億一千万斤ニナリテ居ルノデアリマス、約十年間に於テ倍額以上ニナリテ居リマス、斯ル狀勢ヨリ考ヘテ見マシマス、沖繩ニ於キマシテモ、數年ヲ待タズシテ二億万斤以上ノ砂糖、即チ日本國內ニ於ケル消費量ノ約三分一以上ヲ得ラル、譯デアリマス、是ハ如何ナル譯カト申シマスルト、大正五年ノ甘蔗作ヲ調ベテ見マシマス、マダ全耕地ノ二割強デアリマスカラ、尙ホ其ノ耕地ヲ擴メルノミナラズ、開墾ノ餘地モ多クデアリマス、此砂糖ノ産額ヲ増進セシメルト云フコトハ、今日ノ糖業政策上最モ緊要ナル事デゴザイマス、而シテ今分蜜糖ト黑糖トノ割合ヲ見マシマス、全産額ノ一割内外シカ分蜜糖ト作ラレテ居ナイノデアリマス、此砂糖工業ニ付テ最モ必要ヲ感ジマス、ハ、壓榨器ノ關係デゴザイマス、即チ新式壓榨器ト、在來ノソレト、歩止リノ差ヲ約一步ト見マシマス、砂糖一億万斤ニ付テハ、百万斤ノ損失ニナルノデアリマス、故ニ政府ハ又黑糖工業ニ付テ必要ヲ認メラレテ、大正二年三年ニ於キマシテ、栽培者五十人以上、ソレカラ産業組合二十人以上ヲ有スル者ニ對シテ、一晝夜五千斤ノ製造能力アル蒸氣器械ヤ、石油發動機ニ依ル壓榨器ニ補助獎勵ヲ與ヘタノデアリマス、是ハ黑糖改良上最モ適切ナル方法デアリマスガ、マダ一般ニ行渡ラテ居ナイノハ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、而シテ此壓榨改良器ニ依ル榨汁ヲ焚イテ黑糖ニ仕上ゲル竈ノ鈞合ガ良クナイ爲メニ、品質ノ惡イ砂糖ヲ製造スルト云フコトガ、今日最モ缺點トシテ居ル所デアリマス、此改良壓榨器ト竈ノ關係ハ、共ニ黑糖品質ノ改良上輕々ニ看過スベカラザラザラ問題デアリマス、故ニ政府ハ之ニ對シテ技術者ヲシテ研究セシメラレテ、十分ナル黑糖改良ノ功績ヲ舉ゲシメラレル御意思ハ無イノデアリマセウカ之ニ就キ御所見ヲ承リタイノデアリマス、此ノ黑糖ノ品位ハ、今ノ所三步、二歩半、二歩、一步半、一步、半分許リノ七等級ニ分ラレテ居リマシテ、隨テ其價格ニ於テモ大差ガアリマス、而シテ今二歩ト一步半ノ差ガ、黑糖一

樽ニ付キ金三十六錢ノ差、一步半ト一步ノ差、同ジク金七十二錢デアリマス、而シテ大正六、七年ノ沖繩縣黑糖検査所ノ調査ニ依レバ、全産額ノ中二歩以上ガ五〇%位デアル故ニ、黑糖百万樽ノ中、五十万樽ハ一步半以下デアル、然ルニ竈ノ改良及製造技術ノ進歩ニヨリ、其中一步半ヨリ二歩ニ上ルモノ十萬樽トシ、一步ヨリ一步半ニ上ルモノ十萬樽トスレバ、前者ハ三萬六千圓、後者又七萬二千圓、計金十萬八千圓ノ利益トナルノデアリマス、ソレカラ分蜜糖業ニ於テ、政府ハ既ニ獎勵方法ヲ示サレテ居リマシタ下モ、マダ其分蜜糖業ガ十分ニ進歩シナイノデアリマス、其原因ハ色々アリマセウケレドモ、甘蔗栽培人ト製糖會社トノ間ニ於ケル、賣買上ノ經濟的調和ノ方法ガ宜シキヲ得ナイコトガ、主ナル原因デアラウト思フノデアリマス、而シテ沖繩縣ニ於キマシテハ、既ニ申シマシタ通りニ、黑糖工業ト分蜜糖工業トニツノ政策ヲ執テ居リマスル故ニ、甘蔗栽培家ハ自由ニ甘蔗ヲ分蜜糖會社ニ販賣シ、或ハ又黑糖ノ相場ノ景氣ガ好ケレバ、自分デ又黑糖ヲ製造スルト云フヤウナ自由制度ニナリテ居リマス、是ハ内地ニ於ケル黑糖ノ需要ノ關係上、已ムヲ得ナイ事デアラウト思ヒマス、想フニ砂糖ノ相場ト云フモノハ、何レノ國、何レノ地方ヲ問ハズ、總テ世界的ノ影響ヲ受ケルノデアリマスカラシテ、歐洲戰亂以來獨逸ヤ、埃地利、佛蘭西等ニ於キマシテハ、甜菜糖ノ産額ガ半額ニ減少シテ居ル今日デアリマス、ソレカラ戰時中ハ歐羅巴ニ於キマシテハ、既ニ食糧制限法ノ爲メニ砂糖ノ消費量ガ矢張減シテ居ル、デアリマスルガ、休戰ノ事ガ起リマシテ以來、砂糖ノ需要ガ段々多クナリテ亞細亞洲殊ニ瓜哇島ニ於ケル砂糖ヲ買込ムト云フヤウナ傾向ニナリテ居リマシテ、段々其影響ガ我が日本ニ及ビマシテ、自然高イ砂糖ヲ食ハナケレバ、イケンナイヤウニナリテ居ルノデアリマス、言ヒ換ヘレバ歐羅巴ニ於テ甜菜糖ノ減ル時ハ、亞細亞洲ニ於テ甘蔗ノ景氣ガ好イ、好イケレドモ、若シヤ亞細亞洲ニ於ケル甘蔗並ニ歐羅巴ニ於ケル甜菜糖ガ豐作デアリマシタ場合ニ於テハ總テ其價值段ガ非常ニ暴落スルノデアリマス、今日ハ先ヅ甘蔗糖國ニ於キマシテハ、歐洲戰亂ノ結果景氣ハ宜シウゴザイマスケレドモ、若シヤ同地方ニ於テ砂糖ガ豐作デアリマシタナラバ、相場ガ非常ニ下落シテ、糖業者ガ非常ニ苦シムノデアリマス、故ニ我ガ國內ニ於テ甘蔗作ヲ増加セシメ、其ノ生産費ヲシテ少ナカラシメテ、世界ノ競争場裡ニ順應シテ行キマスニ於テハ、結局砂糖ノ生産費ヲ減少セシメルコトガ、糖業政策ノ根本デアラウト思フノデアリマス、斯ル方策ヲ我ガ國內ニ漸次執リテ行クニ於キマシテハ、黑糖ハ將來其需要ノ減リテ行ク一方デアリマスカラシテ、此文明ノ分蜜糖業ニ自然進んで行クト云フコトハ、萬已ムヲ

得ナイ事ト思ヒマス、此意味ニ於キマシテ甘蔗ヲ作シテ居ル所ノ適當ナル地方、例ヘバ小笠原島トカ、鹿兒島縣下ニ於ケル大島、沖繩全縣ト云フ甘蔗作ノ適當ナル地方ニ於テ、今日ヨリ分蜜糖工業ヲ漸次進メテナラヌ機運ガ到來シテ居ルトハ信ズルノデアリマス、故ニ斯ル地方ニ於キマシテ、生産組合又ハ産業組合ガ適當ナ分蜜糖ヲ拵ヘヤウトスル場合ニ於テ、政府ハ之ニ補助獎勵ヲ與ヘラレテ、産額ヲ増進セシメラレルト云フヤウナ御方針ガアルヤ否ヤ、尙ホ進ンデ此甘蔗ヲ作ル地方ニ於キマシテハ、産業上重大ナル關係ヲ持ッテ居ルノデゴザイヌカラ、或ハ縣ト其縣民トノ合同、即チ半官半民ノ事業ニシテ、此砂糖工業及甘蔗糖工業、分蜜糖工業ヲ十分ニ發展セシムルト云フヤウナ事モ出來ルカ否ヤ、或ハ私立砂糖工業會社ト縣民生産家トノ間ニ、最も適當ノ方法アリヤ免ニ角沖繩縣ニ於ケル此分蜜糖工業ニ付テ、的確ナル政府ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス、質問ノ要點ハ是ダケデアリマス(拍手起ル)

○副議長濱田國松君 質問第三、鹽ノ專賣生産及配給ニ關スル質問——小西和君

鹽ノ專賣生産及配給ニ關スル質問(小西和君提出)

右成規ニ據リ提出候也

大正八年二月二十二日

提出者小西 和 賛成者鶴澤 宇八 外二十九人

一 鹽ノ專賣生産及配給ニ關スル質問主意書

政府ハ鹽ノ專賣ハ廢止スルカ若ハ鹽ノ專賣ニ對スル收益主義ヲ捨テ鹽ノ検査ヲ行ヒ以テ其ノ品質ヲ保證シ且之カ向上ニ努ムル外主トシテ社會政策ノ見地ヨリ其ノ需給ノ圓滑ト價格ノ調節ヲ爲スニ止ムルノ意思ナキカ

二 政府ハ内地鹽賣渡ノ價格ヲ引上ケサル範圍ニ於テ先ツ之カ賠償價格ヲ引上ケ且漸次其ノ賣渡價格ヲ引下クルノ方法ヲ執ラサルカ

政府ハ瀬戸内海沿岸方面ノ如キ製鹽ニ好適セル箇處ニ於テ新ニ鹽田ノ開拓ヲ認許シ以テ内地鹽産額ノ増加ヲ計ルノ意思ナキカ

三 政府ハ支那政府ニ向ヒテ交渉ヲ遂ケ奉天山東ノ兩省ニ於ケル鹽ノ輸出稅ヲ撤廢セシムルト共ニ該兩省ニ於ケル鹽田ノ擴張ニ努ムルノ策ニ出テサルカ

鐵道及汽船ニ對シテ鹽ノ運賃ヲ低減セシムルト共ニ其ノ輸送ヲ迅速ナラシメ特ニ工業用及漁業用ト

シテ奉天山東兩省ノ鹽ヲ低廉且迅速ニ内地ニ送致スルノ策ヲ執ラサルカ

右及質問候也

〔小西和君登壇〕

〔拍手起ル〕

○小西和君 唯今ノ我如古君ノ甘イ砂糖ノ御質問ニ續イテ、私ハ鹽ノ質問ヲ致シタイノデアリマス、先日此議場ニ於キマシテ豫算案ヲ議決致シマス際、本院ハ鹽ノ事ニ付テ希望條件ヲ附帶致シテ決議ヲ致シタコトデアリマス、申スマデモナク、鹽ハ米ニモ増シテ人生ノ必要品デアリマス、米ト違フテ代用品ガ無イノデアリマス、而モ我國ハ元來鹽ノ潤澤デナイ所ノ國柄デゴザイマス、殊ニ昨年來鹽ノ生産ノ大不足、之ガ爲メ國民ハ生活ノ安固ヲ失ヒ又一方ニ於テハ産業上多大ノ障害ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、斯ク鹽ノ不足ノ生ジマスル原因ハ、人口ガ近來著シク増加致シマスル事、又産業ガ大ニ發達致シマスル事、就中工業用ノ原料トシテ鹽ガ消費スル額ガ、非常ニ急激ニ増加致シマスルコトガ、是ガ鹽ノ不足ヲ招致スル所ノ最大原因デアリマス、即チ大正ノ初年頃ニ、我國ノ鹽ノ消費額ハ約十二三億斤デアリマシタ、所ガ昨年ハ十四億斤ノ上ニ上リタ模様デアリマスガ、本年ハ更ニ二十五億斤ヲ超過致シマスル趨勢デゴザイマス、然ルニ我ガ内地ノ鹽ノ生産高ハ、大正三年マデハ年額約十億斤ヲ超過スル状態デアリマシタ、所ガ其後ハ却テ減少ヲ告ゲテ、動モスルト十億斤ノ以下ニ陥ラウトスル状態デアアルノデアリマス、斯ノ如クデゴザイマシテ、鹽ノ需要ハ年々著シク増加致シマスニ拘ラズ、其生産ハ却テ減少スル状態デゴザイマス、斯ウ云フ状態デゴザイマシテハ、國民生活ノ安固ヲ保ツコトガ出來マセズ、特ニ社會政策上、又産業ノ發達上、寔ニ寒心ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、是ハ爲政者ト致シマシテハ、是非トモ此缺陷ヲ補ヒ、且ツ適當ノ方法ヲ確立スル必要ガアルノデアリマス、而モ政府ノ遣方ヲ見マス、鹽ニ對スル政策ハ甚ダ緩慢デアリ、又不徹底デアアル、レガ爲メニ國民ヲ苦シメ、事業ノ發達ヲ阻礙シ、且ツ一方ニ於テハ製鹽業者ヲ泣カシテ居ルノデゴザイマス、斯ル次第デゴザイマスルカラ、私ハ此鹽ノ問題ニ付テ質問スルノ餘儀ナキニ致ッタノデアリマス、先ツ第一番ニ伺ヒタイ事ハ、政府ハ鹽ノ專賣ヲ廢止スルノ御意思ガアルヤ否ヤト云フコトデアリマス、御承知ノ如ク鹽ノ專賣ハ明治二十七八年戰役ノ際ニ、非常ナ場合合財政策ノ一トシテ、特別稅トシテ賦課ラサレタコトニナリタノデアリマス、其後四十一年ニ戰役ノ稅制整理ノ場合ニ當然整理セラレテ、即チ撤廢サルベキ筈デアタモノガ、當時歳入ノ缺陷ヲ生ズルト云フコトニ精口シテ、是ガ其儘存置セラレテ今日ニ至リテ居ルモノデアリ

マス、元來鹽ヲ生産致シマス場合ニ、其生産費ハ如何ナル状態デアルト申シマスルト、大體ニ於テ之ヲ三ツニ分ケルコトガ出來マス、第一ハ鹽田費、第二ハ勞力費、第三ハ燃料費デアアル、所ガ此勞銀並ニ燃料費ト云フモノハ、是非非常ニ變動ノ多イモノデアリマス、然ルニ鹽專賣ニ依ル所ノ此賠償價格ハ、之ヲ引上ゲルコトモ、亦之ヲ引下ゲルコトモ非ニ緩慢デゴザイマスルガ故ニ、自ら經濟ノ原則ニ反スルコトニナリマス、即チ今カラ十年程前ノ如ク勞働賃銀ノ非常ニ安イ場合、石炭モ亦非常ニ安イ場合デゴザイマシテモ、鹽ノ賠償價格ハ其割合ニ引下ゲラレナイノデアリマス、ソレ故ニ自ら生産ガ過剩ニナリマスノミナラズ、製鹽業者ハ勞力及燃料ヲ濫費致シテ、益、其生産ニ努メテ、ソレ生産能率ガ高マリマスルカラ、鹽ノ生産ハ過剩ノ状態ニ陥ル、而シテ鹽田業者ハ、之ガ爲メニ適當ノ收利ヲ擧ゲルノデアリマス、其結果ト致シマシテ、政府ハ鹽ノ收納ヲ致シマスルニ、其倉庫ニ充滿シテ、如何トモスルコトガ出來ナイ状態ニ立至ルノデアリマス、又其反對ニ昨年來ノ如ク鹽ガ不足ヲ致ス場合合アル、政府ハ此議會ニ於キマシテ昨年來ノ鹽ノ不足ヲ致シマシタノハ、天候不良ノ爲メデアアル、斯様ニ申シ、又暴風雨ガアツタ爲デアル、

〔副議長濱田國松君議長席ヲ退キ議長大岡育造君著席〕

○小西和君 斯様ニ申シマスケレドモ、其真ノ大ナル原因ハ、此法規ニ拘束セラレテ、且ツ商賣ノ思想ニ乏シイ所ノ當局者ガ、鹽ノ生産ニ付テ勞銀ガ非常ニ騰リ、石炭ノ價格高クナリテ居テ、ソレガ爲メニ鹽ノ生産ヲ致シマシテモ、賠償價格ガ低イ爲メニ、算盤上引合ハナイニモ拘ラズ、鹽ノ賠償價格ヲ引上ゲルコトヲ致サス、ソレガ爲メニ非常ニ天氣ノ好イ場合ニハ、漸ク生産費ヲ償フコトガ出來ルケレドモ、少シ天氣ノ惡イ時ハ、多大ノ手數ヲ掛ケ、燃料ヲ澤山使ッテ鹽ヲ製造致シマスルヨリモ、寧ロ休業致シタ方ガ利益デアアル、斯ウ云フ勘定ニナリマスルカラ、自ら鹽ノ生産ガ十分デナカッタノデアリマス、即チ鹽ノ賠償價格ガ安イ爲メニ、自ら勞力ヲ節約ヲ致シ、又燃料ヲ節約ヲ致シマシテ、其結果ト致シテ、鹽ノ生産率ガ著シク減テ參クノデアリマス、斯ノ如クニ致シマシテ、昨年ノ秋以來我國民ヲ擧ゲテ鹽ノ不足ニ苦シミマシタ事ハ、喋々スルマデモナイ事デアリマシテ、諸君ニ於カレテモ、深ク御承知ノ事デアラウト思ヒマス、昨年來ノ状態ハ恰モ謙信時代ノ甲州ノ人民ノ如キ状態ニ、日本六千万ノ國民ガ陥リテ居タノデゴザイマス、而シテ之ニ對スル政府ノ遣方ハ、假令今川義元ノ如クテナイト致シマシテモ、少クトモ上杉謙信ノ如キ態度ニ出ルコトガ出來ナイデ居リマスノヲ、深ク遺憾トスルノデアリマス、ソレ故ニ此際ニ鹽ノ專賣ノ遣方ヲ改メテ、迅速ニ機敏ニ鹽ノ賠償價格ヲ

引上げ引下がスルコトニ致セバ宜イノデアリマスガ、果シテ弊害ヲ醸成スルコト無クシテ、經濟界ノ變化ニ順應致シテヤルト云フ事ハ、之ヲ政府ニ望ミ、マスコトハ、困難デアラウト思ヒマス、故ニ鹽ノ專賣ハ寧ろ廢止ヲシテ、宜クハナイカト思フノデアリマスルガ、此鹽ノ專賣ノ廢止ノ善惡ト云フ事ハ、是ハ大ニ議論ノアル問題デアリマスガ、政府ハ鹽ノ專賣ノ廢止ニ付テハ、果シテ如何ナル御方針アルカ、是ガ伺ヒタイノデアリマス、又此專賣ニ付キマシテハ、現行ノ制度ハ元來收益主義ニ出來テ居ル、即チ利益ヲ目的トシテ鹽ノ專賣デアリマス、所ガ收益主義ノ專賣ハ、租稅思想ノ極メテ幼稚ナ未開ナ國ニ於キマシテ行ハレル制度デアリマシテ、殆下是ハ人頭稅ト變ラヌノデアリマス、而巳ナラズ鹽ノ消費ハ下級ノ社會ニ於テ、特ニ其量ガ多イノデアリマスガ故ニ即チ下級社會ノ者ニ酷ニシテ、比較的上級ノ者ニ薄イト云フ、此點ニ於テ鹽ノ收益主義ノ專賣ハ、甚シキ惡稅ト見ナケレバナラヌノデアリマス、其故ニ若シモ政府ニシテ、鹽ノ專賣制度ヲ廢止スルコトヲ致サナイト云フコトデアラナラバ、收益主義ノ專賣ヲ止メテシマシテ、專賣ハ單ニ鹽ノ検査ヲ致シテ其品質ヲ保證スルコト云フコト、並ニ鹽ノ品質ノ保證ヲ圖ルト云フ事ニ止ムルコトガ、恰モ政府ヲ行ハレテ居リマス所カ、米ノ検査ト大體同ジ精神ニ致スト云フコトニ致シ、ソレカラ兼テ一方針ニ於テ社會政策的ノ立場カラ致シテ、鹽ノ需要供給ノ圓滑ニスルコト云フコト、又鹽ノ價格ヲ調節スルト云フ事ノ爲メニ、鹽ノ專賣スルコト云フコトニ止メタナラバ宜イカト思フノデアリマス、現ニ鹽ノ專賣ノ收益ハ最初一千万内外ゴザイマシタガ、追々ニ減少シテ、特ニ大正七年度ニ於ケル鹽專賣ノ利益ト云フモノハ、殆下絶無デアリマス、ナラズ、或ハ政府ノ缺損ニ歸シテ居リハシナイカト思ハレルノデアリマス、果シテサウデアリマスレバ、鹽專賣ノ收益主義ハ、政府ニ取テ諺ニ骨折損ノ何トカ儲ケト云フ結果ニ陥テ居ルノデアリマス、ソレ故政府ハ專賣ノ御方針ヲ改メマシテ、唯今申シマシタ如ク、品質ヲ確保スルコト、品質ノ向上ヲ圖ルコト、社會政策的の見地ヨリ致シテ、鹽ノ需給ノ圓滑ナラシムルコト、並ニ價格ヲ引下グルコトニ努ムルト云フコトニ致シタナラバ、是ガ最モ良イ策ト思ヒマスガ、政府ハ此策ヲ採ルノ御考ガアルヤ否ヤ、是ガ第一ノ質問デアリマス、第二ニ伺ヒタイ事ハ、内地ノ鹽ノ價格ヲ引上ゲナイ範圍ニ於キマシテ、先ヅ其賠償價格ヲ引上ゲテ、ソレカラ追々ニ鹽ノ賣出價格ヲ引下グルコト云フコトニスル方法ヲ執リマスコトガ必要ト思ヒマスル、政府ハ果シテ此方法ヲ執ルヤ否ヤ、ソレヲ承リタイノデアリマス、御承知ノ如ク我日本ノ鹽ノ價格ノ高イコトハ、殆下世界ニ類ナイト申シテ宜イノデアリマ

ス、ソレガ爲メ國民、就中下級ノ社會ノ多數ノ國民ニ於キマシテハ、非常ナル苦痛ヲ受テ居ルノデアリマス、斯ノ如キハ鹽ノ價格ヲ高クシテ置キマスコトハ、多數ノ下級民ニ對シテ、非常ナル殘酷ナル遣方デアリマス、又一方製鹽業ノ状態ヲ見マスト、昨年ノ夏ノ盛ニ鹽ヲ取レマス時カラ、エライ天候ノ不良モアリマシテ、ソレガ爲メニ鹽ハ減少ヲ致ス趨勢デアッテ、加フルニ勞銀ガ騰リ石炭ノ價格ガ騰貴致シマシタ爲メニ、製鹽業者ノ困難ハ一通リデナイノデアリマス、ソノ製鹽業者ハ此苦痛ヲ切抜ケル策ト致シマシテ、或ハ低利資金ヲ借入レルトカ、或ハ外ニ融通ヲ求メルトカ致シマシテ、漸ク其日ヲ凌イデ居リマスガ、私ノ郷里香川縣ノ製鹽業ハ、御承知ノ如ク我國ノ最モ大ナル製鹽地デアリマスガ、私ハ鹽田業者ノ内情ニ相當ニ通ジ、又之ヲ目撃致スノデアリマスガ、昨年ノ冬カラ本年ニ越シマスル場合、例年デアリマスレバ、製鹽業者ハ相當ニ金ヲ殘ス、又燃料モ殘シ、鹽モ貯ヘテ置ク、又濃厚ニタタ所ノ鹽水モ貯藏致シテ居ルト云フ状態デアリニ拘ラズ、昨年カラ本年ニ越エマスル場合ニ於テハ、是等ノ貯ガ絶無デアリマス、ナラズ、多額ノ前借ヲ致シ、若クハ他カラ負債ヲシテ居ルト云フ状態デアリマス、ソレ故ニ今後本年ノ如キ物價ガ下落致シ、又勞働資金ガ下リマシレバ、兎ニ角、又ハ勞銀及物價ガ現状ノ儘デアリマシテ、鹽ノ賠償價格ヲ大ニ引上ゲルコト云フコトヲ致シマセシケレバ、本年ノ製鹽事業者ノ經營ハ一層困難ニ陥ルノデアリマス、ソレガ爲メ此儘ア打過ギマシタナラバ、本年モ亦鹽生産ノ上ニ大ナル影響ヲ招キマシテ、ソレガ爲メ需要者タル一般ノ國民ヲ苦シメルト云フヤウナコトニ立至ルト云フコトヲ虞レテ居リマス、斯ル状態デアリマスガ、政府ト致シマシテハ、先ヅ鹽ノ賠償價格ヲ引上ゲル、サウシテ製鹽業者ノ苦痛ヲ輕減スルコトニ致サナケレバナラマセヌ、其次ニハ追々ニ鹽ノ賣出價格ヲ引上ゲテ、一般國民、就中下級ノ多數ノ國民ニ對シマシテ、低廉ナル鹽ヲ供給スルコトニ致シマシテ、サウシテ鹽ヲ社會政策ノ一助トスルコトガ極メテ必要ト考ヘマス、之ニ對スル政府ノ御考ヲ承リタイノデス、尙ホ此場合ニ於テ政府ニ承リタイ事ハ、鹽ノ賠償價格ヲ査定致シマス場合、製鹽業者及鹽田ノ持主ニ價格ヲ決定ニ付テ、諮問ヲスルノガ宜カラウト思フノデアリマスケレドモ、更ニ進シテ鹽ノ賠償價格ヲ定メマスル場合ニ、鹽田持主及製鹽業者ヲ委員ト致シマシテ、ソレヲ其相談ニ參加セシムルコトニ致シマスノハ、意思ノ疏通ヲ圖リマス上ニ於テ、價格ノ衡平ヲ期シマスル上ニ於テ、其他ノ様々ノ關係ニ於キマシテ、頗ル美イ事ト思ヒマスガ、政府ハ斯ル方法ヲ執ル御考ガアルヤ否ヤト云フコトヲ承リタイノデアリマス、第三ニ承リタイ事柄ハ、瀬戸内

海ノ沿岸方面ノ如キ製鹽ニ好適セル場所ニ於キマシテ、新鹽田ノ開拓ヲ許シ、ソレデ以テ内地鹽ノ産額ノ増加ヲ圖ルノ御考アリヤ否ヤト云フコトデアリマス、政府ノ當局ハ、内地鹽ノ不足ノ場合ニハ外國カラ鹽ヲ入レル、之ヲ補給スルカラシテ、何モ差支ナイデアハナイカ、是ハ當然ノ遣方デアルト申スノナラズ、場合ニ依リマスルコト云フコト、内地鹽不足ノ場合、外國鹽ヲ輸入致シマスルノヲ以テ、政府當局ノ手柄ノヤウニ心得テ居ルヤウナ感ガアルノデアリマス、併ナガラ外國鹽ヲ輸入致スト云フコトハ、内地ノ鹽ノ生産ニ付テ有ユル手段方法ヲ講ジテ尙且ツ不足ヲ致シテ、已ムヲ得ザル場合ニ始メテ執ルベキ手段デアリマシテ、外國鹽ノ輸入ハ、根本ニ於テ餘リ歎クベキ事デアリマセヌ、若シモ内地鹽ノ不足ノ場合ニハ、外國鹽ヲ輸入スルカラ少シモ差支ガナイト云フヤウナ御考ヲ以テ、内地鹽ノ生産ノ發展向上ヲ圖ラナイト云フコトニナリマシタナラバ、ソレハ根本ニ於キマシテ、大ナル誤デアラウト思フノデアリマス、又當局者ハ屢々斯様ノ事ヲ申シマス、内地鹽ト外國鹽ヲ分析ヲ致スト、其化學的成分ノ差ト云フモノハ殆下言フニ足ラナイノデアアル、ソレ故ニ鹽ノ需要者ガ、舊來カラ因ハレタ所ノ習慣ト云フモノヲ破テシマウタナラバ、内地鹽ヲ使フモ外國鹽ヲ使フモ差支ナイ筈デアアル、斯様ニ申シマス、然ルニ實際ニ於テ内地鹽ヲ使フ場合ニハ外國鹽ヲ使ヒマシテ、其成績ノ非常ニ不良デアリ相違ノアルコトハ、是レ恰モ日本米ト外國米ノ相違ノ如クデアリマス、現ニ染色業者ハ外國鹽ヲ使テ、到底内地鹽ヲ使タ如キ、良イ色良イ光澤ヲ出スコトガ出來ナイト申シテ居ルノデアリマセヌカ、又漁業者、醬油ノ醸造家ハ、外國鹽ヲ使テハ、到底内地鹽ヲ使タト同一ノ味ヲ保ツコトガ出來ナイト申シテ居ルデアリマセヌカ、又製革業者即チ革ノ製造者ハ、外國鹽ヲ使フ場合ニハ斑點ヲ生ジ、且ソ革ノ收縮ガ甚シクテ困ルト申シテ居ルデアリマセヌカ、斯ノ如ク實際使用致シマスレバ、内地鹽ガ非常ニ宜シイト云フコトガ現レテ參タノデアリマス、是等ノ點カラ考ヘテ見マシテモ、政府ト致シマシテ大ニ内地鹽ノ生産ヲ計リ、之ニ依テ國民ノ嗜好ヲ満足セシメ、又其他ノ點ニ就テ遺憾ナキ方法ヲ執ラナケレバナラヌノデアリマス、幸ニシテ瀬戸内海ノ沿岸ニハ、到ル處鹽田トシテ開拓スベキ場所ガアルノデアリマス、而モ其鹽田ノ開拓ヲ希望致シマスル者ハ、決シテ砂カラ又デアリマス、間ク所ニ依リマスレバ、政府ニ於テハ瀬戸内海ノ沿岸ニ於テ、百二十町歩程ノ鹽田ヲ新シク擴張ヲ致ス豫定デアリマス、之ニ依テ年額三千万斤ノ鹽ヲ生産サセルト云フコトデアリマス、果シテサウデアリマスルナラバ、瀬戸内海ノ沿岸ニ於テ鹽田ノ擴張ヲ致シマスル事ハ結構デアアル、併ナガラ折角ノ擴張ガ僅々百二十町歩、其産額ノ

豫想が三千万斤ト云フコトデゴザイマシテハ、現在及將來ニ於ケル鹽ノ大不足ニ對シマシテハ、到底是デ以テ満足スルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレ故ニ政府ト致シマシテハ、此際瀬戸内海ノ沿岸ノ方面ニ於テ大ニ鹽田ノ開發ヲ寧ろ獎勵スル位ニ致シテ、之ヲ認許スルコト云フ事ガ、此場合極メテ必要ナ事ト思ヒマスルガ、政府ニ於テハ、此御考ガアリヤ否ヤ、是ガ御尋致シタイノデアリマス、ソレカラ瀬戸内海ノ鹽田ノ擴張ト關聯致シマシテ御尋致シタイ事ハ、昨年ノ夏秋來鹽ノ供給ガ不足ニ至テ、國民ガ苦シク參リマシタ場合ニ、政府ハ供給不能ト云フ事ノ此失態ヲ蔽ヘンガ爲メデゴザイマセウ、昨年ノ秋冬ノ頃ニ至テ、急ニ臺灣並ニ關東州ノ鹽ヲ取寄セテ、ソレヲ粉碎致シテ、即チ粉ニ致シマシテ供給ヲ圖リマシタ所ガ、美事失敗ヲ致シマシタノデアリマス、其次ニ更ニ山口縣ノ三田尻及下松ニ天日製鹽ノ再製工場ヲ急設中デゴザイマス、此工場カラハ最早追ヒニ此再製鹽ガ出テ參ルヤウナ状態ニナラウト思フノデアリマス、私ハ政府ガ此再製鹽ノ工場ヲ設ケタト云フコトハ、甚ダ晚イト云フ憾ヲ持ッテ居リマス、而已ナラズ寧ろ規模ノ狭小ナ小仕掛ノモノヲ以テ致シマシテ、果シテ是デ以テ満足ヲ致シテ居ラレ、ノデアルカ、日本ノ此鹽ノ大不足ニ對シテ、是デ以テ宜シイノデアルト政府ガ考ヘテ居ラレ、カヲ疑ハザルヲ得ヌノデアリマス、斯ノ如キ小規模ノ二箇所ノ再製鹽工場ヲ以テ致シマシテハ、到底此不足ヲ補フニ足ラナイコトハ分切テ話デアル、扱テ此再製鹽ノ工場ノ費用ハ、臨時事件費カラ支出ヲシタ筈デアリマス、初メノ設備費ハ姑ク措キマシテ、單ニ此再製鹽ヲヤリマスル加工費デス、加工費ダケノ事ニ付テ考ヘテ見マシテモ、其加工費ヲ瀬戸内海沿岸、即チ十州ノ鹽田方面ニ於ケル製鹽業者ニ其加工費ヲ補給致シテ、サウシテ原料鹽ヲ供給ヲ致スト云フコトニスルナラバ、鹽田業者ハ喜ンデ鹽ノ再製ヲ致スノデアリマス、サウナリマスレバ政府事業ト致シテ、山口縣邊リニ小規模ノ二箇所ノ再製工場ヲ設ケマスルヨリモ、一般的ニ、又自由ニ、容易ニ、輕便ニ、經濟的ニ、多額ノ再製鹽ガ出來ルト云フコトニナリマス、斯ク致シマシタナラバ、政府モ生産業者モ雙方ノ利益デアル、又之ニ依テ國民ヲシテ鹽ノ不足カラ免レシムルコトガ出來ルノデアリマス、然ルニ政府ガ貧弱ナル糊塗策ヲ執ッテ居ルト云フコトハ、是ハ政府萬能主義ノ結果カト思ヒマスルガ、斯ノ如キハ斷ジテ不可デアルト考ヘマスルガ、政府ハ果シテ此方法ニ依リマシテ、十州鹽田業者ニ對シテ鹽ノ再製ヲヤラセルト云フ御考アリヤ否ヤ、是モ承リタイノデアリマス、第四ニ承リタイ事ハ、支那政府ニ交渉致シテ、奉天省、山東省邊リノ鹽ノ輸出稅ヲ撤廢致シ、其上ニ此兩者ニ於テ、鹽田ノ擴張ヲスルト云フ事ニ努

メル御考アルヤ否ヤデアリマス、此支那ノ鹽ヲ日本ニ入レマスノニハ、主トシテ工業ノ原料トシテ用キル爲メデアッタノデアリマス、内地ニ於ケル工業ノ原料鹽トシテ支那ノ鹽ヲ取リマスコトハ、我が日本ノ爲メニ利益デアリマスコトハ、勿論、支那ニ取リマシテモ亦大ニ利益ナ事デアリマス、殊ニ關東州方面ノ如キハ、日本人經營ノ鹽田モ少カラヌノデアリマス、又今後日本人トシテ、彼ノ方面ニ鹽田ヲ開拓スベキ場所ハ澤山ニアルノデアリマス、又山東省ノ青島方面モ矢張同様ノ状態デゴザイマス、ソレデアリマスルガ、アチラガ鹽ヲ輸出致シマスル場合ニ、百斤ニ付テ十錢ノ輸出稅ガ掛リマスコトハ、彼ノ方面ニ於ケル鹽ノ價格ガ、百斤僅ニ二十錢内外デアルト云フ點カラ見マスルト云フト、是ハ甚シキ鹽ニ對スル價額ノ相違ヲ起サシムルノデアリマス、ソレデアリマスカラ此關稅ヲ廢シマスルト、自ラ工業用ノ鹽ガ低廉ニ輸入セラル、コトニナリマス、ソレガ爲メニ我國ノ工業發達ヲ助長シ、又支那ノ鹽ノ生産ノ發達ヲモ助長致シマシテ、日支兩國ノ爲メニ至大ノ好都合デアルノデアリマス、御承知ノ如ク鹽ハ主トシテ曹達灰ニ作リマスノデアリマス、ソコデ試ミニ外國カラ輸入致シマスル所ノ曹達灰ト、内地テ造リマスル所ノ曹達灰ノ價格ヲ比較致シ見マスルト、外國ノ輸入品ノ方ガ、現在ニ於テハ餘程低廉デアリマス、ソレデアリマスルカラ此状態ニ於キマシテハ、日本内地ノ鹽ノ原料トデアリマス、ソレデアリマスル所ノ曹達灰ト、内地製ノ曹達灰トガ互ニ對抗シテ參リマスルニハ、其原料タル鹽ニ對シテ、即チ外國カラ輸入スル所ノ曹達灰ニ對シテ關稅ノ引上ヲ致スルカ、若クハ内地製ノ曹達灰ノ原料タル鹽ノ價格ヲ安クスルカ、此二ツノ中ヲ採ラナレバナラヌノデアリマス、所ガ曹達灰ハ申スマデモナク一般化學工業ノ主要ナル原料デゴザイマシテ、此原料タル鹽ノ關稅ヲ引上ゲマスルコトハ、直チニ我國ノ化學工業ノ發達ヲ阻礙スルコトニナリマスカラ、採ルベキ策デハゴザイマセウ、ソレ故ニ我國ノ化學工業ノ發達ヲ助長スルガ爲メニハ、ドウ致シマシテモ、此鹽ヲ安クシナケレバナラヌノデアリマス、其鹽ヲ安クスル方法ト致シマシテハ、先ヅ第一ニ支那カラ取リマスル所ノ鹽ニ付テ、關稅ヲ撤廢サレルト云フコトガ必要デゴザイマス、又鹽田擴張ガ日支兩國ノ爲メニ利益デゴザイマス、是亦申スマデモナイ事デアリマス、ソレ故ニ政府ニ於テハ支那ノ政府ニ交渉致シマシテ、汽ノ輸出稅ヲ撤廢サセムルカ、又支那ノ山東省、奉天省ノ海岸方面ニ於テ、鹽田ヲ擴張サセムルコトニ政府ガ致シマスルコトハ、甚ダ必要ナ事ト思ヒマスルガ、政府ハ此事ヲ爲サル御考アルヤ否ヤ承リタイノデアリマス、終リニ承リタイ事ハ、鐵道並ニ汽船ニ對シテ鹽ノ運賃ヲ安クセシム

ルト共ニ、其運送ヲ迅速ナラシメ、工業用トシテ奉天山東兩省ノ鹽ヲ低廉且ツ迅速ニ、内地ニ取ルヤウニスル所ノ策ヲ採ラレバヤ否ヤト云フ事デアリマス、ソコデ先ヅ其中ノ前段ノ内地ノ鹽ノ運賃及輸送ノコトヲ承ルノデアリマスガ、從來鹽ノ運賃若クハ回漕ニ付キマシテハ、政府ハ其主要ナル生産地ノ商人ニ對シテ之ヲ勸誘致シ、場合ニ依テハ依賴スルヤウナル態度ヲ執リマシテ、回漕會社ヲ組織セシメマシテ、其回漕會社ニ鹽ヲ運ブ所ノ手數料、又取扱費ヲ交付シテ居ルノデアリマス、此方法デ鹽ヲ運送致シマスルカラ、ソレガ爲メニ運賃ガ自ラ高クナリ、且ツ鹽ノ配給ガ頗ル緩漫ニナルノデアリマス、之ヲ改メテ直チニ船會社、若クハ船主ニ鹽ノ運送ヲ競争入札ニサセルト云フコトニ致シマシタナラバ、第一ニ運賃ガ安ク參リマス、又船ガ今日ノ如ク澤山ニアリマスル場合ニ於キマシテハ、自ラ迅速ニ運搬サル、コトモ出來ルノデアリマス、其上ニ船舶側カラ見マスレバ、近來船舶業者ハ追ヒニ不景氣ヲ啣ツヤウニナリマシタ、中ニ船舶業者者ハ直接ニ競争入札デアラセムルコトニシタナラバ、船舶業者者此苦痛ヲ輕減スルコトニモ、多大ノ效果ガアラウト思ヒマス、又鐵道ノ側ハ同ジ政府部内ノ事デゴザイマスカラ、其間ノ交渉ハ容易ニ纏マル、隨テ鐵道ニ付テ鹽ノ運賃ヲ輕減シ又運送ヲ迅速ナラシムルコトハ、政府ニ於テハ容易ニ出來ル事ト思ヒマス、此策ヲ採ル此考アルヤ否ヤ承リタイノデアル、又第二段ノ支那ノ鹽ヲ低廉ニ且ツ迅速ニ日本内地ニ取ルコトニ付テ申上ゲマスガ、此支那ノ鹽ヲ安ク取リマスルコトニシナケレバナラヌ、所ガ現在支那ニ於テ日本ニ送ルベキ鹽ヲ船積致シマスル状態ヲ見マスルト、多クハ船ガ著キマシタ場合ニ、人足ガ鹽ヲ脊中ニ背負ッテ解ニ運ブ、其解カラ更ニ本船ニ移スト云フヤウナ緩漫ノ事ヲシテ居リマス、ソレガ爲メニ人夫賃解賃及船舶ガ長ク停マル、其船賃杯ガ要リマス爲メニ、自ラ運賃モ高クナルコトガ少カラヌノデアリマス、ソレ故ニ政府ニ於テ適當ノ方法ヲ執リ、彼地ニ於ケル鹽ノ積込ヲ便ニシ、セメテ棧橋カラ積ムコトガ出來ルコトニ致シマシテモ、運賃ヲ低廉ナラシメ、延テ鹽ノ價格ヲ低廉ナラシムルコトニ於テ、相當ノ利益ガアルト思フノデアリマス、兎ニ角關稅ノ撤廢ト運賃ノ引下ガ出來マシタナラバ、自ラ鹽ノ價格ガ下ルノデアリマス、サウ致シマスナラバ、鹽ノ原料トスル所ノ化學工業モ發達ヲ致シ、我國ノ工業界ノ發展ヲ助長スルコトハ、蓋シ少カラヌノデアリマス、鹽ノ價格ガ若干低廉ニナリマシタナラバ、而シテ曹達灰ノ生産費ガ外國カラ日本ニ入レテ集リマス所ノ價格ト、同ジ位デ引合フヤウニスルト云フコトハ、左マテ困難デハナイノデアリ

マス、此方法が出来マシタナラバ、我國ノ化學工業ノ發達ニ多大ノ效果ガアルモノト信ズルノデアリマス、ソレ故ニ政府ハ支那沿岸カラ工業用、漁業用又農薬用トシテ、鹽ヲ安ク且ツ迅速ニ内地ニ送ル所ノ御考ガアルヤ否ヤ此點ニ就テ承リタイノデアリマス、ドウカ親切ニシテ明確ナル御答辯ヲ希望スルノデアリマス

○岩崎勳君 緊急事件審議ノ都合上、自餘ノ質問全部ニ對シテ延會ノ動議ヲ提出致シマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ以下ノ質問ハ延會ニナリマシタ、日程第一、軌道條例中改正法律案日程第三、仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案此二案ヲ一括シテ議題ト致スニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ以下ノ質問ハ延會ニナリマシタ、日程第一、軌道條例中改正法律案日程第三、仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案此二案ヲ一括シテ議題ト致スニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ以下ノ質問ハ延會ニナリマシタ、日程第一、軌道條例中改正法律案日程第三、仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案此二案ヲ一括シテ議題ト致スニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ以下ノ質問ハ延會ニナリマシタ、日程第一、軌道條例中改正法律案日程第三、仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案此二案ヲ一括シテ議題ト致スニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ以下ノ質問ハ延會ニナリマシタ、日程第一、軌道條例中改正法律案日程第三、仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案此二案ヲ一括シテ議題ト致スニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ以下ノ質問ハ延會ニナリマシタ、日程第一、軌道條例中改正法律案日程第三、仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案此二案ヲ一括シテ議題ト致スニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ以下ノ質問ハ延會ニナリマシタ、日程第一、軌道條例中改正法律案日程第三、仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案此二案ヲ一括シテ議題ト致スニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ以下ノ質問ハ延會ニナリマシタ、日程第一、軌道條例中改正法律案日程第三、仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案此二案ヲ一括シテ議題ト致スニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ以下ノ質問ハ延會ニナリマシタ、日程第一、軌道條例中改正法律案日程第三、仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案此二案ヲ一括シテ議題ト致スニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ以下ノ質問ハ延會ニナリマシタ、日程第一、軌道條例中改正法律案日程第三、仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案此二案ヲ一括シテ議題ト致スニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

ジ規定ヲ軌道ニ接近シ又ハ併行シテ、政府ノ鐵道ヲ敷設スル場合ニ於テモ適用致シタイ考ヲ以テ、茲ニ軌道條例中ニ改正ヲ致スノデゴザリマス、尙又地方鐵道法改正ノ結果、軌道條例第四條ノ規定ヲ改正スル必要ガアリマシテ、茲ニ此案ヲ提出シタ次第デゴザリマス、宜シク御協賛ヲ願ヒマス

○荒川五郎君 議長

○議長(大岡育造君) マダモウ一ツ説明ガアリマス

○政府委員(床次竹二郎君) 仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案、是ハ宮城縣下小牛田ヨリ石巻ニ至ル仙北輕便鐵道、此鐵道ハ鐵道敷設法ノ豫定線ニ該當致シマシテ、陸羽ヲ横斷スル幹線ノ一部デゴザリマス、軌間ガ二呎六吋デアリマシテ、國有鐵道ト運輸連絡上支障少カラザル爲メ、此度之ヲ買收致シマシテ、隨テ軌間ヲ擴張シテ、交通上遺憾ナキヲ期シタイノデアリマス、此輕便鐵道ノ買收代價ハ、公債ヲ以テ交付致スノデアリマス、仍テ茲ニ公債發行ニ關スル本法案ヲ提出シタ次第デゴザリマス、宜シク御協賛ヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 荒川五郎君

○荒川五郎君 此軌道條例ニ依テ運轉シテ居リマス電氣鐵道ノ實際ノ取締デアリマス、軌道條例ニハ一時間ニ八哩以内ノ規定サレテ居リマス、然ルニ東京ノ市街鐵道ノ如キハ、一時間ニ八哩下コロデアリマセヌ、十二哩モ運轉致シテ居ル、是等ハ此交通ノ繁キ多忙ナル場合ニ已ムヲ得ヌ事ト思ヒマス、東京ノ如キ人馬集散輻輳スル市街地デスラ、八哩以上ノ速度ヲ出シテ居ルノニ、地方ノ交通ニ妨ゲノナイ所デ、此條例ノアルガ爲メニ、一時間八哩ト云フ制限ヲ課セラレテ居リマス、是ハ地方ノ交通上速度ヲ早メテモ、實際ノ交通ニ妨ゲナイノデアリマス、サウ云フ風ニナシテ居ル、要スルニ是ハ法律制定以後、何十年ト經テ居ルノデアリマス、隨テ今日ノ時勢ニ合ハヌノデアリマス、東京市ノ如キハ、其實際ニ合ハヌコトヲ、確ニ政府ハ日々默認セラレテ居ル、然ラバ此速度ノ如キハ、此條例ヲ改正セラル、場合ニハ、先ツ第一ニ改正セラルベキ箇條デアルト思ヒマス

○政府委員(床次竹二郎君) 如何デアリマスカ、ソレカラモウ一ツハ唯今床次内務大臣ノ説明セラレタル地方鐵道ノ事ニ關スルノハ、地方鐵道法ノ第三十五條デアリカト思フノデアリマス、此原案ニハ地方鐵道法第三十六條ノ規定ハ、軌道ニ之ヲ準用ストアリマス、是ハ地方鐵道法第三十五條デ、政府ニ於テ地方鐵道ニ接近シ、又ハ並行シテ鐵道ヲ敷設シマシトキニ、地方鐵道業者ガ其接近シタリ、又ハ並行スル區間ノ營業ヲ繼續スルコト能ハザルニ至リタルトキハ、政府ハ其ノ營業ノ廢止ニ因テ生ズル損失ヲ補償スルコト

ガ出来ル、殘存線路ノニ付テ營業ヲ繼續スルコト能ハザルニ至ラタ時分モ、亦同様デアルト云フコトハ地方鐵道法ノ第三十五條ノ規定デアリカト思ヒマス、此二點ヲ御尋致シマス

○議長(大岡育造君) 鐵道院總裁

〔政府委員床次竹二郎君登壇〕

○政府委員(床次竹二郎君) 荒川君ニ御答致シマス、第一問ハ、是ハ軌道條例取扱方心得ト云フモノガアッテ、ソレデメラレテ居ルノデアリマス、平均ノ速度ヲ定メラレテ居ルノデアリマシテ、地方々々ニ依ッテ多少斟酌ヲ加ヘテ行ク、第二問ハ政府提出ノ案ハ、三十五條デアリマシタガ、本院ニ於テ修正セラレマシテ、唯今私が申シタ通り三十六條ニナッテ居リマス

○正木照藏君 一寸御尋致シタウゴザリマス、政府ハ明年ハ此軌道條例總體ノ改正案ヲ御出シニナル御考デアリマス、如何デアリマスカ

○議長(大岡育造君) 鐵道院總裁

〔政府委員床次竹二郎君登壇〕

○政府委員(床次竹二郎君) 御答シマス、左様デゴザリマス

○議長(大岡育造君) 右二案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 日程第一及第三ヲ一括シテ、委員ノ數ハ特ニ二十八名トシ、議長ニ於テ指名セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ、動議ノ如ク決シマシタ、日程第五、農工銀行補助法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス—神野政府委員

第五 農工銀行補助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

農工銀行補助法中左ノ通改正ス

第五條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ配當金ハ之ヲ府縣ノ收入ニ繰入レ大藏省預金部ニ預入レ地方低利資金トシテ融通スルモノトス

第六條但書及第七條ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員神野勝之助君登壇〕

第一讀會

○政府委員(神野勝之助君) 農工銀行ノ府縣ノ持株ニ對シマスル配當金ハ、各府縣毎ニ見マスルト至テ少額デアリマシテ、之ヲ府縣ノ自由ノ處分ニ委シテ置キマスル場合ニハ、其力ガ小サクシテ效果ガ至テ薄イト思ヒマス、ソレ故ニ之ヲ大藏省預金部ニ預入レルコトニ致シマシテ、集メテ一團ト致シマシテ、以テ公共團體其他各種ノ産業上ノ組合ニ、低利資金トシテ之ヲ融通致シマスレバ、適當ナル資金ヲ適當ナル場所ヘ向カシメテ、其效果ハ至テ大キクナルダラウト考ヘマス、サウシテ第七條ノ各府縣ノ持株ヲ市町村ニ交付スルコトヲ得ルト云フコトハ、此改正ヲ致サウト云フ趣旨ト相容レザルコトニナリマスカラ、第六條ノ第二項、並ニ第七條ヲ削除致シタイト云フ改正案デアリマス、何卒御協賛ヲ願ヒマス

○内藤傳祿君 一寸御尋致シマスガ、此各府縣農工銀行ノ配當額ヲ集メテ總額ハ、ドレダケニナリマスガ、尙又其農工銀行ノ配當ヲ集メテモノヲ以テ、産業組合ノ中央銀行ト云フヤウナモノヲ設立スル政府ニ考案ハアリマセヌカ、右二點ヲ御尋致シマス

○議長(大岡育造君) 神野政府委員

○政府委員(神野勝之助君) 御答致シマス、農工銀行ノ府縣ニ對スル配當ハ、約七十二萬圓位ノ見込デアリマス、之ヲ一府縣ニ平均致シマスレバ約一萬五千圓位、全國ノ市町村ニ平均致シマスレバ、一年ニ六十圓位ノモノニナリマス、ソレカラ第二ノ御尋ノ、産業組合中央銀行ヲ設ケルト云フ案ハ無イカト云フ御尋デアリマスガ、是等ハ色々講究ハ致シタコトハゴザイマスガ、唯今ノ所デハ、之ヲ直チニ設ケヤウト云フマデニハ考ヘ持テ居リマセヌ

○議長(大岡育造君) 委員選舉ヲ議題ト致シマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○岩崎勳君 本案ハ天春文衛君外十七名提出、農工銀行法中改正法律案外一件ノ委員ニ、併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ動議ノ如ク決シマシタ

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ執達吏規則中改正法律案、及執達吏ノ手數料及立替金増額ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、一括シテ委員長ノ報告ヲ求メ且ツ其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 日程變更ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、右ノ二案ヲ議題ニ付シマス——委員長則元由庸君

執達吏規則中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)(確定議)
執達吏ノ手數料及立替金増額ニ關スル法律案

(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)(確定議)

(則元由庸君登壇)

(拍手起ル)

○則元由庸君 執達吏規則中改正法律案、並ニ執達吏ノ手數料及立替金増額ニ關スル法律案ノ委員會ニ於ケル經過並ニ結果ヲ、極メテ簡單ニ御報告致シタウ存ジマス、第一ノ執達吏規則中改正法律案ハ、此規則中ノ第十九條ニ、執達吏ノ收入金額一箇年百八十圓ニ滿テザルトキニハ百八十圓マデ政府ニ於テ補給スルト云フ規則デアリマスガ、其改正ノ理由トシテ政府ノ説明スル所ニ依リマスレバ、此執達吏規則ノ出來マシタノガ明治二十三年デゴザイマシテ、今日ノ經濟上ヨリ鑑ミテ見マスレバ百八十圓マデノ補給デハ、執達吏ノ事務ヲ執ルノニ甚ダ困難デアルカラ、此増給額ノ程度ヲ四百五十圓マデニ増額スルト云フ改正ノ理由ニナッテ居リマス、第二ノ執達吏ノ手數料及立替金増額ニ關スル法律案ノ改正ノ趣意トスル所ハ、是モ現時ノ經濟上ノ現狀ニ鑑ミテ、當分ノ間勅令ノ定ムル所ニ依テ、百分ノ五十ダケノ増額ヲスルト云フノガ、此改正案ノ趣意ニナッテ居リマス、第一ノ規則ノ改正ニ就テハ、委員會ニ於テ何等異議ヲ唱ヘル人ハアリマセヌデアリマシタガ、此第二ノ方ニナリマス、段々委員會中ニ意見ヲ提出サレマシテ、或ハ此執達吏ノ中デ東京ノ執達吏ノ如キモノハ、一タビ此職ニ就キ、兩三年ニシテ多額ノ財産ヲ有スルニ至ルヤウナ人がア

ル、ソコデハ東京其他特殊ノ都會ニ於テハ、此増額ヲ爲ス必要ハナイデハナカラウカト云フヤウナ意見ヲ提出サレタ方モアリマス、其他幾多ノ意見モ出マシタガ、要スルニ此委員ノ意見トシテ提出サレマシタノハ、三箇ニナリマシテゴザイマス、而シテ此三候ノ意見ハ、委員殆ド全部ノ意嚮ト致シマシテ、一ノ希望トシテ此意見ヲ述ベラレタノデアリマス、其第一ハ東京及其他ノ裁判所ノ中デ、執達吏ノ職務ヲ執ルニ當リマシテ、合同役場ト云フモノヲ拵ヘテアル、其所デ此執達吏ノ數名及數十名ガ職務ヲ執ルニ當ッテ、一ツ若ハ數箇ノ役場ニ之ヲ併合スルコトニナリマスルト、幾多ノ弊害ガ簇出致シマシテ、訴訟人及此訴訟ニ關係ヲ有シテ居リマスル國民ガ、非常ニ迷惑ヲ受クルコトモアルカラシテ、何トクモ是ハ改善ノ途ハナカラウカト云フノガ、即チ其第一ノ希望デアリマス、ソレカラ第二ノ希望ト致シマシテハ、東京ノ執達吏ノ收入八圓ニ申上ゲマシタヤウニ、間ク所ニ依レバ甚ダ多額ノ金額ニ上ルヤウニモナッテ居ルカラシテ、他ノ裁判所ノ執達吏ト同一ニ之ヲ取扱フト云フノハ、其當ヲ得ヌモノデアラウ、ソコデ政府ハ此本案ヲ執行サル、ニ當リマシテハ、宜シク各地ノ事情ヲ深ク精査致シマシテ、サウシテ百分ノ五十以內デ、十分ニ考慮ヲ費シ、慎重ニ取捨按排セラレンコトヲ希望スルト云フノデアリマス、ソレカラ第三ハ、此執達吏ノ職務ヲ執ルニ當ッテ、從來屢、國民ニ不平ヲ陳フル者モアル、及怨嗟ノ聲ヲ聞クニ至ルノデアアル、是ハ甚ダ迷惑千萬デアアルガ、要スルニ是ハ此制度ノ不備ナ點モアルデアラウ、及執達吏ノ職務ヲ執ル其方法ノ上ニ於テモ、多少ノ缺陷ヲ生ジテ居ルノデアアルマイカ、之ニ對シマシテハ政府モ十分ニ考慮ヲ費シテ、何か此點ニ就テ改善ヲ施サレンコトヲ希望スルト云フノデアリマス、此三箇ノ希望ニ對シマシテ、政府ハ第一ノ方ニ就キマシテハ、全然委員ノ希望トスル所ノ理由ニ贊同ヲ表セラレタノデアアリマセヌ、即チ從來執達吏ノ職務ヲ執ルニ當リマシテ、一人一箇ノ役場ヲ設ケテアッタノデアリマスルガ、ソレニ就テ種々弊害ヲ生ズルカラ、此規則ヲ置キマシタ後ニ、此合同役場ト云フモノヲ設ケテ、此合同役場ヲ設ケテ後ハ、却テ一箇々々ニ職務ヲ執ラテ居リタ時ヨリモ、其弊害ヲ少クシタノデアアルカラ、今日此合同役場ヲ設ケタ爲メニ、多大ノ弊害ガアルト云フコトヲ耳ニシ、又委員會ノ希望モアルコトデアアルカラ、政府ハ此東京ノ執達吏役場ヲ三箇ニ分立セシメテ——之ヲ三三分チマシテ、而シテ其實行ノ

期ハ、此法律實施ノ際、及ビソレヨリ餘リ遅カラヌ時期ニ於テ實行スルヤウニ致スデアラウ、ソレカラ第二ノ手數料ノ率ノ問題ニ付キマシテハ、各地方裁判所ノ所長ヲシテ十分ニ取調ヲセシメ、之ヲ司法省ニ持出サセテ、司法大臣ガ十分ニ調査ヲシテ、而シテ其率ヲ定メルト云フコトニ致シ、サウシテ其調査ノ如キモノハ、慎重ニ慎重ヲ加ヘテ、委員會ノ希望ニ適フヤウニ、十分ノ考慮ヲ費スデアラウト云フ答辯デアリマス、ソレカラ第三ニ付キマシテハ、委員ノ希望ニ同感デアアル、何トカ考慮ヲ費シテ、此國民怨嗟ノ聲ヲ緩ウスルヤウニスルデアラウト云フ答辯デアリマス、委員會ハ此政府ノ言明ニ信用致シマシテ、之ニ満足ヲ表シマシテ、全會一致ヲ以テ第一、第二案共ニ、政府案提出ノ通りニ可決確定スルニ至ラトデアリマス、此段御報告ニ及ビマス

〔拍手起ル〕

○岩崎勳君 兩案ヲ一括シ、讀會ノ順序ヲ省略シテ、省略シテ委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○議長(大岡有造君) 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡有造君) 御異議ナケレバ讀會ノ順序ヲ省略シテ、兩案共可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第七、家畜市場法中改正法律案第一讀會ヲ開キマス、提出者高橋嘉太郎君

第七 家畜市場法中改正法律案(齋藤珪次君)

外十三名提出)

第一讀會

家畜市場法中左ノ通改正ス
第一條中「牛馬羊豚」ヲ「牛羊豚」ニ改ム
〔高橋嘉太郎君登壇〕
〔拍手起ル〕

○高橋嘉太郎君 家畜市場法中改正法律案、極ク簡單デゴザイマスカラ簡單ニ説明ヲ致シマス、家畜市場法ノ第一條ニ、本法ニ於テ家畜ト稱スルハ牛馬羊豚ヲ謂フトアルノデアリマス、其中カラ馬ヲ除イテ之ヲ「牛羊豚」ト改ムル、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス、極ク文字ハ簡單デゴザイマスケレドモ、馬ヲ除クト云フニ付テハ、除クダケノ理由モゴザイマス、併シ其理由ニ就テ長ク申シマシレバ時間モ費シマスカラ、大體ノミ申上ゲマスガ、産馬地方ニ於テハ、既ニ産馬組合法ニ依テ設置シテアル所ノ市場モゴザイマス、二歳驪駒市場ト申シマスガ、又養馬地ニ於テハソレトノ從來ノ慣行

モアリ、事情モアルノデアルカラ、其等ノ點ヲ十分申シマスレバ、徒ラニ時間ヲ費スノ虞ガアリマスカラ、ドウモ御採用ニナテ委員付託ニナルコト、信ジマスカラ、其等ノ詳細ノ事ハ委員會ニ讓ル方ガ便利ナリト信ジマス、宜シク御賛成ヲ願ヒマス

○荒川五郎君 議長

○岩崎勳君 議長

○議長(大岡有造君) 荒川五郎君

○荒川五郎君 一ツ質問ガゴザイマス、此家畜市場法ハ、唯今提出者ノ述ベラレマシタ通りニ、牛馬羊豚ヲ支配スルノデアリマス、然ルニ此中デ馬ダケヲ除カウト云フノデアリマスケレドモ、提出者ハ馬ノ産地ノ御方ト心得マス(其通りト呼フ者アリ)我ガ全國ノ農業ハ、馬ヲ多ク産スル處ハ馬ヲ農業ニ用キマス、牛ノ多イ處ハ牛ヲ農業ニ用キマス、牛耕馬耕、全國ハ凡ソ其地方デ區分シテ居リマス、然ルニ馬ノ産地デハ馬ヲ農業用ニ使ヒマシテ、農家總テガ馬ヲ持テ居リマスカラ、隨テ此一人一個ノ農者ガ、賣買其他ニ家畜市場法ノ支配ヲ受ケルノハ迷惑ダト言ハレマスカラ、ソレト同ジヤウニ、牛ヲ主ニ農業ニ使ウテ居ル處ハ、等シク馬ト同ジ事デアアル、中國地方ハ決シテ馬ヲ農家ハ用キマセヌ、マルデ牛耕デアアル、其牛耕地方モ此案ノ精神ト同ジ事デアアル、若シサウナリマシテ馬ヲ除キ牛ヲ除クト云フコトニナツタナラバ、此家畜市場法ハ全ク骨抜ノモノナラシマウノデアリマス、豚羊ダケデハ、實際此法律ハ役ニ立タヌコトニナルノデアリマス、豚ノ如キハ千葉縣地方ニアリマスケレドモ、全國カラ見レバ甚ダ僅カナモノデアアル、羊ハ政府ガ獎勵セラレテ居リマスケレドモ、羊ハ極ク軟カイモノデアリマス、我日本ノ草ハ茅ノ質ヲ含シ居ル、笹ノ質ヲ含シ居ル、極ク日本ノ一般ノ草ハ粗イノデアリマス、此粗イ草ハ軟カイ羊ニハ適セヌト云フ説ガアリマス、隨テ羊ナルモノハ、政府ハ多大ノ事ヲシテ保護獎勵ヲシテ居リマスケレドモ、前途甚ダ覺束ナイト云フコトガアルノデアリマス、サウ云フヤウナ譯デアアルカラ、羊モ豚モ殆ド微々タルモノデアアル、其微々タルモノダケノ家畜市場法ダケデハ、此法律ハ全ク骨抜ニナツテシマウノデアリマスガ、提案者ハ全國一般ノ目カラ見て、牛耕ト馬耕トドチラガ多イトセラレテ、此馬ダケヲ除クト云フノデアリマスカ、本員ノ見ル所ニ依レバ、日本半分カラ西ノ方デハ總テ牛耕デアルト思フノデス、隨テ全國農業者ハ、馬耕ヨリモ牛耕ガ多イト思フノデアリマス、此法律ノ精神ニ依レバ、更ニ牛ヲ

モ此家畜市場法カラ除イテ宜イト云フ意味ニナリハシナイカト思フノデアリマス、大體御尋致シマス
○高橋嘉太郎君 御答致シマス、牛ハ除クト云フノデハナイノデアリマス、此改正案ノ通りニ、馬ガケヲ除クト斯ウ云フコトデアリマス

〔ウマイ〕ト呼フ者アリ(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡有造君) 御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡有造君) 御異議ガ無ケレバ、本案ハ議長指名、九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタリ——日程第八及第九ハ、同一委員ニ付託セラレタル議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡有造君) 御異議ナケレバ、第八第九ヲ一括シテ、委員長ノ報告ヲ求メマス——武藤金吉君

第八 煙草專賣法中改正法律案(小林源藏君)

外十六名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)(確定議)

第九 織物消費稅法中改正法律案(小林源藏君)

外十六名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)(確定議)

〔拍手起ル〕

○武藤金吉君 唯今議題ニ供サレマシタ 煙草專賣法中改正法律案、織物消費稅法中改正法律案、此二案ニ就キマシテ、昨日委員會ハ委員長理事ノ互選ヲ行ヒ、直チニ審議ヲ終了致シマシタ、其成績ヲ御報告致シマス、此煙草專賣法中ノ改正ノ要旨ハ、第二十條ノ二ヲ改正致シマシテ、煙草耕作組合、之ニ組合ノ實費ヲ補償スル目的ヲ以テ獎勵ノ意味ヲ以テ交付金ヲ致シマシタリ、其方法ニ付キマシテハ、政府ハ命令ヲ以テ適當ノ方法ヲ以テ、段別割、人頭割、若クハ箇所割等ヲ能ク研究ヲ致シマシテ、交付スルト云フコトデアリマス、其金額ハ十二万七千圓デアリマシテ、何レ追加豫算ヲ以テ要求セラル、ト云フコトデアリマス、此織物消費稅ノ方ノ改正ハ、織物消費稅法中ノ二十二條ヲ改正ヲ致シマシテ、織物同業組合ニ、此織物稅ヲ徵集ス

ル手數料トシテ交付スルト云フ案アリマス、是ハ從來ニ於キマシテ組合ガ此徵稅ノ方法ヲ手傳テ居ル、其費用ニ當ルルガケノモノヲ交付スルト云フ案デアリマシテ、即チ織物賣上高ノ千分ノ一、織物消費稅額ノ百分ノ一ニ當ルモノヲ組合ノ出來テ居ルモノニ交付スル、而シテ此金額ハ十五萬八千餘圓ニ當ルノデアリマス、勿論織物消費稅ハ大正八年度ノ豫算ニ依テ見マスルト、二十萬圓以上ヲ計上シテアリマスガ、組合ノ出來テ居ラス所ガアリマスカラ、其組合ノ出來テ居ラス所ハ約三割ヲ控除致シマスカラ、此十五萬八千圓ト云フモノガ出ルノデアリマス、是ハ多年ノ懸案デアリマシテ、本案提出ニ付テモ、各派異議ナク大多數ヲ以テ提出ニナリマシテ、委員會ハ政府ノ意見ヲ確メマシタ所、二案トモ政府ハ同意ヲ表セラレマシテ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、何卒全會一致ヲ以テ御贊成アラシコトヲ希望致シマス

○岩崎勳君 日程第八及第九ノ兩案ヲ一括シ、讀會ノ順序ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ、二案トモ讀會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス——
日程第十、朝鮮神社ニ素盞鳴尊奉祀ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者高木益太郎君

第十 朝鮮神社素盞鳴尊奉祀ニ關スル建議案
(高木益太郎君外一名提出)

朝鮮神社ニ素盞鳴尊奉祀ニ關スル建議書
右建議書
〔高木益太郎君登壇〕

○高木益太郎君 茲ニ謹デ明治大帝ノ御產土神デアラセラレ、我國海外發展ノ積極ノ神ト尊バレ、文武ノ神、航海ノ神、殖林ノ神ト尊崇ヲセラレ、忝ナクモ 天皇陛下ハ四方拜ノ時ニハ、御姉君ノ天照皇大神宮ニ續イテ御拜アラセラル、モノハ、即チ素盞鳴尊デアリマス、此素盞鳴尊奉祀ニ關スル建議案ニ付キマシテハ、此案ヲ提出致シマスル前ニ、先年新聞紙上デ今回朝鮮ニ朝鮮神社ヲ御設ニナルコトガ現レマシタカラシテ、或ハ宮内省ノ計畫デハナイカ、斯ウ云フ考ヲ持チマシテ宮内大臣波多野敬直君ニ書面ヲ以チマシテ、

朝鮮ニ朝鮮神社ヲ御設ニナル以上ハ、是非トモ 建速素盞鳴尊ヲ第一ニ御祀ヲシナケレバナラヌ筈デアルト、斯ウ云フ願書ヲバ出シマシタ、所ガ宮内大臣、ハ貴様ノ請願ノ趣意ハ尤至極デアアル、併ナガラ此朝鮮神社ノ設置ハ政府ノスル仕事デアアル、宮内省ハ與リ知ラヌノデアアルカラ、朝鮮總督府ノ方ヘ申出テ然ルベキモノデアルト、斯ウ云フ返事ガ參リマシタ、其後暫ク致シマス、先頃ノ議會ニ朝鮮神社設置ノ豫算案ト云フモノガ、諸君ノ御手許ニ配付セラレタノデアリマス、ソコデ神社ヲ御設ニナル以上ハ、吾々ハ此同化政策ノ上ニ付テ、最も精神的ニ、最も歴史のニ、是非トモ素盞鳴尊ヲ奉祀スベキモノデアルト確信シテ居ルノデアリマシテ、朝鮮總督府ノ意嚮如何ト云フコトヲ質問致シマシタ、然ルニ朝鮮總督府ニ於キマシテハ、山縣伊三郎君ガ、未ダ此神社ノ御神體ニ付テハ、何等朝廷カラ仰出サレタコトハ無イノデアルト、斯ウ云フ御答デアリマスルカラ乃チ爰ニ朝鮮神社ニ素盞鳴尊奉祀ニ關スル建議案ヲ提出致シマシテ、諸君カラ眞ニ精神的の滿場一致ノ御贊成ヲ仰ギタイノデアリマス、(拍手起ル)大體此山縣君ニハ、私ノ意思ガ未ダ徹底シナイノデアリマスカラシテ、此建議案提出ノ理由ヲ謹シテ此處デ述ベマス、日韓合邦以來、内地民族ト朝鮮民族トハ彼我ノ區別ヲ徹底シマシテ、同胞ノ交際漸ク親密ヲ加ヘマシテ、異クモ我が皇室ニ於ケラレマシテハ、梨本宮方子女王殿下ト、王世子李垠殿下トノ婚約ヲ御聽許ニ相成リマシテ、將ニ御慶事ヲ舉ゲサセラレントスルニ方リマシテ、洵ニ不幸ニモ李太王殿下ニハ薨去遊バサレ、朝鮮八道ノ人民ハ更ナリ、我が七千万ノ同胞舉ゲテ哀誠ノ意ヲ表シ、帝國議會ニ於テモ、李太王殿下ノ御國葬費ヲ協贊シ奉リ、上下俱ニ渾然一家ノ輯睦ヲ示シテ居ルニモ拘ラズ、奈何セン中古以還ノ迷霧未ダ全ク鮮民ノ或ル一部ノ心頭ヲ去ラザルモノガアリマシテ、往々ニシテ思想ノ隔絶ヲ來シ、天道教主孫秉熙ナル者ノ騷擾事件等ノ爆發ガアリマシタ、爲ニ國家進展上ノ一大障礙ヲ招クノ虞アルヲ免レスト云フコトハ、甚ダ遺憾千萬ノ事デアリマス、是ハ畢竟皆ナ内地民族ト朝鮮民族トガ先天的の血族ノ正傍ニシテ、遠ク其根本ニ遡レバ、齊シク同祖同宗ヨリ生ズ來レル、一河ノ分流タルヲ知ラザルノ過ニ坐スルモノデアルト確信致シマス、政府ハ宜シク鮮民ニ向テ、大和民族タル根本の思想ノ諒解ヲ與ヘ、眞個ニ一心同體ノ融合ヲ圖リ、左提右携、以テ報本反始ノ實績ヲ舉グルニ努メナケレバナラヌ次第デアルト信ジマス(拍手)

起ル)

〔此時私語スル者多シ〕

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ願ヒマス

○高木益太郎君 惟フニ日韓合併ハ、大和民族有史以來ノ宿契ニシテ、之ヲ國史ニ稽ヘ、之ヲ事實ニ徵シテ、内鮮一家ノ證左ハ歴々トシテ争フベカラザル事デアリマス、而モ地理ガ多少隔絶シテ居ルガ爲メニ——或ル地理學者ハ昔シ連續シテ居タト云フ説モアリマスガ、兎ニ角現在ニ於テハ、地理ガ多少隔絶シテ居ルガ爲メニ、久シク兩者邂逅ノ期ヲ妨ゲマシタガ、時運際會シテ、今ヤ全ク同胞握手ノ大理想ヲ實現シマシタ以上ハ、内ハ相聞クノ嫌ヲ避ケ、外ハ侮ヲ禦グノ實ヲ舉ゲテ、相互思想ノ統一ヲ圖リ、眞ニ帝國國民タルノ心性ヲ鑄治シ、朝鮮一千六百萬ノ民衆ニ對シテ、日本主義、特ニ日鮮同根の概念ヲ與ヘ、以テ將來不拔ノ基礎ヲ樹テルハ、誠ニ到下吃緊ノ事デアルト信ジマス、之ヲ爲スニ付キマシテハ、明治大帝ノ御詔勅中ニ、皇祖皇宗ノ遺訓ニ遵ヒト云フコトヲ仰セラレテ居リマスガ、唯、表面此勅語ヲ奉讀ヲシ、若クハ忠孝——忠孝ト云フダケデハ十分ニ徹底セヌノデアリマス、之ニハドウシテモ開國以來ノ歴史ヲ頭ニ刻ミ込ムト云フコトガ、最も必要デアラウト考ヘマス、吾々ガ小學校ニ在リマシタ時ニ、或ハ仁德天皇ノ、民ハ國ノ本デアアル、民ノ體ハ脈ヒニケリト云フ御言葉、若クハ醍醐天皇ノ寒夜ニ御衣ヲ脱シ給ヒテ、民ノ疾苦ニ叡慮ヲ惱セラレタト云フ御話、或ハ又楠氏歷代ノ忠節、兒島高德ノ奮闘ノ有様ヲ顧ミマスルト、其日本外史ヲ讀ンデ居ル間ニ、涙ガポロポロ零レタ、是ハ嘗ニ私バカリデハナイ、諸君モ尙ホ一層感激セラレタ事デアラウト考ヘマス、ソレ故唯ニ忠孝ヲ盡セトク、勅語ヲ奉讀ルストカ云フコトハ、固ヨリ難有イモノニハ相違アリマセヌガ、明治大帝ノ御言葉ニ、皇祖皇宗ノ遺訓ヲ紹述スルト仰セラレタノハ何デアアルカト云ヘバ、開國以來ノ歴史ト云フモノヲ日本民族ノ頭ニ入レル、サウシテドノ位皇祖皇宗ガ御盡シニナタ、即チ萬世一系連續タル御皇威ガ益、増シテ、我日本帝國ノ赫々タル光輝ヲ放ツト云フ事ニ、下ノ位御苦心遊ハサレタカト云フコトハ、數千年ノ歴史ニ就テ明確ノ事デ、如何ニ我國民ガ數千年來御恩ヲ蒙ル皇室ニ對シ奉リ、忠義ヲ盡サナケレバナラヌカト云フコトガ、自然ニ頭ヲ刻込ムコトハ論ヲ俟タヌ事柄デアルト信ジマス、是ハ内地人タル朝鮮人タルトニ依テ異ル所ハ無イト信ジマス、ソレデアリマスカラ之ヲ爲スニハ、先ヅ朝鮮人ノ同化政策トシテハ、鮮民崇敬ノ標のヲ定メテ、之ニ依テ人心ノ嚮

フ所ヲ歸一セシムルニ若クハ無イト考ヘマス、而シテ朝鮮開國ノ起源ニ際シマシテ、肇メテ彼國ニ君臨シ、檀君ト崇稱セラレ給ヒマシタノハ誰方様デアルカト云ヘバ、即チ我が建速素盞男尊ニシテ、素盞男尊ハ五十猛其他七王子ヲ伴ヒ、朝鮮ニ御渡航遊バサレテ、今ノ江原道春川府ノ道廳ニ在ル會戸茂梨ノ地ヲ根據トシ、又平安道ニ在ル妙香山ノ跡ニ今日モ御寺ガ遺テ居リマスガ、其處ニ御在遊バサレテ、朝鮮開發ノ爲メニ日夜其御經營ヲ怠リ給ハズ、櫛風沐雨多年御盡瘁ノ間ニ於テ、瘴煙蠻霧ノ爲メニ民生ノ疲癯ニ惱マサル、ヲ憫マセ給ヒ、御自身疲癯除ノ守護神ト云フコトヲ誓ハセ給フタ、之ニ依テ其後桓武帝ノ二十八年ニ出來タ京都ノ八阪神社ト云フノハ何様デアルカト云ヘバ、京都ニ非常ナ「サンコロリ」ガ流行シタ時ニ、祇園神社トテ御祀リ申シテ、播磨國廣峯神社カラ御移シ申シタ、是ハ明治大帝ノ產土神デアル、先般 今上帝御大禮ノ時ニ官幣大社ニ御昇格ニナタコトハ、諸君ノ能ク御承知ノ事デアル、播磨國廣峯神社ト云フノハドウ云フ神デアルカト云フト、唐ニ行タ大使吉備眞備ガ、素盞男尊ノ勳功ノ偉大ナルコトヲ感ジテ、姫路カラ上陸シテ播磨ノ廣峯山ノ麓デ夢ヲ見テ、素盞男尊ヲ御祀リ申上ゲタノ即チ廣峯神社デアル、斯ノ如ク朝鮮ノ人民ノ爲メニ、朝鮮開發ノ根據ヲ造ラセ給フタノ檀君即チ素盞男尊デ、其居ラレタ所ノ會戸茂梨ノ地、若クハ妙高山ヲ一度拜シタル者ハ疑ナイ次第デアリマス、慶尙道、江原道ノ人民ハ最モ多ク參詣スルト云フコトハ、天下公知ノ事實デアリマス、夫故ニ内地ト朝鮮トノ聯合ノ行動ハ此ニ端緒ヲ開イタモノト斷定スルトコトガ出來ルノデアリマス、即チ朝鮮人ニシテ開國ノ檀君即チ我素盞男尊ト云フコトヲ知レバ、同祖同宗ノ信念ヲ開拓シテ、其障壁ヲ撤廢スルトコトガ出來マス、斯ウシテ國民性ノ淵源ニ遡テ祖先崇拜ノ思想ヲ涵養スルトコトハ、今日最モ必要ナル時期デアルト存ジマス、斯ル趣意デ御手許ニ配付シテゴザイマス通り、熱田神宮宮司角田忠行氏ノ調査ニ係ル「韓國開闢」ニ關スル古事記、及神代記ヲ根據ニシタル説、並ニ文學博士原秀四郎氏ノ調査ニ係ル日本書記ニ基ク説、及文科大學教授星野恆氏ノ説、文學博士井上賴因氏ノ素盞男尊ト朝鮮ト題スル説、森潤三郎氏ノ調査ニ係ル朝鮮年表、並ニ朝鮮史廣文庫ノ一節、日本書記、謠曲拾葉抄花筐、藻鹽草、閑田耕筆、古事記傳、ソレカラ出雲大社宮司千家尊統氏ノ大國主祖神傳説、次ニ熊野大社由緒書、是ハ熊

野權現ハ朝鮮ノ熊川ノ熊ヲ取テ、熊野權現ト尊稱シ奉タノデアリマシテ、即チ朝鮮忠清道公州ニアルノデアリマス、ソレカラ朝鮮ノ木ヲ持テ來テ紀伊國ニ植エテ、木ノ國即チ紀伊國トナタ、故ニ檀君ト申上ゲル木ヲ取テ檀ト云フノデス、是ハ八王子ノ一柱デ、五十猛尊ト云フ伊達家ノ御先祖デアリマスガ、紀伊國名草郡即チ高日川ノ上流ニ於テ、先達官幣大社ニ昇格遊バサレタル伊太祁會神社ト申上ゲルノデアリマスガ、是ガ神様ガ父ノ素盞男尊ノ仰セニ依テ、紀州ハ朝鮮カラ御歸リ遊バシテ名草郡ニ御著ニナッテ伊太祁會神社ガ出來タ、此外紀州ニ有名ナル熊野大社、熊野權現ト御祀リ申シタ神社モアル、熊野權現ハ何カラ出タカト云フコトハ、歴史ニ於テ明白ナ事デアアル、ソレカラ八王子ノ中デ最モ勳功ノ著シイノハ多岐都姬命、市杵島姬命、多紀理姬命、是ハ安藝國嚴島神社、肥前國田島神社、筑前國宗像神社デアル、傳教弘法兩大師以來、兩部神道デハ竹生島ノ辨天、江之島ノ辨天、安藝ノ宮島ノ辨天ト尊稱シ奉ル本尊ト同一デアアル、水ニ關係アリ海ニ關係アル所デ、大抵御祀リスル辨天ハ、何様デアルカト云ヘバ、素盞男尊ノ八王子ノ内、三柱ノ女神デアラセラレレル、此女神即チ開運辨天ノ御誓ハ、海原ニ向テ大ニ發展セシムルト云フノデアッテ、之ヲ尊崇シテ、如何ナル處ト雖モ日本國中津、浦津ニ至ルマデ御祀シテアル、又宇佐八幡ノ第二殿ハ邊津宮、中津宮、海津宮ト云フ即チ辨天デアリマスガ、内地ト朝鮮トノ平和ヲ守護スルト云フ御誓ニナッテ居ル、成程御内殿ノ中ニハ應神天皇仲哀天皇ヲ御祀リ申シテアリマスガ、是ハ神功皇后ガ三韓征伐ヲ爲ステ後ニ、彼ノ地ニ鎮守府將軍ヲ置イテ御歸リニナッテ、其御歸リノ途十二月十四日ニ御安産遊バサレタノガ應神天皇デアル、ソレカラ宇佐八幡ニ御祀シ申シタノデアアルガ、ソレハ後ノ事デ、其前ニ祀テアルノハ素盞男ノ八王子ノ中ノ三柱ノ御神ヲ祀テアルト云フコトハ、歴史ニモ明白ナ事實デアアル、斯ル國史ノ上ニ於テ明確デアリ、又唯今項目ダケヲ申上ゲマシタ出雲大社、其他ノ調査書類ニ依テモ明白ナル次第デアリマスノニ、肝腎ナル朝鮮總督府ト云フモノハ、朝鮮ハ何人ノ御蔭ニ依テ今日開發ガ出來タカ、サウ云フコトヲ開却シテ居ルト云フコトハ如何ニモ情ケナイ次第デアアルト存ズルノデアリマス、ソコデ此第四十議會ノ初ニ朝鮮神宮ノ豫算ガ出マシタ時ニ、吉植君ガ主査デアリマシテ、サウシテ政府委員山縣伊三郎君、鈴木穆君トニ御尋シタ所ガ、何等確カリシタ御答ガナイ、成程

斯ウ云フ人物ガ朝鮮ニアッテ其本ヲ忘レテ末ニ趨テハ、立派ノ政治ガ出來ルモノデナイ、矢張政治家ノヤル仕事ハ形バカリデハイケナイ、眞ニ歴史ヲ尊重シテ、國民性ニ入シテ、十分ニ彼ト我トノ諒解ガアッテ、初メテ朝鮮ノ同化政策ガ成功スル次第デアアルノニ、自分ガ朝鮮ノ統治ニ關係シテ居リ、樞要ナル地位ニ在ッテ、朝鮮ノ歴史ヲ輕シテ居ルト云フヤウナ事デハ、甚ダ私ハ歎ハシイ事デアアルト存ジマス此第四分科ノ豫算委員會ニ於テ、大ニ山縣サン鈴木サント論議ヲシタノデアアル、我々ハ小學校ニ居ル時カラ、素盞男尊ガ朝鮮ノ御出遊バシテ御苦勞ナシタト云フコトハ、我々ノ頭ニ深く刻込マレテ居ル、又何人モ知ラヌ人ハ無イノデアアル、然ルニ朝鮮統治ノ局ニ當ル當局者ガサウ云フ事デハ、朝鮮ノ前途ハ甚タ憂慮ニ堪ヘヌ、ソレデアアルカラ吉植君モ是ハ神様ニ關スル問題デナクシテ、他ノ同化政策ノ問題デ段々ト論議ヲ盡サレタ時ニ、政府委員ノ説明ガ要領ヲ得ナイノデ、其出席停止ヲシヤウト云フマデニ、警告的的要求ガアッタト云フコトハ、諸君モ速記録ニ依テ御分リニナッテ居ルコトト思ヒマス、私ハ山縣サン御前サンハ何處ニ居ッタカ、昔ハ愛知縣ニ書記官ヲサレタデハナイカ、御父サンノ御蔭デナッタカモ知ラスガ、愛知縣ノ熱田ノ神宮ハ何様ヲ本體ニシテ居ルカ、倭姫カラ受ケタ草薙劍ヲ奉ジテ、サウシテ東夷征伐ノ爲メニ日本武尊ハ、何デアアルカ、此八岐大蛇カラ取ッテ所ノ草薙ノ劍ヲ以テ御本體トシテ居ル、愛知縣ニ書記官トシテ居ッテ知ラヌ譯ガナイ、君ガ東京府ノ書記官デアッタガ、東京府ノ一ノ宮氷川神社ハ、川上ノ稱號ニ基イタモノデ、即チ日本武尊ガ東夷征伐ヲシテサウシテ、大宮ヘ行ッテ彼處ヘ素盞男尊ノ御遺德ヲ尊崇スル爲メニ氷川神社ガ建ッタ、關東デ武藏ト云フ名前ハソレカラ起タノデアアル、其名前ハ何カト云ウト、素盞男尊ノ御勳ヲ日本武尊ガ尊ンデ居ラレル、又神功皇后ガ三韓征伐ヲシテ凱陣ノ時ニ、須磨明石ノ邊カラ御上陸ニナッテ、其第一ニ崇シタノハ何様カト云ウト素盞男命デ、相生ノ松ガアルノデ有名ノ縣社高砂神社デアアル此神社ハ神功皇后ガ立ッタノデハナイカ、斯ノ如ク國史上明白ナ神様ニ向ッテ、是カラ研究ヲシヤウト云フノハ何事デアアルカ、斯ウ云フ工合デ餘程論争ヲ致シタ所ガ、委員中サウ云フ心懸デアアルト、必ズ天罰立所ニ到ル、笑聲起ルト云フコトガ委員會ノ筆記ニ載ッテ居リマス、果シテ如何デアリマセウ、マダ其問答ヲシテカラ數箇月經タヌノデアリマスガ、如何ナル方面ニ如何ナル事ガ起ッタカ、識者ノ判斷ニ任セマス、

請願が出マシテ本議場ニ於テモ満場一致ヲ以テ採擇ニナ
テ居ル、貴族院ニ於テモ是ナリトシテ之ヲ採擇セラレテアル
ノデアリ、何卒満場ノ諸君ニ於テ、本建議ニ對シ贊成アラ
ンコトヲ熱望シテ止マヌ次第デアリマス

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託
セラレンコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ 本案ハ議長指
名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ、日程第十二、
圓山川改修ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者齋
藤珪次君

第十二 圓山川改修ニ關スル建議案(齋藤珪
次君外一名提出)
圓山川ハ第二期政府直轄ノ河川ニ屬スト雖其ノ水害
年ヲ追フテ甚シク沿岸ノ困難實ニ名狀スヘカラサルモ
アリ政府ハ速ニ之カ改修ニ著手セラレムコトヲ望ム
右建議ス

○齋藤珪次君登壇
〔拍手起ル〕
○齋藤珪次君 本建議案提出ノ理由ヲ説明致シマス、圓
山川ハ御承知ノ通り、兵庫縣但馬國ノ出石、城崎兩郡ノ
沿岸其田畑三千五百町歩ト稱スルモノヲ浸害スル所ノ河
川デアリマス、其水害ハ歲ヲ逐ウテ大ニナルデアリマス、況
ヤ昨年九月十四日ニ於ケル彼ノ山陰方面ノ大降雨、大洪
水ノ結果ト致シマシテ、此河川ノ沿岸ニ於ケル山岳ハ潰
崩シ、爲メニ土砂ノ非常ナ流出ヲ致シマシタカラ一層河川ノ
埋没ヲ致シ、サウシテ此浸害ヤ大ナルモノト信ズル、丁度私
モ山陰道ノ此水害視察トシテ、實地ヲ見マシタ、如何ニモ
積年ノ慘害ノ積テ居ル、又昨年ニ於ケル此大災害ノ爲メ
ニ將來一層害ノ大ナルコトガ推案ガ出來ルデアリマス、是
ハ是非共速ニ改修ノ必要ガアルト認メルデアリマス、既ニ
御承知ノ通り現行ノ治水政策ガ、四十三年ニ於キマシテ
確立致シマシタ時ニ、此圓山川ハ第二期川ニ屬シテ居ル
デアリマス、故ニ早晩ハ致サナケレバナラヌモノトシテ國家
ハ認メテ居ル、然ルニ唯今申上ゲマシタ所ノ昨年ノ大水害ノ
此埋没ハ、一層甚ダシク相成リマシタル故ニ、政府ハ速ニ此
改修ニ著手セラレ、コトガ相當ト存ジマスルガ故ニ、本案ヲ
提出致シマシタ次第デアリマス、ドウカ満場諸君ノ御贊
成ヲ仰ギマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ木津川治水ニ關スル建議案委員ニ、
併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ 本案ハ岩崎君
勳議ノ如ク決シマシタ、日程第十三、沖繩縣ニ於ケル「マ
ラヤ」豫防撲滅ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、我如古樂
一郎君

第十三 沖繩縣ニ於ケル「マラヤ」豫防撲滅ニ
關スル建議案(我如古樂一郎君外四
名提出)
沖繩縣ニ於ケル「マラヤ」豫防撲滅ニ關スル建議
沖繩縣下八重山郡ハ農産物並水産物ノ産額夥多ニシ
テ殊ニ石炭ハ沖繩縣唯一ノ産地タリ然ルニ同郡内ハ一
部分ヲ除クノ外殆ト「マラヤ」病毒瀰漫熄ム時ナク爲ニ
住民ノ健康ヲ害シ作業能率ヲ妨クルコト甚シク事業ノ
發展進歩ヲ阻遏シ開拓ノ實ヲ擧グル能ハス故ニ政府ハ
適當ノ施設ヲ爲シ速ニ之カ豫防撲滅ノ方法ヲ講セラレ
ムコトヲ望ム
右建議ス

〔我如古樂一郎君登壇〕
〔拍手起ル〕
○我如古樂一郎君 諸君、沖繩縣ニ於ケル「マラヤ」病
ハ既ニ明治十八、九年ノ頃、政府ニ於ケレマシテモ此慘害
ハ格別デアルト云フノデ、調査委員ヲ置イテ調査ヲ致サレタ
ノデアリマス、即チ此明治十八、九年ニ古河醫學士、ソレカ
ラ三浦博士、ソレカラ沖繩縣ノ病院ノ醫員、ソレカラ近頃
守屋醫學士、ソレ「政府トシテモ認メラレテ調査ヲ進メラ
レテ今日ニ及ンダ」デアリマス、何故サウ云フ風ニナリマシ
タカト云フト...

〔議長大岡育造君退席副議長濱田國松君議長席
ニ著ク〕
○我如古樂一郎君 此沖繩縣ニ於ケル八重山ト宮古ト
ハ實ニ人口少ナクナラズ、開發ニ見込アル土地デア
リマスカラデアリマス、此八重山郡ハ十八ノ島ヲ以テ成立
テ、沖繩縣ノ南ノ端ニ位シテ居リマス、其總面積ガ四十
三方里デ戸數ガ五千二百三十、人口ガ二万六千九百四
十人アリマスデアリマス、産物ト致シマシテハ沖繩縣トシ
テハ獨リ八重山カラ石炭ガ出ルデアリマス、ソレカラ米、雜
穀、甘蔗ソレカモ砂糖、上布、材木、牛馬、水産トシテ鯉節
等ガ出ルデアリマス、産額ハマダ十分開發サレテ居ナイ
ノデアリマスカラ、今日トシテハ先ヅ二百十餘万圓位デアリ

マス、廣原平野ガ多ク、土地ガ沃肥デ未開發地ヲ謂ベテ見
マスト、七千六百九十九町歩、牧場トシテモ五千六百六
町歩デアリマスケレドモ、各離島ノ中僅カナ部分ヲ除クノ外
ハ總テ此「マラヤ」ノ有病地デアリマス、其病氣ノ爲メニ
部落ガ自然消滅シタ處ガ數箇處アルデアリマス、該島ヲ
シテ開拓致サウト致シマスケレドモ、此病ヲ恐レテ移住シヤ
ウト云フ者ガ無イノハ、今日ニ於テ非常ニ遺憾トシテ居ル
所デアリマス、殊ニ西表島ト云フ所ハ、石炭ガ隨分出ル見
込デアリマス、ソレカラ尙ホ材木モ澤山出ルデアリマスガ、
礦夫ヤ樵夫ノ募集ニ應ズル者ガ少ナイ、縱令有デモ此病
ヲ恐レテ間モナク立去ルヤウナ狀況デアリマス、既ニ二三ノ
事業家ガ隨分資本ヲ仰シテ居ラレタケレドモ、有望ナル事
業ガ失敗ヲ招イタト云フコトハ、全ク此病ノ然ラシムル所デ
アリマス、ソレデ十分ニ開墾ヲ要スル土地デアリマスカラシ
テ、沖繩縣トシテモ明治四十三年以來、大正二年マデ縣費
一万七千六百餘圓ヲ掛ケテ該病ノ豫防撲滅ト、患者ノ治
療ニ從事セシメタデアリマスガ、微カナル縣經濟ノ許サナ
イ所デアリマシテ、中止スルノ已ムヲ得ナカッタノハ、實ニ吾
共ノ遺憾トスル所デアリマス、思フニ此「マラヤ」病
地ヲシテ健康地ナラシメルト云フコトハ、一ニ衛生施設ニ俟
タナケレバナリマセヌコトハ、世界各國植民地ノ狀況ニ依
テ見テモ明カナルコトデアリマス、而シテ近年又八重山島
民ハ此「マラヤ」病ノ是非豫防撲滅ヲヤラナケレバナラヌト云
フ自覺心カラ出マシテ、昨年豫防期成會ト云フモノヲ組織
シテ、同會カラ縣ヘ豫防撲滅トシテ相當ノ費用ノ寄附ヲ申
込ンデ居リ現狀デアリマス、而シテ今日ノ醫學上、此「マラ
ヤ」病ノ豫防撲滅ヲ期セント致シマスルニハ、第一此病氣ノ媒
介者タル「アノフェーレス」蚊デアリマス、蚊族ノ發生地デア
ル池沼ヤ原野ヲ開拓シ、樹木雜草ヲ伐リ拂ッテ、日光ヲ能ク
射入セシムルト云フコトガ第一デアリマス、第二ハ此病原
蟲(即チ「ブラスマジユム」ト云フモノ、保有者若クハ患者ノ
血液ヲ檢鏡シテ、一定ノ期間強制的治療ヲ行フデアリマ
ス、ソレカラ第三ノ豫防法トシテハ「キニエ」ノ服用ヲ致シ
マシテ、豫防ノ方法ヲスルト云フコト、ソレカラ蚊ニ喰ハレ
ナイ裝置デアリマス、ソレカラ第五ニハ衛生組合ヲ組織シテ、
衛生思想ヲ向上セシムルト云フコト、是ガ今日ノ醫學上ノ
方法ニナテ居リマス、是等ノ方法ヲ實行致シマスルニ付キ
マシテハ、前申上ゲマシタ通り、相當ノ費用ガ要ルノデア
リマスノデ、同様ノ經濟ノ今日ノ有様デハ、十分ニ其目的
ヲ達シ得ラレナイデアリマス、簡單々々要スルニ此「マラ
ヤ」病ノ撲滅ヲ致サウトスルニハ、開墾事業ト並ビ行テ行ク
ノガ今日最モ捷徑ナル所デアルト存ズルデアリマスカラ、
政府ニ於ケレマシテモ十分ニ是ガ調査ヲ致サレ、適切ナル

官報號外 大正八年三月十二日 衆議院議事速記第二十二號 圓山川改修ニ關スル建議案 沖繩縣ニ於ケル「マラヤ」豫防撲滅ニ關スル建議案 三五三

豫防撲滅ノ方法ノ實行ヲ講ゼラレテ、此八重山島民並ニ開墾事業者ヲシテ、十分ニ其土地ニ安心シテ事業ヲヤラシムルト云フコトハ、今日此八重山ノ開拓上、並ニ「マリヤ」病豫防法ノ要點ヲラウト思フノデアリマス、此建議ノ趣意ハ斯ノ如キ次第デゴザイマスカラ、滿場諸君ノ御同情ヲ以テ、御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ深く希望致ス次第デアリマス（拍手）

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長（濱田國松君） 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

〔小西和君登壇〕

〔拍手起ル〕

○小西和君 日程第十四ノ外客ノ招致及待遇ニ關スル建議案ノ趣旨ヲ申上ケマス、御承知ノ如ク我國ニハ、風光ノ極メテ明媚ナ處ガ到ル處ニ散點シテ居リマス、又建築美術ノ側、其他各般ノ事物ニ互リマシテ頗ル立派ナ物ガ澤山ニアルノデゴザイマス、從テ我國到ル處トシテ名所舊蹟、若クハ遊覽地ヲ見ザルナシト云フ状態デゴザイマス、外國カラ參リマスル人々ハ、之ニ對シテ觀賞措ク能ハザル状態デゴザイマス、中ニモ瀬戸内海ノ方面及ビ其沿岸ノ樞區タル近畿ノ方面ノ如キ、又ハ富士山ヲ中心トシテ甲州、駿河、相模、伊豆ノ方面ノ一區域、此瀬戸内海及ビ富士山ノ景色メ如キハ、實ニ世界ニ無類我國獨特ノモノト申シテ宜シイデアリマス、借テ歐羅巴ノ戰爭ハ最早講和ノ時期ニ入りマシタ、今後國際間ノ障壁ガ撤去セラレマシタナラバ、列國ノ人々ト往來交通ハ益々頻繁ヲ加ヘ、其親密ノ度ハ益々深キヲ致スニ相違ゴザイマセヌ、而シテ我國ハ唯今申シマシタ如キ風光ノ明媚ナ所デアリマス、所謂世界ノ樂園タル名ニ背カナイデアリマスガ故ニ、今後觀光ノ外客ガ數多集テ參ツテ、大ニ外國人ヲ以テ賑ヒマスルコトハ疑フノ餘地ハゴザイマセヌ、然ルニ現在我國ニ於キマシテハ、外國ノ此等ノ御客人ヲ招寄セマスルコト、並ニ此等ノ人々ヲ待遇致シマスル點ニ於テ、殆ド何等ノ設備モゴザイマセヌ、又何等ノ方法モ立テ居ナイノデゴザイマス、斯ノ如キ状態デゴザイマシテハ、對外關係ニ於テ外國ト親交ヲ累ネルト云フ方面其他カラ見マシテ、甚ダ遺憾トスル次第デアリマス、又折角風光明媚ナ箇所ガ澤山アリマシテ、世界ノ樂園ト稱ヘラル、ニ拘ラズ、之ヲ利用致シテ外國ノ御客サンヲ呼ブト云フコトヲ致シマセヌノハ、折角ノ寶物ノ持腐レト云フ状態デアリマシテ、有形無形ノ兩方面カラ見マシテ洵ニ遺憾ナコトト思ヒマス、ソレ故ニ此外國ノ御客ヲ招寄セルコト、及ビ之ヲ待遇スルコトニ付キマシテ適當ナル方法ヲ立テマシテ、是ガ實行ニ努ムルノ必要ガアルカラ、之ヲヤツテ貫ヒタイト云フコトガ、此建議案ノ趣意デアリマス、其方法ノ如キニ至リマシテハ、自然委員ニ御付託ヲ願ヒマシテ御審議ヲ煩シタイノデアリマスガ、大體ノ希望ヲ申上ゲマスレバ、先ヅ「ホテル」ノ完全ヲ期シ且ツ其數ヲ殖ヤスト云フコトデアリマス、是ハ「ホテル」ヲ建テマスル場合ニハ、之ヲ政府ヨリ致シテ保護スルコトカ、或ハ「ホテル」ノ建築ヲ獎勵スルコトカ、或ハ又鐵道院ニ於テ適當ナ場所ニ「ホテル」ヲ建テルトカ、又船會社ニ於キマシテモ例ヘバ瀬戸内海ノ如キ適當ノ島々、若クハ海岸ニ「ホテル」ヲ拵ヘルコトカ、又地方廳ニ於テモ此等ニ付テ相當ノ考慮ヲ費ス所ガアリタイト思ヒマス、第二ニ希望致シマス

事ハ、道路ヲ改善致スコトデアアル、名所舊蹟ノ在リマスル所ノ外國人ノ散步致シマスル場所ニ、自働車ヲ通ズルヤウニ致シマスルコトカ、或ハ散步ヲ致スニ都合ノ好イ適當ナル道ヲ拵ヘルト云フコトモ必要デアリマス、第三ニハ案内者デアリマス、即チ「ガイド」ヲ改善ヲ致シ、且ツ其數ヲ殖ヤシ、又其取締ヲ嚴重ニ致シ、又「ガイド」ノ向上ヲ圖ルト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、第四ニ必要ナルコトハ船車即チ船ナリ汽車ナリノ問題デアリマス、先ヅ船ノ側ニ於キマシテモ、外國ノ船會社又ハ外國ノ汽車ト互ニ聯絡ヲ致シ、又汽車モ聯絡ヲ取ルコトニ致シ、且ツ特ニ遊覽ヲ致シマスル者ニ便宜ヲ計ルヤウニ致シ、又遊覽スルニ都合ノ好イヤウナ時間制ヲ作り、又之ニ對スル適當ナ設備ヲスルト云フコトガ、必要デアラウト思ヒマス、第五ニハ國民ニ對シテ外國人ヲ優遇スルト云フ氣風ヲ吹込ミタイノデアリマス、我日本ノ國民ハ世界ノ一等國、又文明國ニモ似合ヒマセズ、外國人ニ對シテハ頗ル不體裁ノ事ヲ演ズル場合ガ尠ナカラヌデアリマス、此等ハ公德心ヲ養ヒ、又其外ノ方法ヲ以テ此不體裁ヲ無カラシメ、更ニ進ンデ大ニ外國人ヲ歡迎シ優待シ、親切ニシテヤルコトニ云フコトニ國民ノ氣風ヲ養ヒタイト思ヒマス、第六ニハ外國人ノ案内、招致即チ招寄セルコト、之ニ付テ御承知ノ「ジャパンツーリスト」ビュローガ出來テ相當ニ働イテ居リマス、併ナガラ單ニ是ダケダ遺憾ニ思ヒマス、政府ニ於テ此「ツーリスト」ビュローヲ指導シ保護シ、又益々其基礎ヲ鞏固ニシテ活動スルヤウニスルコトガ必要デアラウト思ヒマス、第七ニ政府ノ部内ニ適當ナル機關ヲ設置スルコトガ必要デアラウト思ヒマス、現ニ佛蘭西ノ如キ瑞西ノ如キ、伊太利ノ如キニ於キマシテハ、觀光外客ヲ招キ、又之ヲ待遇スベク政府ノ部内ニ相當ノ機關ガ出來テ居リマス、我國ニ於キマシテモ斯ノ如キ機關ヲ拵ヘルコトガ必要デアルト思ヒマス、又場合ニ依リマシテハ此等ノ事柄ヲ處理スル會ヲ拵ヘルコトモ宜イト思ヒマス、先ヅ大體斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、此問題ニ付キマシテ宜シク御審議ヲ願ヒマス

○副議長（濱田國松君） 此場合一寸議場ニ御諮リヲ致シマスガ、日程第十四、第十五ハ提出者同一ノ議案ナルニ依リ、一括議題トナスタメニ、引續キ日程第十五ノ說明ヲ求ムルコトニ御異議ハアリマセヌカ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長（濱田國松君） 御異議ナシト呼フ者アリ

第十四 外客ノ招致及待遇ニ關スル建議案

（小西和君提出）

外客ノ招致及待遇ニ關スル建議

我カ帝國風光ノ明媚ナルハ世界ニ冠絶スト謂フモ政テ過言ニ非サルヘシ而シテ往昔以來人工ヲ以テ建築美術其ノ他各般ノ施設ヲ爲セルモノモ亦枚舉ニ暇アラズ國內到ル處名勝舊跡遊覽地ニ富ミ、外客ヲシテ感賞措ク能ハサラシムルモノ豈偶然ナリトセムヤ況ヤ瀬戸内海ト之ニ臨メル近畿方面並富士山ヲ中心トセル甲駿及豆相地方ノ如キハ眞ニ本邦獨得ノ景趣ナルニ於テヤ今ヤ歐洲ノ大戰亂モ既ニ講和ノ時期ニ入レリ國際間ニ於ケル障壁ノ撤去セラルト共ニ列國相互民人ノ接觸愈頻繁且親密ヲ加フルヲ疑ハス殊ニ帝國ハ世界ノ樂園トシテ向後觀光外客ノ蠅集ヲ見ルヤ必セリ然ルニ現下外客ノ招致及待遇ニ就テ殆ド何等ノ施設ヲ見サルニ止ラス更ニ其ノ方法ノ確立セルモノナキハ對外關係並對内事情ノ兩點ヨリ見テ有形上又無形上寔ニ遺憾トスル所ナリ依テ政府ハ旅館、船車、道路其ノ他外客ニ對スル各般ノ施設ニ就テ速ニ適當ノ方法ヲ確立シ著々之カ實行ニ努メラレムコトヲ望ム

右建議ス

○副議長（濱田國松君） 御異議ガナレバ引續キ提案者ノ說明ヲ求メマス——第十五、名勝舊跡其他ノ著シキ事歴アル樹石並特殊ノ植物保存及利用ニ關スル建議案

第十五

名勝舊跡其ノ他ノ著シキ事歴アル樹石並特殊ノ植物保存及利用ニ關スル

名勝舊跡其ノ他ノ著シキ事歴アル樹石並特殊ノ植物保存及利用ニ關スル建議案(小西和君提出)

我が帝國ニハ自然ノ優秀、由緒ノ特殊又ハ人爲ノ周到ナル爲名勝舊跡其ノ他著シキ事歴アル樹石並特殊ノ植物類ニシテ價值ノ頗ル大ナルモノ極メテ多シ之カ保存及利用ノ方法ヲ誤ラサルニ於テハ永久ニ教育ノ社會ノ風教上ニ補益シ且國光ヲ宣揚シ國富ヲ増進スルノ一助ト爲ルヤ必セリ人爲ノ國寶タル古社寺乃至古器物等ニ對シテハ既ニ其ノ保存法ノ制定實施セラレモアルニ拘ラス人カヲ以テ創成シ能ハサル天與ノ國寶ニ對シテ深ク顧慮スル所ナク甚シキニ至リテハ其ノ荒廢ト減亡ニ放任シテ省ミサルモノアルカ如キハ豈遺憾ナラズトセムヤ近年是等天然物ノ所在地方ニ於ケル個人、團體又ハ自治體等ニシテ如上ノ事項ニ注意シ其ノ保存及利用ニ努ムルモノナキニ非スト雖素ヨリ之ヲ以テ缺陷ナシト謂フヘカラス加之天與ノ國寶ニ對シテ保存及利用ノ方法ヲ講スルハ國家當然ノ義務ナリト信ス此ノ故ニ政府ハ須ラク適當ナル法規ヲ制定シテ之ヲ實施シ依テ以テ名勝舊跡其ノ他著シキ事歴アル樹石並特殊ノ植物ヲ保存シ及利用シ且永久毀損スルノ虞ナカラシムルニ努メラレムコトヲ望ム右建議ス

○小西和君 ソレデハ引續イテ日程第十五ノ名勝、舊跡其他著シキ事歴アル樹石並特殊ノ植物保存及利用ニ關スル建議案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、我國ニハ自然ニ風光ノ明媚ナル所ガ澤山アルノデゴザイマス、又由緒ノ特殊ナクメニ保存ヲシナケレバナラヌ、又大切トシナケレバナラヌ所モ澤山ニアリマス、又天然物デゴザイマスルガ、人爲ノ周到ナル注意手段ガ加テ居リマス爲メニ、價值ノ大ナルモノモ澤山ニゴザイマス、又著シキ事情歴史ノアル樹木若クハ岩石モ其處此處ニ見受ケルノデアリマス、又我國ハ特殊ノ植物類ニモ乏シクナイノデゴザイマス、ソレデ私ハ我國國寶トシテゴザイマスルモノハ、是人ノカデ拵ヘタモノノデアッテ人爲ノ國寶デゴザイマスルガ、天地自然ニ我國ニ此等ノ價值ノ大ナル物ガ存在シマスルコトハ、是ハ我國ノ天然ノ國寶デアアルト申シテ宜イト思フノデアリマス、借此天然ノ國寶ヲ適當ニ保存ヲ致シ、又之ヲ利用致シテ、永久ニ滅失スルコトナカラシムルヤウニ努メマシタナラバ、内外人士ノ遊覽、觀光ノ目的物トナリマスルコトハ勿論、或ハ子弟教育ノ良イ材料トナリマスルシ、或ハ社會風教ノ上カラ見マシテモ、洵ニ

良イ材料トナリマスルシ、或ハ社會風教ノ上カラ見マシテモ洵ニ良イコトデアリマスルシ、即チ國ノ光ヲ掲ゲルト云フコトナリ、國ノ富ヲ増ス所ノ一助トモナルノデアリマス、所ガ我國ニハ古社寺古器物ヲ保存致シマスル所ノ制度ハ、御承知ノ如ク備テ居リマスルガ、此天然ノ國寶ニ對シマシテ、保存及利用ノ方法ニ付テ、何等ノ途ガ立テ居ナイノミナラス、殆下ニ就テ顧慮スル者モ無イト云フ状態デアリ、甚シキニ至リマシテハ、徒ラニ荒廢滅亡ニ委シテアルノデアリマス、此ノ如キハ洵ニ遺憾千萬ナ事デアラウト思ヒマス、唯、近來個人、或ハ團體、若クハ自治體ニ於キマシテ、是等ノ保存及利用ニ就テ幾許カノ方法ガ立テ、注意ガ拂ハレ、ヤウニテ參リマシタケドザイマス、是位ノコトデアラウ行届イタトハ申シ兼ネルノデアリマス、ノミナラズ是等ノ天然ノ國寶ヲ保存スル途ヲ立テ利用スルコトヲ考ヘマスルノハ、是ハ國家ト致シマシテ、當然盡サナケレバナラヌ事柄デアラウト信ジマス、ソレ故ニ此事柄ニ付テ、政府ニ於テ速ニ適當ナル法規ヲ制定シテ、是ガ實施ヲ希望スルト云フガ、本建議案ノ理由デゴザイマス、此事柄ニ付キマシテハ、私共本建議案ヲ提出致シマシテ、數日經マシテ後ニ、貴族院ニ於テ徳川頼倫侯ヨリ名所舊蹟其他植物保存ニ關スル法律案ガ提出ニナッテ居リマス、私ノ此建議案ノ趣意モ、徳川侯ノ貴族院ニ提出セラレタ所ノ趣意ノ實行ガ出來ルヤウニアリタイノデアリマス、其根本ノ考ニ於テハ、全く同一ノデアリマス、ソレデ御參考旁、特ニ或ハ御氣付キニナラナイカト思ヒマス、此樹石、及植物ノ大切ナモノヲ一寸申上ゲマスルガ、植物ノ倒ニ於テ、木會ノ御嶽ニ駒草ガゴザイマス、是ハ殆下我ガ日本ニ特有ナル大切ナ高山植物ニナッテ居リマス、近來登山ノ氣風ガ流行致シマシテ、而シテ此駒草ガ盛ニ登山者ニ依テ蹂躪セラレテ、今ヤ將ニ絶滅ニ瀕シテ居ルノデアリマス、又北海道ノ特殊ノ植物ニ乏カラスノデアリマス、近來拓地植民ノ進歩ニ伴ヒマシテ、立派ナ植物ガ皆無慘々ト滅失ニ歸シツ、アルノデアリマス、或ハ又纏マリマシタ植物ト致シマシテ、別段種類ハ良イモノノデアリマス、纏マリマシタ植物ト致シマシテ、三保ノ松原ノ松、是等ハ纏マリマシタ適當ノ場所ニ生エテ居リマスガ故ニ、價值ガアリマス、又鎌倉ノ八幡宮ニアル公孫樹、或ハ唐崎ノ松ノ木、京都祇園ノ櫻ノ如キ、是ハ多大ナ樹齡ヲ經テ適當ノ場所ニアリマス、立派ニ生育ヲ致シテ、植物學上洵ニ麗ハシイ標本デアリマス、是等モ追ニ被害ヲ受ケツ、モ是ハ洵ニ大切ナ物デアリマス、是等モ追ニ被害ヲ受ケツ、アル状態デゴザイマス、是等ノモノハ是非保存ノ方法ヲ立テナケレバナラヌセヌ、又近年米國ニ於キマシテハ、或ハ「エーロ」ノ如キモノヲ拵ヘマシテ、是等ノ天然記念物ヲ保存スル

事ニ努メテ居リマスガ、我國ニ於キマシテハ、或ハ北海道ノ原始林ノ生エテ居ル場所、或ハ信州地方、或ハ四國ノ石槌山地方ノ如キ所ニ於キマシテハ、此原始林ノ儘、即チ人ノ足跡ノ到ラナイ儘、斧、鋸ノ災害ノ及バナイ、即チ古代ノ儘デ居リマスル場所ヲ、永久ニ保存スル方法ヲ立テマスル事ハ、極メテ必要デアッテ、國家ノ天カラ與ヘラレタル所ノ寶物ヲ、永久ニ保存スル所以デゴザイマス、是ハ決シテ慰ミ事デモゴザイマセヌ、又閑事業デナイ、是非共ヤラナケレバナラヌ事ト存ジマス、ドウカ第十四、第十五ノ兩建議案トモ、滿場一致ヲ以テ御賛成アラント希望致シマス(拍手起ル)

○副議長(濱田國松君) 岩崎君
○岩崎勳君 議長
○副議長(濱田國松君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
○副議長(濱田國松君) 御異議ガナケレバ岩崎君動議ノ如ク決シマス、日程第十六、帝國博物館完成ニ關スル建議案、柏原文太郎君

第十六 帝國博物館完成ニ關スル建議案 柏原文太郎君外一名提出
帝國博物館完成ニ關スル建議
天然ト人文トノ資料ヲ蒐集整理シ學術ノ説明ヲ施シ實物教育ヲ爲スハ、博物館ニ若ハナシ故ニ歐米ノ大都市ニ於テハ到ル所廣大ナル國立博物館ヲ設ケ其ノ效果ヲ舉クルニ銳意セザルモノナシ然ルニ我カ國ノ博物館ニ在リテハ其ノ規模小ニシテ其ノ利用亦普クカラス政府ハ宜シク國費ヲ以テ之カ施設ヲ完成シ以テ民衆ト學生トニ實物教育ノ資ヲ供スルノ方法ヲ講セラレムコトヲ望ム
右建議ス
〔柏原文太郎君登壇〕
〔拍手起ル〕

○柏原文太郎君 帝國博物館完成ニ關スル建議案ノ理由ヲ簡單ニ申述ベマス、我國ガ最近五十年間ニ各種ノ方面ニ致シマシタル進歩ハ、著シキモノガアルノデアリマス、レドモ尙ホ不完全ナル點ガ少ナクナイ、學問上ニ即チ科學ノ上ニ基礎學ノ必要ナルガ如ク、文明ノ上ニ於キマシテモ、其文明ノ基礎根柢トナルベキモノガ確立致シマセヌデハ、其發達ヲ見ルコトガ乏シイノデアリマス、然ルニ我國ニ於テハ、文明ノ具體的ノ發達史トモ見ラレ、若クハ人生ノ智識若クハ思想感情等ノ結晶トモ見ラレ、此博物館ガ、一モ國家ノ經營ニ成ルモノガ見當ラヌヤウデアリマス、是ハ誠ニ我が文

運ノ上ニ於テ一大缺點ト言ハナケレバナラヌ事デアラウト思ヒマス、一國ノ文運ヲ進メマスニハ、ドウシテモ其國體ノ本質竝ニ國民性ノ特長ヲ感得シマシテ、之ヲ以テ其品性ヲ陶冶シ、又其趣味ヲ高尚ニ致シマシテ、而シテ創作力若クハ應用ノ才能ヲ啓發スルト云フコトガ必要デアアル之ヲ爲スニハ博物館ノ如キモノガ最も有力ナル機關デアリマス、ソレ故ニ歐米ノ各國ニ於キマシテハ、夙ニ此施設ノ完成ヲ圖リマシテ、多大ノ努力ヲ致シテ居リマス、英國ニ於キマシテモ二百年前ヨリ博物館ノ創設ヲ見、現ニ今ヨリ三十年前ノ調ニ依リマシテモ、二百二十ノ博物館ガアルト共ニ、又倫敦ニ於テハ有名ナル六ツノ博物館ガアリマス、御承知ノ通り天産物ノ博物館、若クハ「プリッチ、ミューゼウム」即チ大英博物館、若クハ「サウス、ケンシントン」博物館、若クハ國立ノ繪畫館、ソレカラ「テート」繪畫館、「ワーレス」館ト云フモノガアリマシテ、其經費ノ如キモ二百萬圓ヲ費シ、其他ニ多大ノ寄附ヲ得テ此事業ヲ完成致シテ居リマス、其外「オックスフォード」「マンチエスター」等ニ於キマシテモ中ニ宏大ナル博物館ガアリマシテ、其陳列品ハ頗ル完備致シテ居リマス、又亞米利加ニ於キマシテモ、現ニ今ヨリ七十五年前ニ「スミソニアン、インシチチュート」ノ中ニ於キマシテ、議會ノ決議ニ依テ一ツノ國立博物館ヲ拵ヘマシテ、之ヲ四十年前ニ全然國立ノモノニ移シテシマヒマシタ、各種ノ方面ニ天然物若クハ歴史的、若クハ人類學上、若クハ考古學上等ノ部分ノ宏大ナル博物館ヲ造テ居リマス、是モ何レモ數百萬ノ資金ヲ投ジテ居ルト云フ有様デアリマス、斯ノ如クニシテ歐米ノ先進國ニ於キマシテハ、博物館ヲ完成シ、而シテ之ヲ利用スル方法ヲ講ズルコトニ誠ニ努メテ居ルニ拘ラズ、我國ノ博物館ニ於キマシテハ唯一ツノ帝室博物館ガアル許リデアル、而モ其經費タルヤ僅ニ二十五萬圓、之ヲ奈良京都東京ノ三ツニ分ケテ使フノデアアル、サウシテ其物品等ヲ集メマスル費用ニ於テハ、誠ニ申上ゲニクイ位ノ少額デアリマスルニ依テ、連モ物資ヲ集メル事ガ出來ナイ、又各種ノ報告等モ各國ト交換スルコトガ出來ナイ爲メニ、博物館ニ於テハ各國ノ資料ヲ得ルニ苦シムト云フヤウナ有様デアアル、斯ノ如キ事ハ誠ニ目下ノ我國ニ於テハ一大缺點ト謂ハネバナラヌト思ヒマス、戰爭ガ濟ミマシテ外來觀光ノ客ガ多ク參リマシテモ、我國ニハ一ノ文明ノ標本デアアル所ノ博物館ガナイ、斯ウ云フヤウナコトデアリマスルト、我國ノ體面上ニモ如何デアラウカ、又現在教育等ノ爲メニハ中ニ政府ガ御奮發ナステ、多大ノ經費ヲ投ジテ居ルニ拘ラズ、此最も普遍的デアリ最モ一般的デアアル所ノ博物館ニ、一ツノ經費モ投ジテ

ナイト云フヤウナコトハ國民ノ教育ノ上——民衆教育ノ上ニ於テモ一大缺點ト思ハレマス、ソレ故ニ私ハドウカ政府ガ博物館ノ完成ニ付テ、尙ヨリ多クノ——現在アリマスルモノヲ完成スルナリ、或ハ之ヲ移管ヲシ、若クハ如何ナル方法ヲ以テシテモ、一ツノ國ノ經營ト致シテ博物館ヲ、東洋ノ先進國デアアル我國ノ智識文明ノ標本デアアルト云フノニ愧ヂヌダケノモノニ設備ヲ致シテ貫ヒタイ、斯ウ云フ趣旨ニ依テ此建議案ヲ提出致シマシタノデアリマス、詳細ナルコトハ委員會等ニ於テ必要ガアレバ申述ヘルコト、致シマシテ、簡單ニ提出ノ理由ヲ申シテ置キマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス（拍手起ル）

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長（濱田國松君） 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長（濱田國松君） 御異議ナケレバ本建議案ハ岩崎君動議ノ如ク決シマス

○岩崎勳君 日程第十七以下ニ對シテハ延會ノ動議ヲ提出致シマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○副議長（濱田國松君） 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長（濱田國松君） 御異議ナケレバ日程第十七以下ハ、延會スルコトニ決シマス、次回ノ日程ハ公報ニ依リ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會

午後五時二十六分散會

衆議院議事速記錄第二十一號正誤

頁	段	行	誤	正
三〇〇	上	一三	應	廣
三〇〇	上	三四	比例ヲ	比例デ
三一〇	中	一九	小選舉區ノ	小選舉區モ
三一〇	中	二二	各候補者	各候補者
三一〇	下	一九	四票人員	四人缺員
三一〇	上	二	武藤	齋藤
三一〇	上	三五	兩黨	兩黨
三一〇	下	四〇	被選舉人ノ	兩黨
三一〇	中	八	〔成田榮信君〕ハ衍	人ノ